

第 3 2 回加西市公共交通活性化協議会 次第

日 時 平成 2 9 年 1 2 月 2 1 日（木） 1 5 時 0 0 分～
場 所 市役所 5 階会議室（大）

1 開 会

2 報告事項

（１）コミュニティバス等の無料化施策の継続状況について

（２）宇仁地区地域主体型交通の導入検討状況について

3 協議事項

（１）加西市地域公共交通網形成計画（案）について

（２）コミュニティバス国正線のバス停名の変更について

4 その他

次回協議会の開催について

5 閉 会

2-(1) コミュニティバス等の無料化施策の継続状況について

1 コミュニティバス等無料乗車券導入前後の利用状況の変化

1.1 アンケート回収状況

< 回収状況 >

・平成 28 年度

調査日	系統	回収枚数 (票)
料金施策 実施前 10月18日(火)、10月19日(水)	市街地線	80
	国正線	22
	九会・フラワーセンター線	28
	合計	130
料金施策 実施3ヵ月後 1月31日(火)、2月1日(水)	市街地線	57
	国正線	17
	九会・フラワーセンター線	49
	合計	123

※ 2日間調査分

・平成 29 年度

調査日	系統	回答枚数 (票)	【参考】 利用者数 (人)	回答率 (%)
料金施策 実施1年後 10月3日(火)、10月4日(水)	はッピーバス	34	52	65
	フラワーセンター線	17	17	100
	九会線	27	29	93
	国正線	33	35	94
	市街地線	70	71	99
	合計	181	204	89

※ 2日間調査分

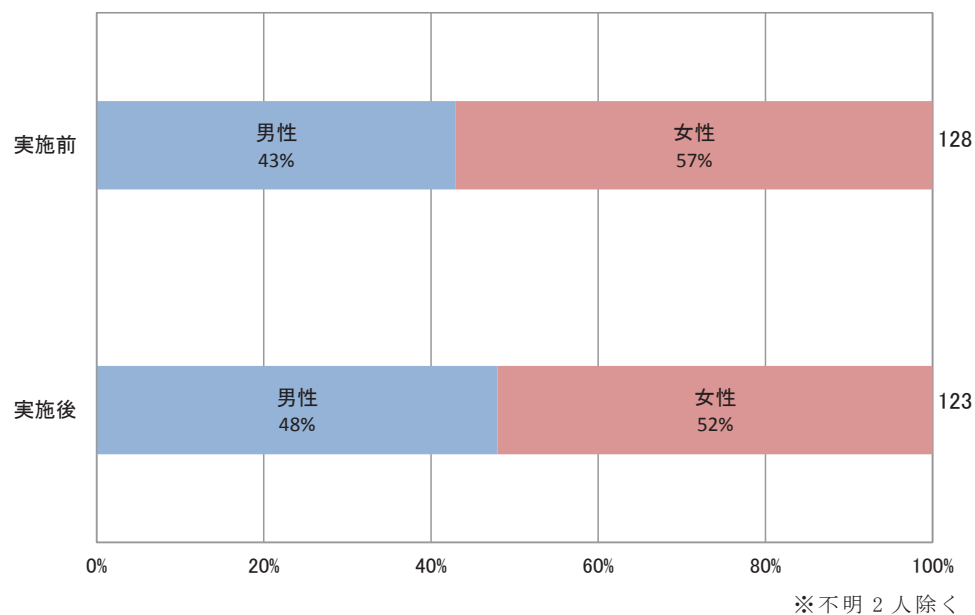
1.2 属性

① 性別

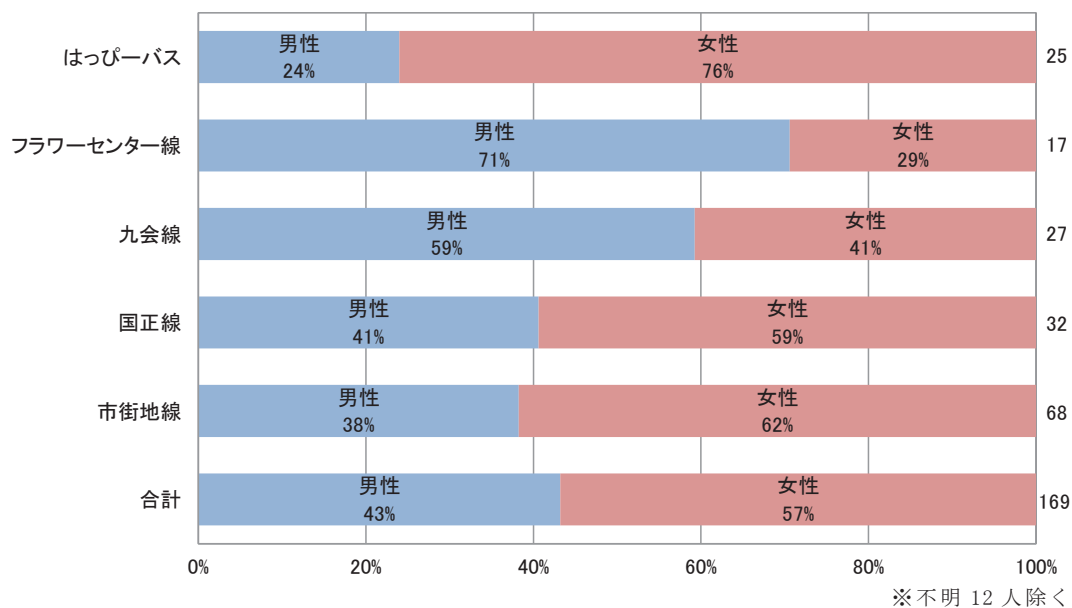
- ・回答者数の性別は以下に示すとおりである。
- ・回答者は、実施前と比較して変化は見られない。

< 性別 >

・平成 28 年度



・平成 29 年度

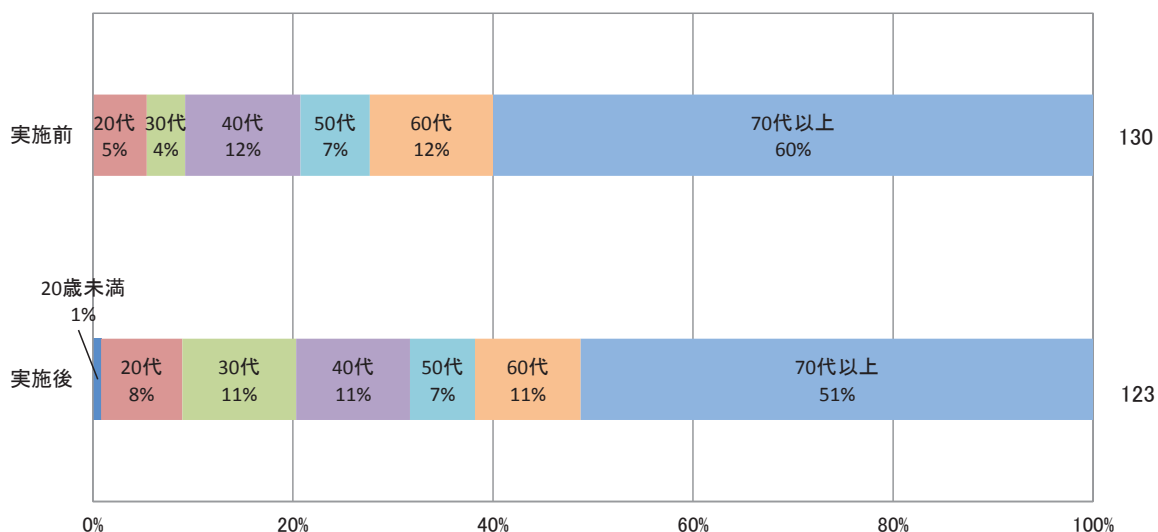


② 年齢

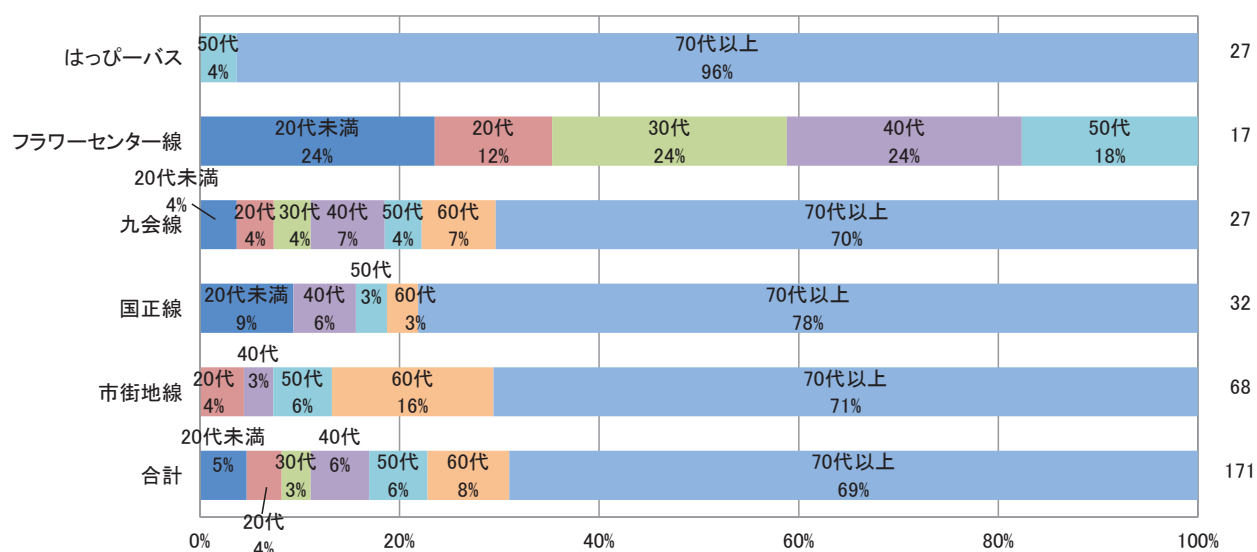
- ・回答者数の年齢は以下に示すとおりである。
- ・回答者は、実施前と比較すると 70 代以上が増加しているが、大きな変化は見られない。

< 年齢 >

・平成 28 年度



・平成 29 年度



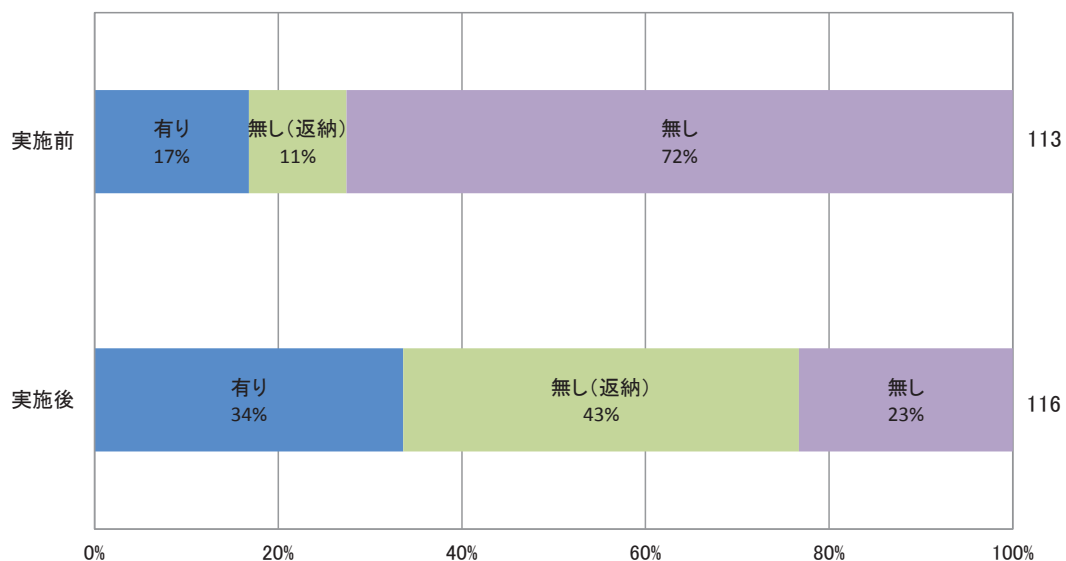
※不明 10 人除く

③ 運転免許の有無

- ・回答者数の運転免許の有無は以下に示すとおりである。
- ・回答者は、実施前と比較すると、運転免許を持っていない方が増加しているが、調査方法の違い等から一概に変化しているとは言えない。

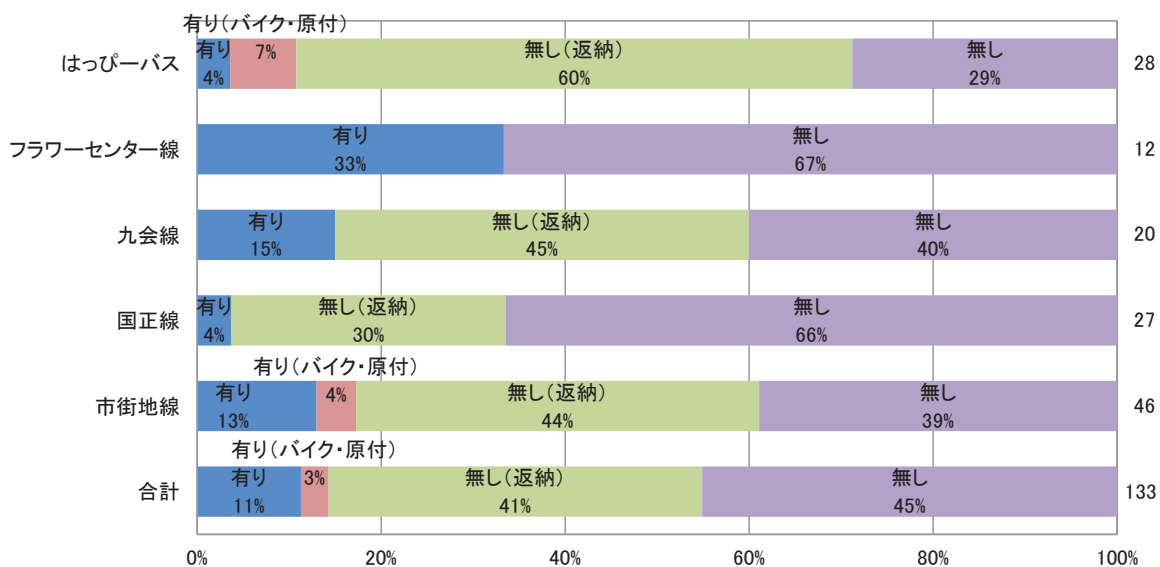
< 運転免許の有無 >

・平成 28 年度



※ 不明 24 人除く

・平成 29 年度



※ 不明 48 人除く

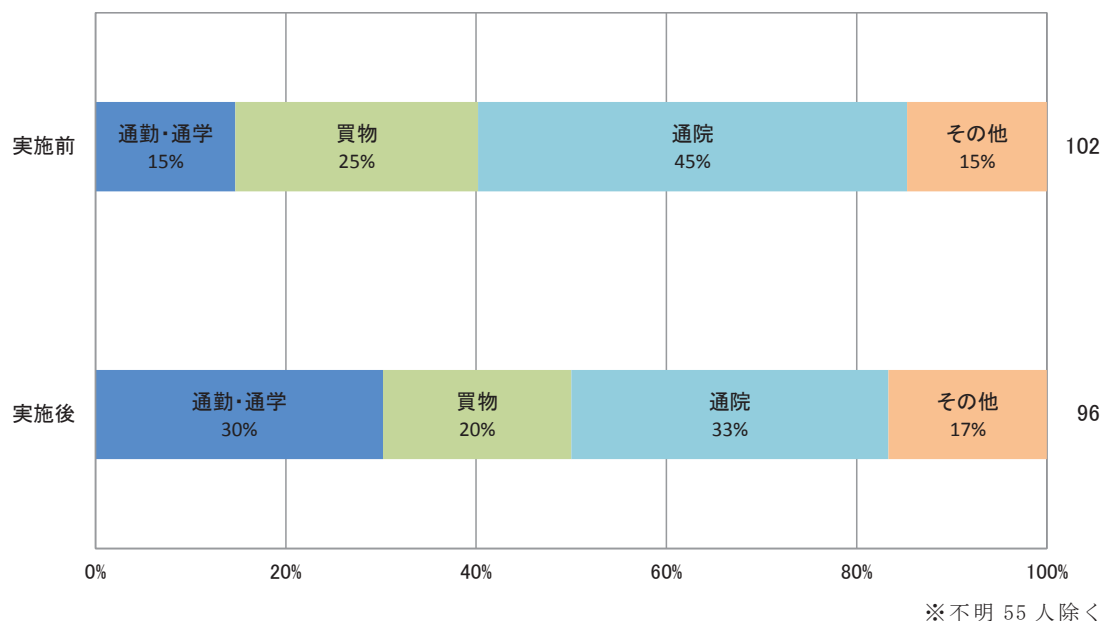
1.3 移動目的

【問：どのような目的で移動していますか】

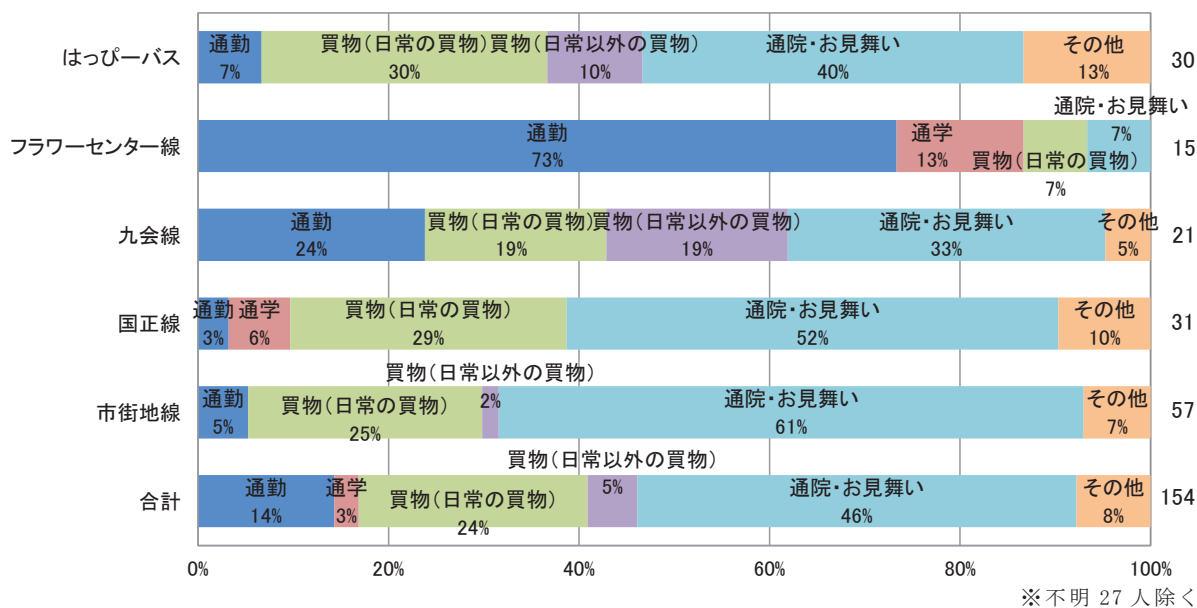
- ・回答者数の移動目的は以下に示すとおりである。
- ・回答者は、実施前と比較すると、買物や通院・お見舞いでの利用が増加している。

< 移動目的 >

・平成 28 年度



・平成 29 年度



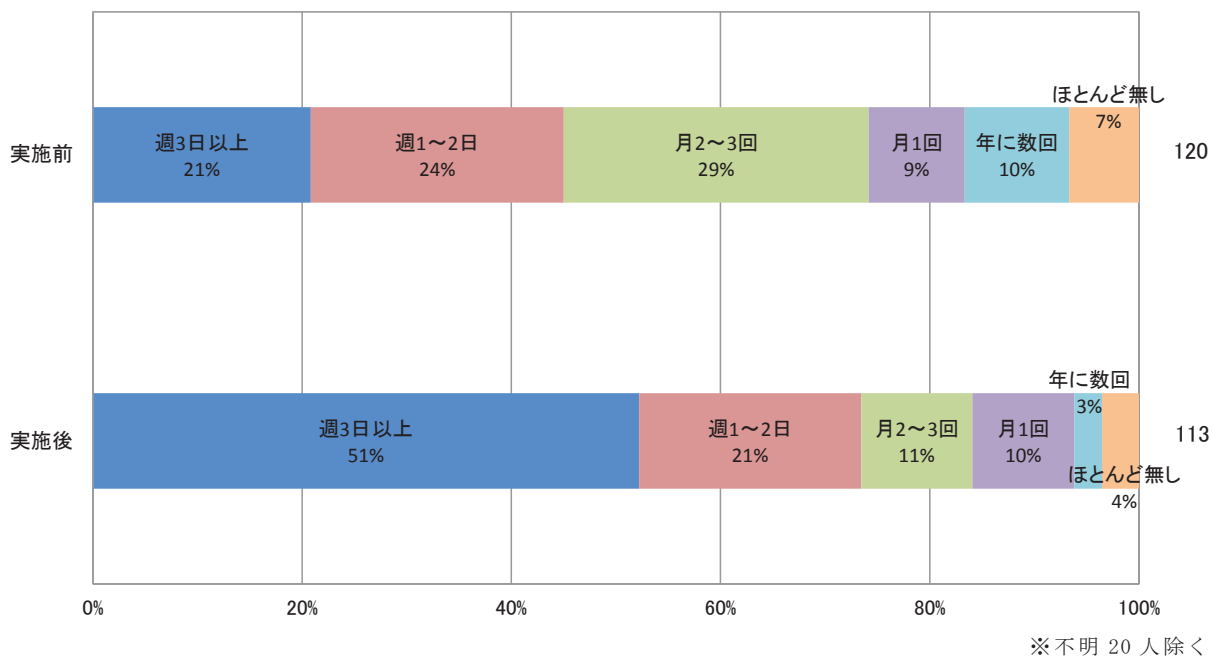
1.4 利用頻度

【問：（過去１年間）※でこのバスをどのくらい利用しましたか ※平成 29 年のみ】

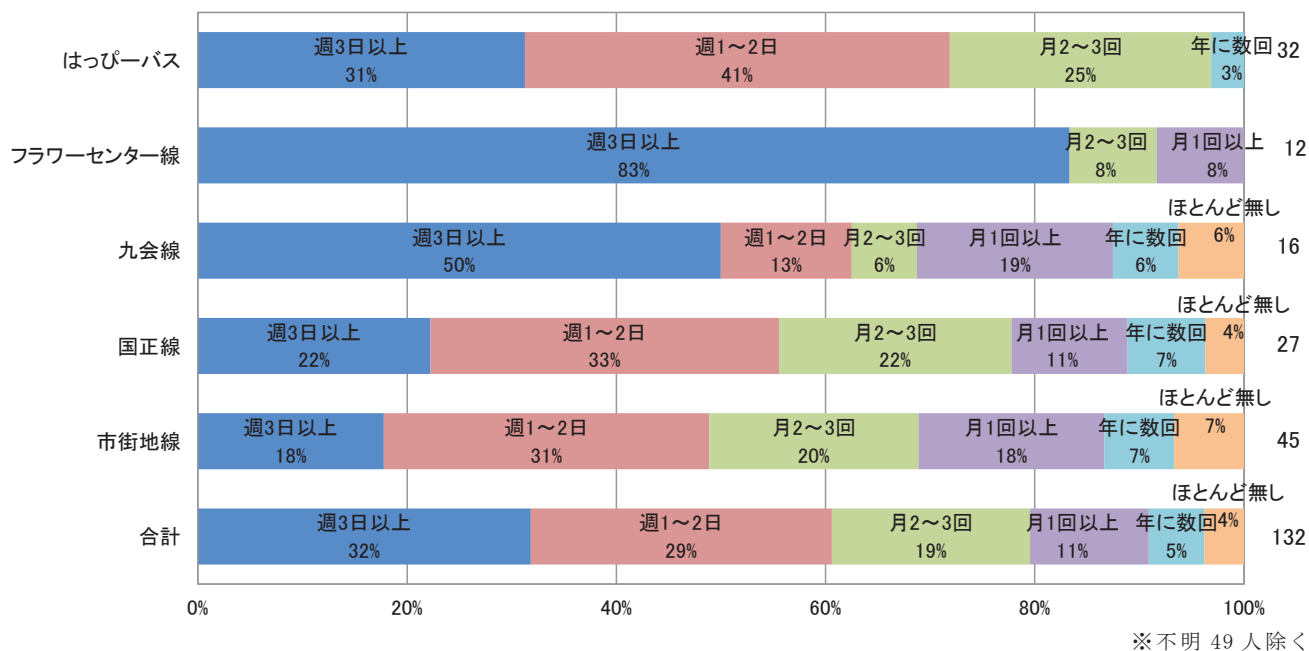
- ・回答者数の利用頻度は以下に示すとおりである。
- ・回答者は、実施前と比較すると、月 2～3 回の利用者が減少し、週 3 日以上、週 1～2 日の高頻度の利用が増加している。

< 利用頻度 >

・平成 28 年度



・平成 29 年度



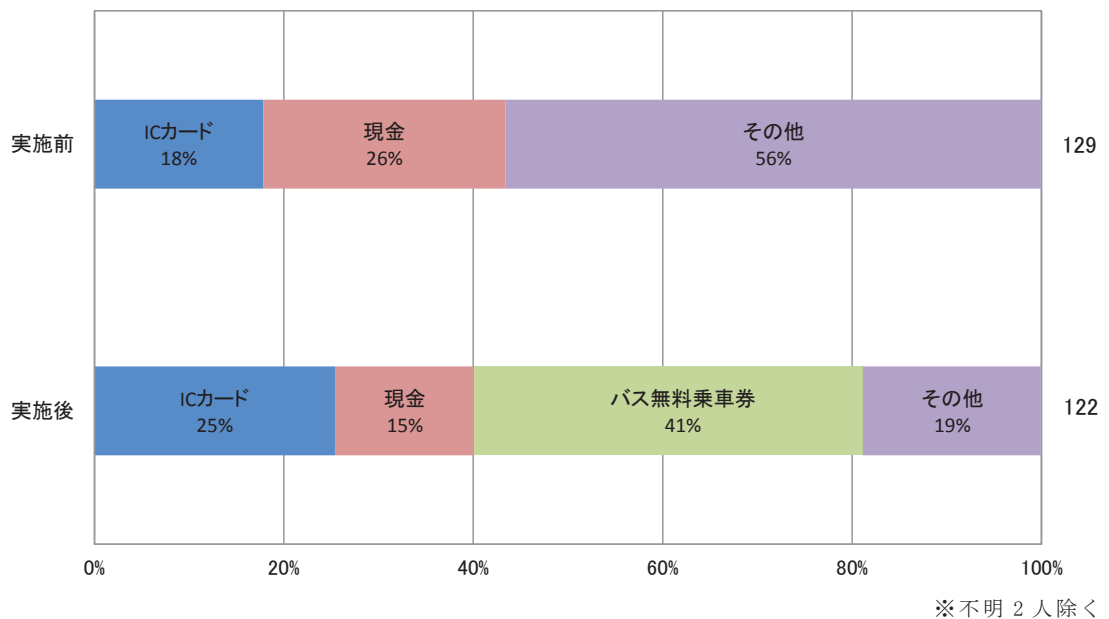
1.5 利用券種

【問：運賃は何で支払いますか】

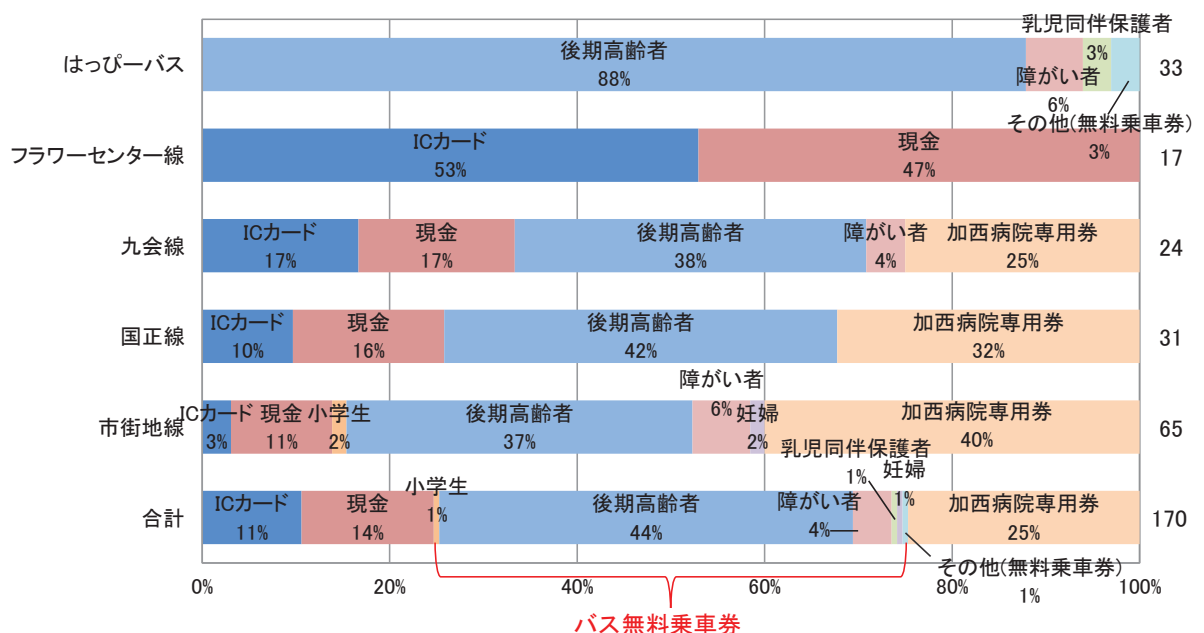
- ・回答者数の利用券種は以下に示すとおりである。
- ・回答者は、実施前と比較すると、IC カードや現金での利用が減少し、バス無料乗車券の利用が増加している。

< 利用券種 >

・平成 28 年度



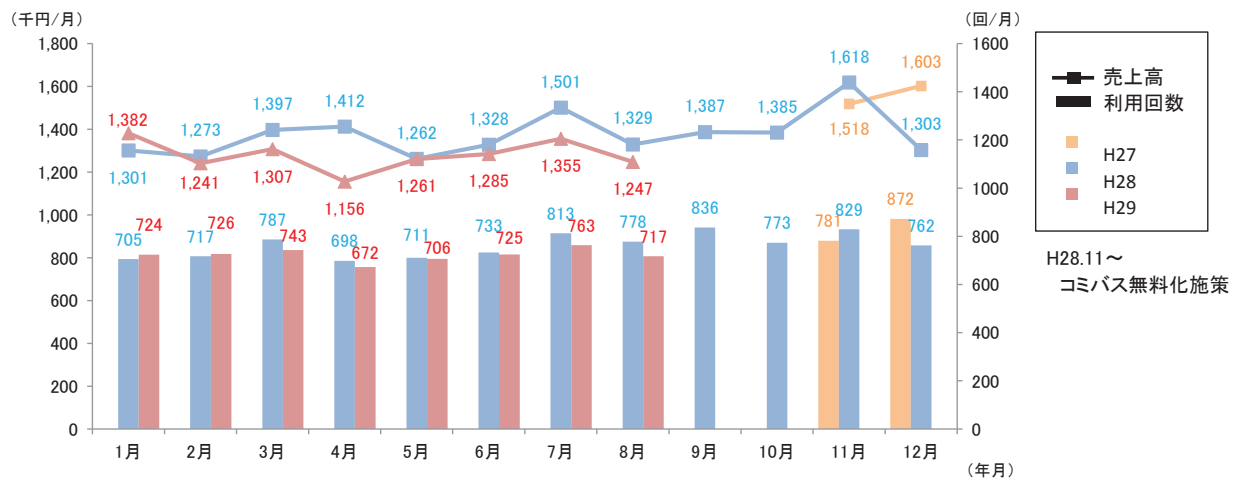
・平成 29 年度



【2-(1)コミュニティバス等の無料化施策等の継続状況について 参考資料】

○タクシーの利用状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H27売上高											1,518	1,603
H28売上高	1,301	1,273	1,397	1,412	1,262	1,328	1,501	1,329	1,387	1,385	1,618	1,303
H29売上高	1,382	1,241	1,307	1,156	1,261	1,285	1,355	1,247				
H27利用回数											781	872
H28利用回数	705	717	787	698	711	733	813	778	836	773	829	762
H29利用回数	724	726	743	672	706	725	778	717				



※ 加西市内で運行されている3社のうちの1社のデータを示す。
 ※ 加西市内での運行のみのデータ

2- (2) 宇仁地区地域主体型交通の導入検討状況について (H29)

第1回目アンケート調査の実施

日 時：平成29年3月～5月上旬

調査方法：全6町の区長を通じ、各町で聞き取り等によりアンケート調査を実施

【調査結果】

住民基本台帳（平成29年4月時点）

住基登録人口	移動に困っている人	住基登録世帯数	移動に困っている人がいる世帯数
1, 652人	85人	638世帯	78世帯

※公共交通最大需要量 4, 440回/年

※沿線世帯あたり公共交通最大需要量 6. 96回/世帯

アンケート調査結果 役員説明会

日 時：平成29年6月20日（火） 13時～14時

場 所：加西市役所 庁議室

参集者：まち協正副代表他 3名

地域主体型交通導入の手引き説明会④

日 時：平成29年9月11日（月） 19時30分～20時00分

場 所：宇仁地区（八王子会館）

参集者：まち協正副代表・まち協幹事 22名

内 容：第1回目アンケートの調査結果をまちづくり協議会の幹事へ報告。第2回目アンケートを実施する事を決定

地域主体型交通導入の手引き説明会⑤

日 時：平成29年10月30日（月） 19時00分～20時40分

場 所：宇仁地区（ふれあい館）

参集者：まち協正副代表・各町区長 7名

内 容：第2回目アンケートの実施方法を協議

■第2回目アンケート調査を実施中

全6町の区長を通じ、各町の対象者本人へ聞き取り調査を実施（11月～12月末）

宇仁地区地域主体型交通導入検討

－ 第 1 回アンケート調査結果 －

— 目 次 —

1. 回答状況及び移動に困っている人の人数	1
2. 属性（問４）[移動に困っている人のみ]	2
3. 送迎者の有無（問５）[移動に困っている人のみ]	4
4. 送迎方法（問６）[移動に困っている人のみ]	5
5. 移動困難理由（問７）[移動に困っている人のみ]	6
6. 現在の移動状況（問８）[移動に困っている人のみ]	8
7. 外出したい頻度（問９）[移動に困っている人のみ]	9
8. 送迎依頼時の心情（問１０）[移動に困っている人のみ]	10

1. 回答状況及び移動に困っている人の人数・世帯数

< 回答状況 >

町名	住民基本台帳 登録世帯数	広報配布部数 (≒実世帯数)	回収世帯数 (世帯)	回収割合 (%)
鍛冶屋町	38	37	37	100.0
油谷町	51	43	41	95.3
田谷町	90	72	72	100.0
国正町	210	110	108	98.2
小印南町	115	88	87	98.9
青野町	134	108	108	100.0
合計	638	458	453	98.9

出典：住民基本台帳（平成 29 年 4 月時点）

< 移動に困っている人の人数及び世帯数 >

町名	住民基本台帳 登録人口(人)	移動に困っている人 の人数(人)	移動に困っている人 がいる世帯(世帯)
鍛冶屋町	99	7	6
油谷町	135	4	4
田谷町	250	18	17
国正町	439	26	24
小印南町	331	27	24
青野町	398	3	3
合計	1,652	85	78

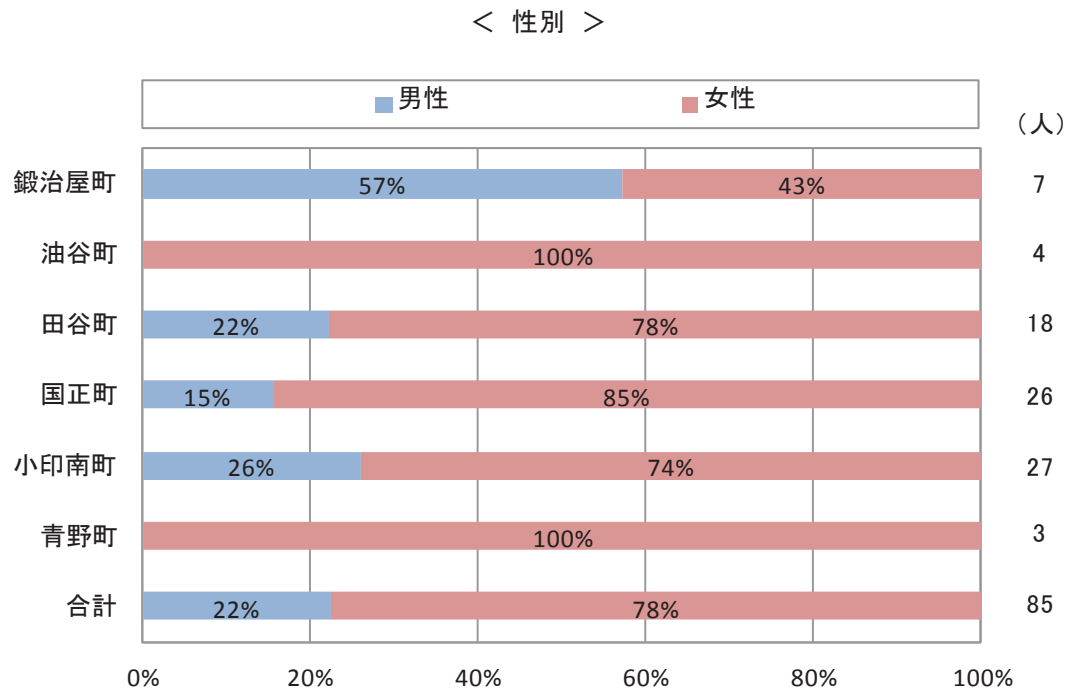
出典：住民基本台帳（平成 29 年 4 月時点）

※「移動に困っている人がある世帯」のうち、同世帯に
困っている人が 2 人いる世帯が 7 世帯

2. 属性（問4）〔移動に困っている人のみ〕

① 性別

【Q:移動に困っている方は、どのような方ですか】

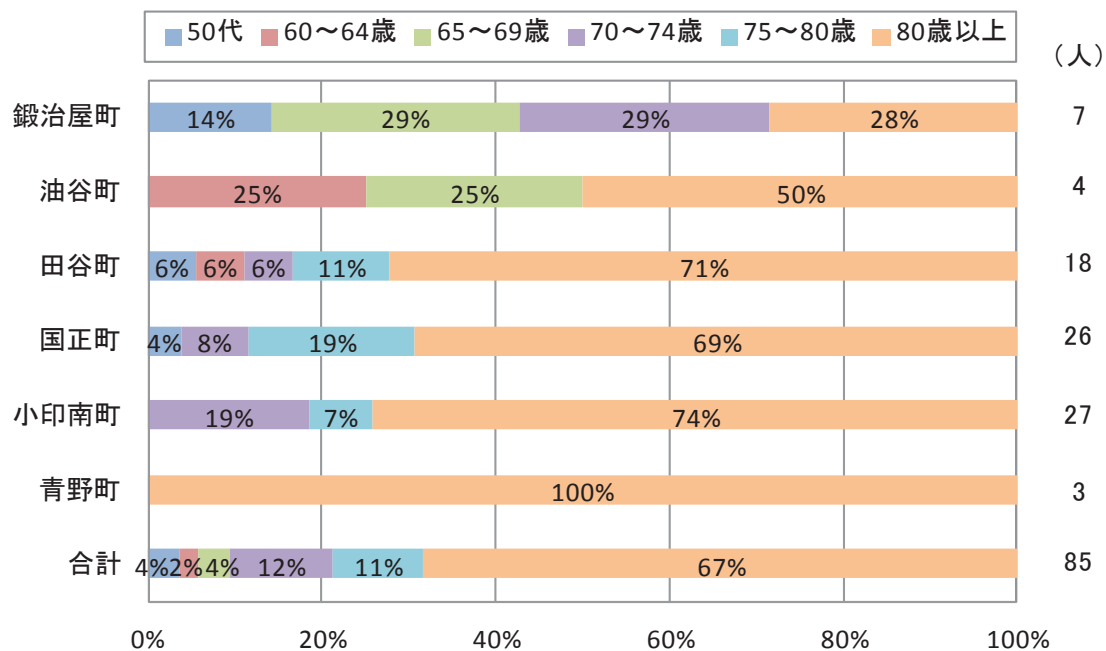


町名	男性	女性	合計
鍛冶屋町	4 (57%)	3 (43%)	7 (100%)
油谷町	0 (0%)	4 (100%)	4 (100%)
田谷町	4 (22%)	14 (78%)	18 (100%)
国正町	4 (15%)	22 (85%)	26 (100%)
小印南町	7 (26%)	20 (74%)	27 (100%)
青野町	0 (0%)	3 (100%)	3 (100%)
合計	19 (22%)	66 (78%)	85 (100%)

② 年齢

【Q:移動に困っている方は、どのような方ですか】

< 年齢 >

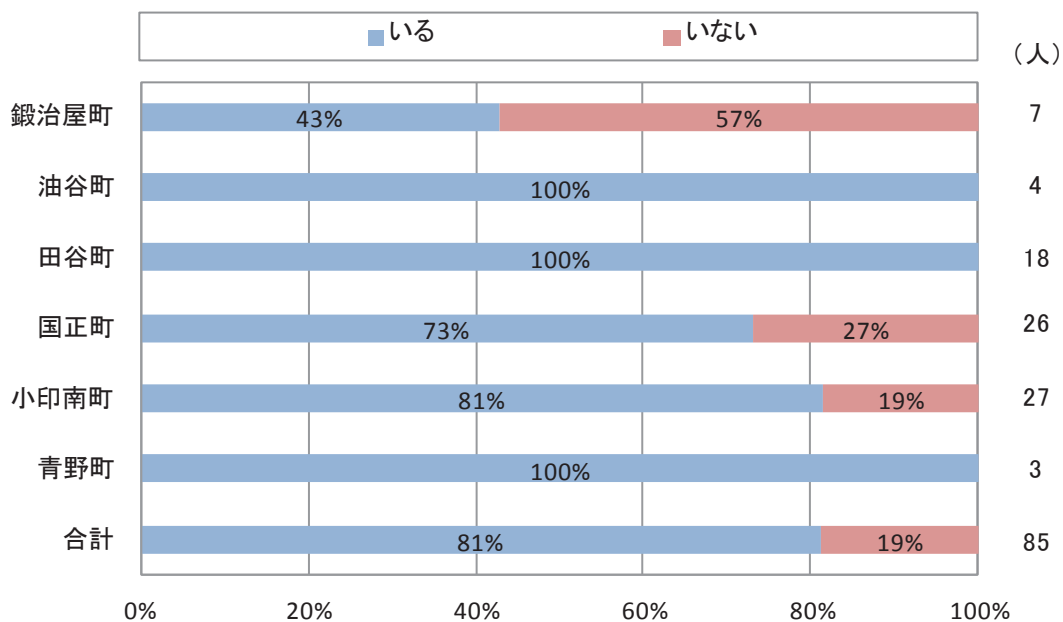


町名	50代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～80歳	80歳以上	合計
鍛冶屋町	1 (14%)	0 (0%)	2 (29%)	2 (29%)	0 (0%)	2 (29%)	7 (100%)
油谷町	0 (0%)	1 (25%)	1 (25%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (50%)	4 (100%)
田谷町	1 (6%)	1 (6%)	0 (0%)	1 (6%)	2 (11%)	13 (72%)	18 (100%)
国正町	1 (4%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (8%)	5 (19%)	18 (69%)	26 (100%)
小印南町	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (19%)	2 (7%)	20 (74%)	27 (100%)
青野町	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (100%)	3 (100%)
合計	3 (4%)	2 (2%)	3 (4%)	10 (12%)	9 (11%)	58 (68%)	85 (100%)

3. 送迎者の有無（問5）[移動に困っている人のみ]

【Q:移動に困っている方を、送迎している人はいますか】

< 送迎者の有無 >

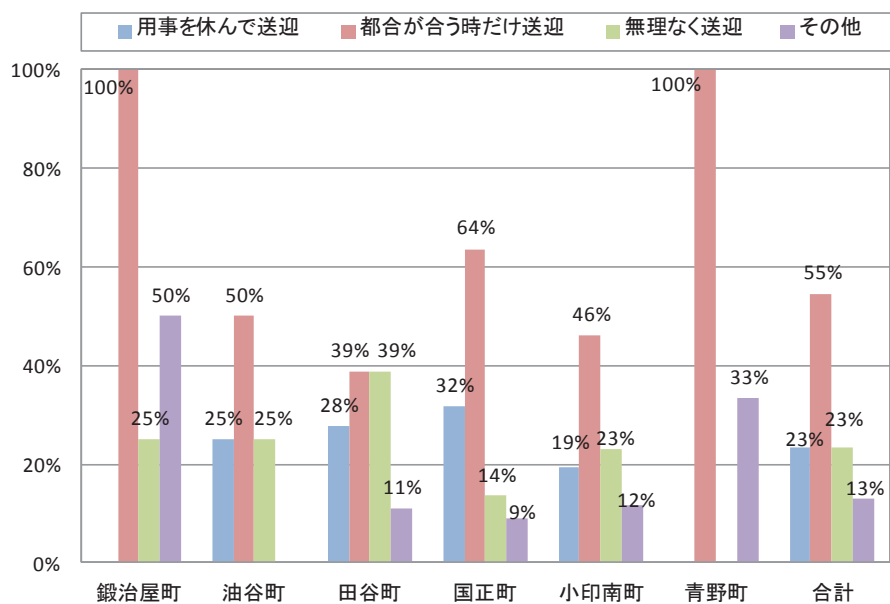


町名	いる	いない	合計
鍛冶屋町	3 (43%)	4 (57%)	7 (100%)
油谷町	4 (100%)	0 (0%)	4 (100%)
田谷町	18 (100%)	0 (0%)	18 (100%)
国正町	19 (73%)	7 (27%)	26 (100%)
小印南町	22 (81%)	5 (19%)	27 (100%)
青野町	3 (100%)	0 (0%)	3 (100%)
合計	69 (81%)	16 (19%)	85 (100%)

4. 送迎方法（問6）〔移動に困っている人のみ〕

【Q:どのように送迎されていますか】

< 送迎方法 >



町名	用事を休んで送迎	都合が合う時だけ送迎	無理なく送迎	その他	回答人数
鍛冶屋町	0 (0%)	4 (100%)	1 (25%)	2 (50%)	4
油谷町	1 (25%)	2 (50%)	1 (25%)	0 (0%)	4
田谷町	5 (28%)	7 (39%)	7 (39%)	2 (11%)	18
国正町	7 (32%)	14 (64%)	3 (14%)	2 (9%)	22
小印南町	5 (19%)	12 (46%)	6 (23%)	3 (12%)	26
青野町	0 (0%)	3 (100%)	0 (0%)	1 (33%)	3
合計	18 (23%)	42 (55%)	18 (23%)	10 (13%)	77

※1 未回答 8 人除く

※2 複数回答

その他内訳	回答数
足が痛くて歩けない	2
仕方なく送迎	1
主人がいる時は大丈夫	1
近くはバイクで外出	1
タクシー	1
近所の方の好意で一緒に神戸在住の身内に來てもらう	1
体調の良い時だけ	1
バス停まで送ってもらう	1

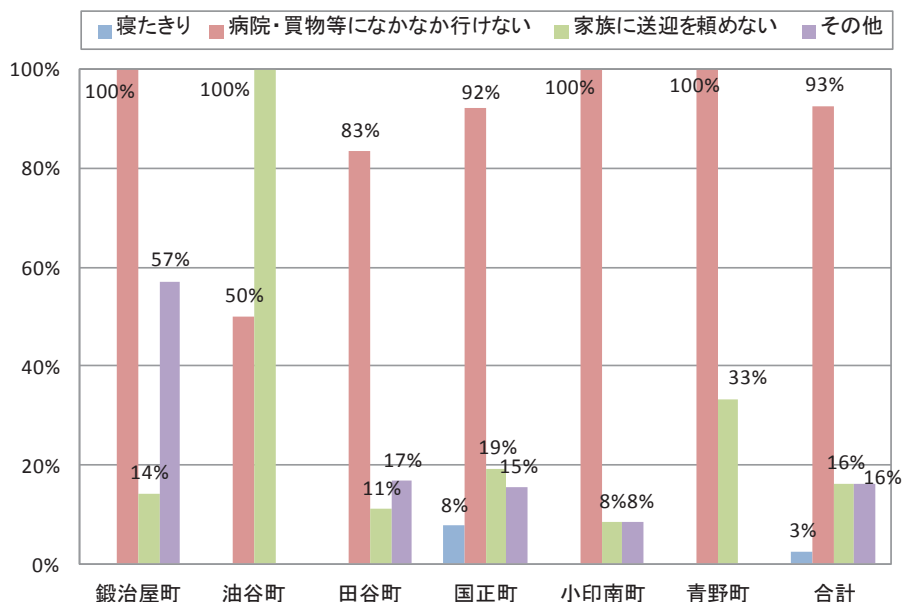
表中項目	正式項目
用事を休んで送迎	仕事や習い事などを休んで送迎している
都合が合う時だけ送迎	都合が合う時だけ送迎している
無理なく送迎	自由な時間が多いので、無理なく送迎している

5. 移動困難理由（問7）[移動に困っている人のみ]

① 理由

【Q:どのようなことで外出に困られていますか】

< 移動困難理由 >



町名	寝たきり	病院・買物等になかなか行けない	家族に送迎を頼めない	その他	回答人数
鍛冶屋町	0 (0%)	7 (100%)	1 (14%)	4 (57%)	7
油谷町	0 (0%)	1 (50%)	2 (100%)	0 (0%)	2
田谷町	0 (0%)	15 (83%)	2 (11%)	3 (17%)	18
国正町	2 (8%)	24 (92%)	5 (19%)	4 (15%)	26
小印南町	0 (0%)	24 (100%)	2 (8%)	2 (8%)	24
青野町	0 (0%)	3 (100%)	1 (33%)	0 (0%)	3
合計	2 (3%)	74 (93%)	13 (16%)	13 (16%)	80

その他内訳	回答数
遠慮なく楽しんでいる	1
病気の為動きにくい	1
バスで行っている	1
元気なので外出しない	1
困っていない	1
少し気が引ける	1
緊急時が心配	1
バス・タクシー 自転車・友人	1
足などの具合が悪い為	1
イベント参加	1
加東方面に行きたい	1
入院時	1
家族送迎	1

※1 未回答 5 人除く

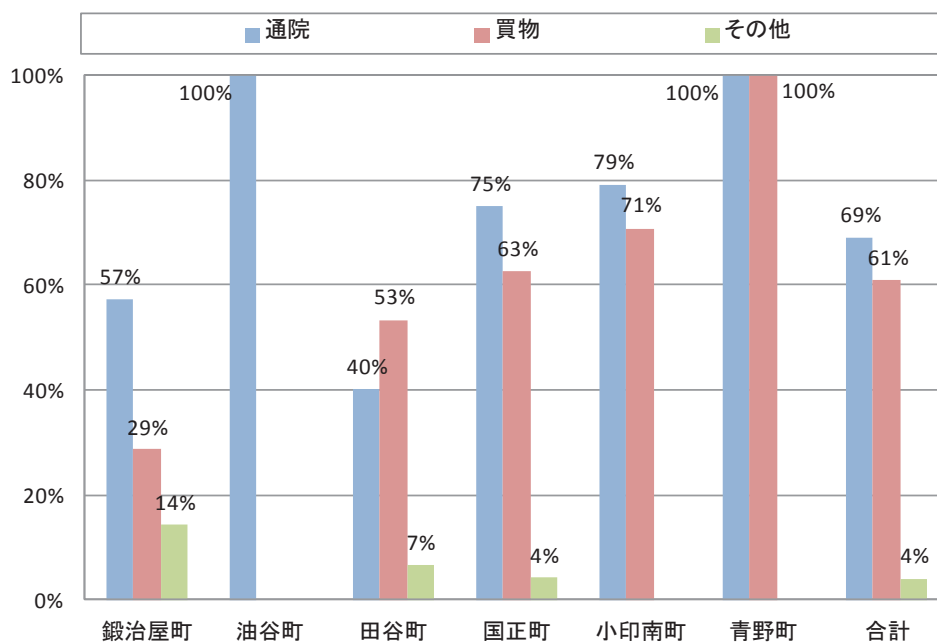
※2 複数回答

表中項目	正式項目
寝たきり	寝たきりで外出できない
病院・買物等になかなか行けない	病院・買い物等に行きたいが、なかなか行けない
家族に送迎を頼めない	家族等に送迎してもらいたい、なかなか頼めない

② 行きたい目的[移動に困っている人のみ]

【Q:「病院・買い物等に行きたいが、なかなか行けない」に対する行きたい目的】

< 行きたい目的 >



町名	通院	買物	その他	回答人数
鍛冶屋町	4 (57%)	2 (29%)	1 (14%)	7
油谷町	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	1
田谷町	6 (40%)	8 (53%)	1 (7%)	15
国正町	18 (75%)	15 (63%)	1 (4%)	24
小印南町	19 (79%)	17 (71%)	0 (0%)	24
青野町	3 (100%)	3 (100%)	0 (0%)	3
合計	51 (69%)	45 (61%)	3 (4%)	74

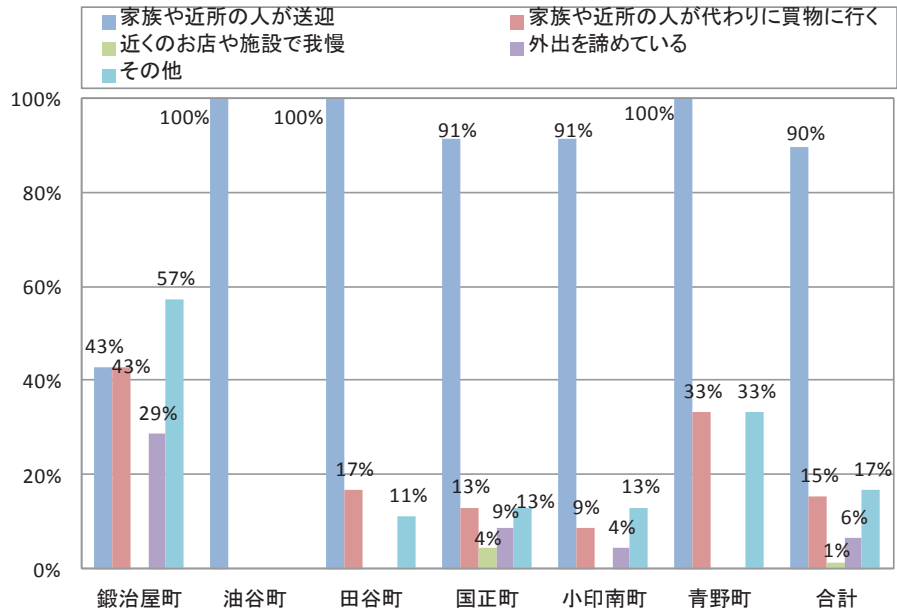
※ 複数回答

その他内訳	回答数
気持ちの切り替えに外へ	1
病院	1
散髪	1

6. 現在の移動状況（問8）〔移動に困っている人のみ〕

【Q:今はどのようにされていますか】

< 現在の移動状況 >



町名	家族や近所の人が送迎	家族や近所の人が代わりに買物に行く	近くのお店や施設で我慢	外出を諦めている	その他	回答人数
鍛冶屋町	3 (43%)	3 (43%)	0 (0%)	2 (29%)	4 (57%)	7
油谷町	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	4
田谷町	18 (100%)	3 (17%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (11%)	18
国正町	21 (91%)	3 (13%)	1 (4%)	2 (9%)	3 (13%)	23
小印南町	21 (91%)	2 (9%)	0 (0%)	1 (4%)	3 (13%)	23
青野町	3 (100%)	1 (33%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (33%)	3
合計	70 (90%)	12 (15%)	1 (1%)	5 (6%)	13 (17%)	78

その他内訳	回答数
バスにより	3
主人に送ってもらう	1
先に都合を聞いて時間を決めている	1
近くは自分で、遠くは家族が送迎	1
バス・タクシー 自転車・友人	1
家族の都合のいい時	1
市の高齢者無料バス制度を利用	1
休日家族に合わせている	1
年齢的に行きたくなくなってきた	1
ホームヘルパーにお願いすることもある	1
バス停まで送ってもらう	1

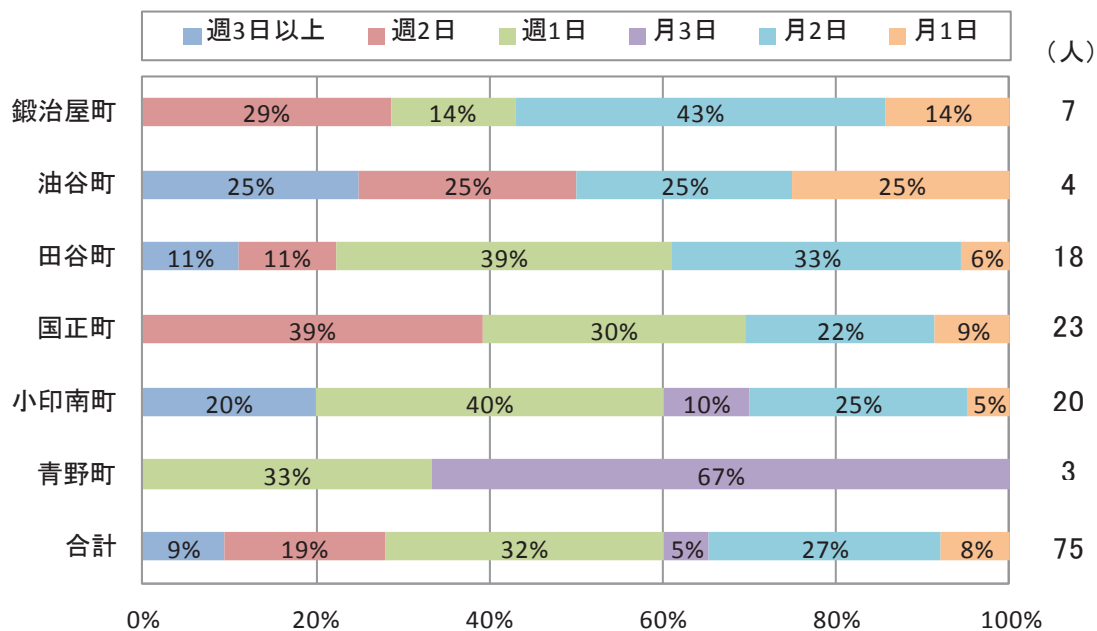
※1 未回答 7 人除く
※2 複数回答

表中項目	正式項目
家族や近所の人が送迎	家族や近所の人に送迎をお願いしている
家族や近所の人が代わりに買物に行く	家族や近所の人に、買い物等に代わりに行ってもらっている
近くのお店や施設で我慢	仕方なく家の近くのお店や施設で我慢している
外出を諦めている	外出することを諦めている

7. 外出したい頻度（問9）[移動に困っている人のみ]

【Q:行きたい場所には、どのくらいの頻度で外出したいですか】

< 外出したい頻度 >



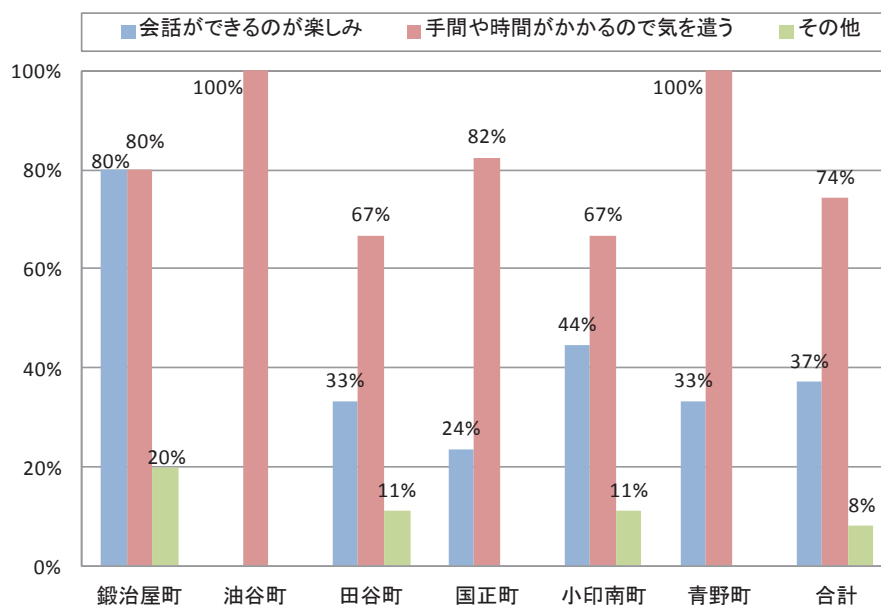
町名	週3日以上	週2日	週1日	月3日	月2日	月1日	合計
鍛冶屋町	0 (0%)	2 (29%)	1 (14%)	0 (0%)	3 (43%)	1 (14%)	7 (100%)
油谷町	1 (25%)	1 (25%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (25%)	1 (25%)	4 (100%)
田谷町	2 (11%)	2 (11%)	7 (39%)	0 (0%)	6 (33%)	1 (6%)	18 (100%)
国正町	0 (0%)	9 (39%)	7 (30%)	0 (0%)	5 (22%)	2 (9%)	23 (100%)
小印南町	4 (20%)	0 (0%)	8 (40%)	2 (10%)	5 (25%)	1 (5%)	20 (100%)
青野町	0 (0%)	0 (0%)	1 (33%)	2 (67%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (100%)
合計	7 (9%)	14 (19%)	24 (32%)	4 (5%)	20 (27%)	6 (8%)	75 (100%)

※ 未回答 10 人除く

8. 送迎依頼時の心情（問10）〔移動に困っている人のみ〕

【Q:送迎してもらっていることについて、どのように考えていますか】

< 送迎依頼時の心情 >



町名	会話ができての楽しみ	手間や時間がかかるので気を遣う	その他	回答人数
鍛冶屋町	4 (80%)	4 (80%)	1 (20%)	5
油谷町	0 (0%)	2 (200%)	0 (0%)	1
田谷町	6 (33%)	12 (67%)	2 (11%)	18
国正町	4 (24%)	14 (82%)	0 (0%)	17
小印南町	8 (44%)	12 (67%)	2 (11%)	18
青野町	1 (33%)	3 (100%)	0 (0%)	3
合計	23 (37%)	47 (76%)	5 (8%)	62

※1 未回答 23 人除く

※2 複数回答

その他内訳	回答数
バスがあるのでバスで行っている	1
無理なく送迎してもらっている	1
いつも有難いと思っている	1
都合の悪い時は他の人に	1
ディサービスを利用している	1

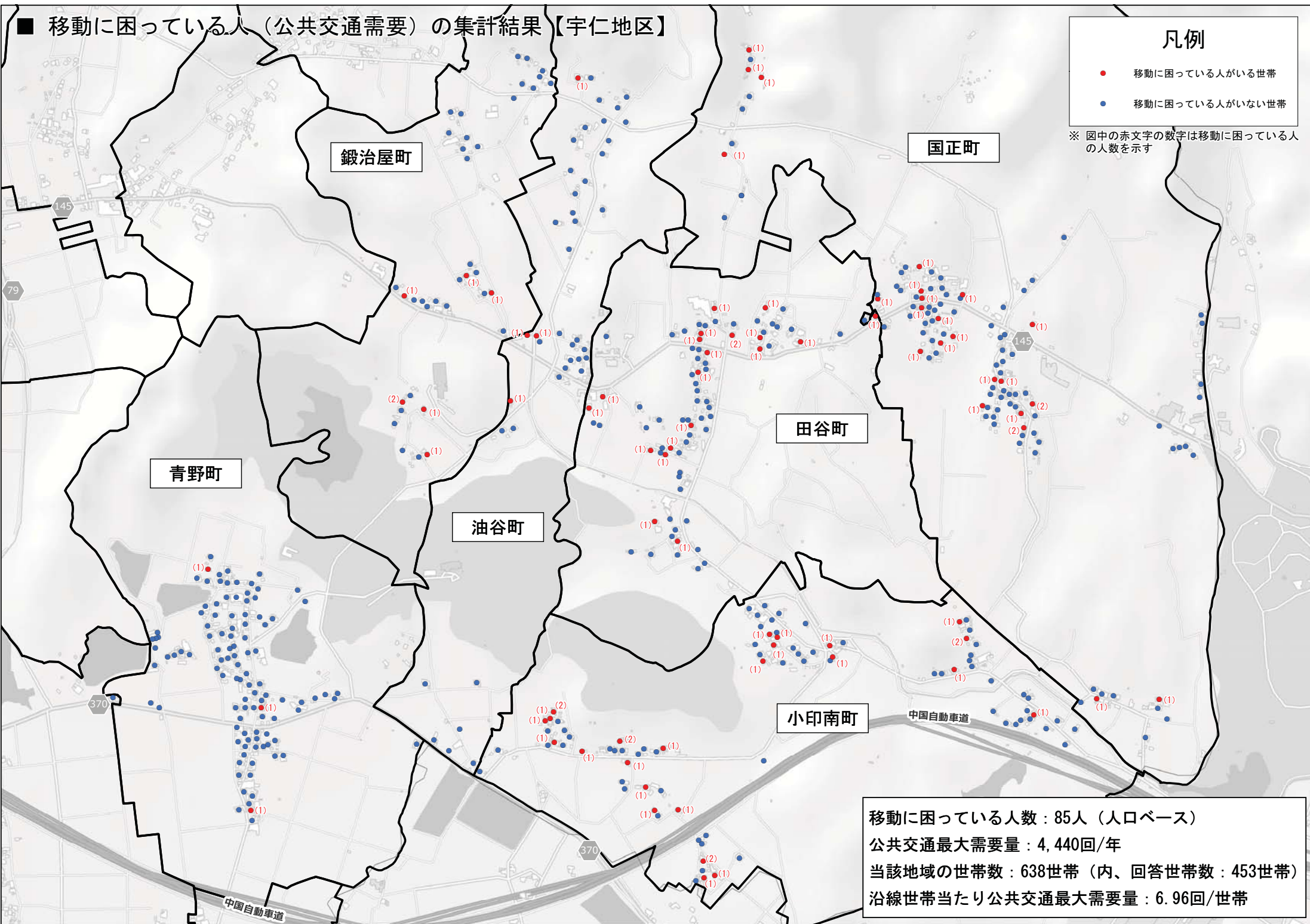
表中項目	正式項目
会話ができての楽しみ	家族や近所の人と会話をしたりできるので、楽しみにしている
手間や時間がかかるので気を遣う	手間や時間をかけて送迎してもらっているので、気を遣っている

■ 移動に困っている人（公共交通需要）の集計結果【宇仁地区】

凡例

- 移動に困っている人がいる世帯
- 移動に困っている人がいない世帯

※ 図中の赤文字の数字は移動に困っている人の人数を示す



鉄道及びコミュニティバス等
利用者アンケート調査結果

— 目 次 —

	頁
1 調査概要	1
1.1 調査目的	1
1.2 調査日時	1
1.3 調査内容	1
2 アンケート調査結果	8
2.1 回収状況	8
2.2 属性	9
2.3 移動(利用)目的	12
2.4 利用者の動き	14
2.5 利用頻度	17
2.6 駅やバス停までの主な移動手段	17
2.7 鉄道、バスの利用理由	17
2.8 鉄道、バス利用時の問題	19
2.9 鉄道、バスがない場合の代替手段	22
2.10 総合時時刻表及びポケット時刻表の認知度	24
2.11 無料乗車券導入後のバスでの外出回数	24
2.12 北条鉄道の魅力	24
2.13 北条鉄道の魅力向上のための方策	26
2.14 北条鉄 n 道の利用者数	27

1 調査概要

1.1 調査目的

統計データや既存調査データだけでは把握できない鉄道及びコミュニティバス等利用者の詳細な交通現状の把握をするために調査する。

1.2 調査日時

交通機関	調査日	調査時間
北条鉄道	平成 29 年 10 月 1 日（日） 3 日（火）	始発～最終までの全便 （概ね 5:30～23:30）
路線バス （アスティアかさいバス停）	平成 29 年 10 月 1 日（日） 4 日（水）	7:00～19:00（12 時間調査）
コミュニティバス等	平成 29 年 10 月 3 日（火） 4 日（水）	始発から終発までの全便 （概ね 7:00～19:00）

1.3 調査内容

北条鉄道利用者アンケート調査は、調査員が車両に乗り込み、ヒアリングにより調査を行った。なお、朝夕のピーク時には、調査票と筆記具を手渡し、調査協力依頼を行った。

路線バス利用者アンケート調査は、調査員をアスティアかさいバス停に配置し、バス利用者に対して、ヒアリングによりアンケート調査を行った。

コミュニティバス等利用者アンケート調査は、調査員が車両に乗り込み、ヒアリングにより調査を行った。はっぴーバスは原始人の会の調査員が車両に乗り込み、ヒアリングにより調査を行った。

北条鉄道に乗ること（見ること）が目的で来た方
（問7で「1. 乗ること（見ること）が目的」と回答された方）

問17 北条鉄道の魅力は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

1. 様々なイベントを実施している 2. 駅や周辺施設で歴史を感じられる 3. （車窓からの）景色が良い
4. 駅周辺にある飲食店 5. 車両（デザイン、車体） 6. その他（具体的に：_____）

問18 どのような方策を実施すると、北条鉄道の魅力がさらに向上すると思いますか。【あてはまるものすべてに○】

1. 新たなイベントの実施（具体的に：_____） 2. 北条鉄道周辺の飲食店の増加
3. 車両のラッピング 4. 現在のイベント等のPR 5. 北条鉄道の増便
6. 北条鉄道とその他公共交通との連携による観光地巡りの実施
7. その他（具体的に：_____）

問19 北条町駅や法華口駅で貸し出しているレンタサイクルは利用しますか。（利用しましたか）
【あてはまるもの1つに○】

1. はい 2. いいえ

→ 問19-① レンタサイクルを使ってどちらに行きますか。（行きましたか）
【施設別または場所を分ける範囲で記入】

目的地①【施設名：_____ または 場所：_____】
目的地②【施設名：_____ または 場所：_____】
目的地③【施設名：_____ または 場所：_____】
目的地④【施設名：_____ または 場所：_____】
目的地⑤【施設名：_____ または 場所：_____】

問20 ご意見・ご要望等がありましたら、自由にご記入ください。

～ 調査にご協力いただき、ありがとうございました
お手数ですが、回収ボックスにご投函ください ～

※ 回収ボックスは、「列車の運賃箱横」「北条町駅」「粟生駅」に設置しています。
※ また、お急ぎの方や吊り革につかまった状態で回答できない場合は、お帰りにまでにご回答いただき、お帰りの際に調査票を「列車の運賃箱横」「北条町駅」「粟生駅」に設置している回収ボックスに入れてください。

鉄道利用者アンケート調査

問1 このアンケートに既に答えましたか。【あてはまるもの1つに○】

1. 初めて → **引き続き回答下さい** 2. 既に回答した → **今回の利用状況を引き続き回答下さい**

問2 鉄道利用での乗車駅、降車駅はどちらですか。【乗車駅、降車駅を記入】
※ 乗車駅に○、降車駅に△を記入していただき、JR・神戸電鉄等に乗り継ぎする（した）方は、乗継駅ではなくJR・神戸電鉄等の駅を記入ください。

北条駅	播磨橋田	長	播磨下里	法華口	田原	網引	粟生	小野	加古川	神戸	三ノ宮	大阪	その他（自由記入）

問3 何時頃発の北条鉄道に乗りましたか。（大体）【時刻を記入】

_____ 時 _____ 分

問4 運賃は何で支払いますか。【あてはまるもの1つに○】

1. 現金 2. 定期券 3. 回数券 4. フリーきっぷ 5. 記念きっぷ 6. その他

問5 どこかへ行く途中ですか。それとも帰りですか。【1つに○、施設名または場所を分ける範囲で記入】

1. 行き 2. 帰り
出発地 1. 自宅 2. 勤務先・通学先 3. その他 施設名：_____ または 場所：_____ 市 _____ 町 _____ (市・町)
到着地 1. 自宅 2. 勤務先・通学先 3. その他 施設名：_____ または 場所：_____ 市 _____ 町 _____ (市・町)

問6 北条鉄道に乗る前と降りた後の移動手段は何ですか。【あてはまるものすべてに○】
※ ねっぴ〜号、はっぴーバスを回答いただいた方は、バスの系統まで記入ください。

乗車前	1. 神戸電鉄 2. JR加古川線 3. 路線バス 4. ねっぴ〜号（いずれかに○：市街地線 国正線 九会・フラワーセンター線） 5. はっぴーバス（いずれかに○：万願寺線 芥田線 根田女の湯線 若井線） 6. 自動車（自分で運転） 7. 自動車（送迎してもらう） 8. タクシー 9. バイク 10. 自転車 11. 徒歩 12. その他（_____）
降車後	1. 神戸電鉄 2. JR加古川線 3. 路線バス 4. ねっぴ〜号（いずれかに○：市街地線 国正線 九会・フラワーセンター線） 5. はっぴーバス（いずれかに○：万願寺線 芥田線 根田女の湯線 若井線） 6. 自動車（自分で運転） 7. 自動車（送迎してもらう） 8. タクシー 9. バイク 10. 自転車 11. 徒歩 12. その他（_____）

問7 北条鉄道をどのような目的で利用していますか。【あてはまる主な目的すべてに○】
※ 帰宅中の方は行きの目的を記入ください。

1. 乗ること（見ること）が目的 2. 通勤・通学 3. 買物（日常の買物） 4. 買物（日常以外の買物） 5. 送迎・お見舞い 6. 習い事 7. 図書館 8. 観光 9. 食事 10. 訪問 11. 仕事（通勤を除く） 12. 市役所 13. その他（_____）
--

裏面もご回答下さい

< 北条鉄道（ウラ） >

問8 同行している人はいますか。

1. いらない	同行者はどのような方ですか【あてはまるものすべてに○】
2. いる（人）	
1. 家族 2. 知人 3. その他（具体的に： ）	

問9 帰り（行き）も北条鉄道を利用する予定ですか（利用しましたか）。【あてはまるもの1つに○】

1. はい	2. いいえ
現在、行きの方は「帰りの利用」の力は「行き時間」を記入ください。 午前・午後 時頃	現在、行きの方は「帰りの利用」の力は「行きの移動手段」を記入ください。（すべてに○） 1. 車での迎え（送迎） 2. 同乗送迎車 3. タクシー 4. 送迎バス 5. コミュニティバス（なび〜号、はづり〜号） 6. その他（具体的に： ）

問10 北条鉄道はどのくらいの頻度利用しますか。（乗りに【見】に来ますか）【あてはまるもの1つに○】

1. 週・月・年 程度	2. 年に数日程度	3. 今日初めて利用した	4. その他（ ）
-------------	-----------	--------------	-----------

問11 もし、北条鉄道がなくなったら、今日の目的地へはどうやって行きますか。【あてはまるものすべてに○】

1. 家族や知人に送迎してもらう	2. 自分で自動車を運転して行く	3. バスで行く	4. タクシーで行く
5. 原付・バイクで行く	6. 自転車・徒歩で行く	7. 行き先を変える	8. 行くことをやめる
9. その他（具体的に： ）			

問12 あなたのことについてお答えください。

① 性別【あてはまるもの1つに○】			
1. 男性	2. 女性		
② 年齢【あてはまるもの1つに○】			
1. 20歳未満	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代
5. 50歳代	6. 60～64歳	7. 65～70歳	8. 70～75歳
9. 75歳～80歳	10. 80歳以上		
③ 職業【あてはまるもの1つに○】			
1. 会社員・公務員	2. 自営業	3. 学生	4. パート・アルバイト
5. 主婦・主夫	6. 無職（定年退職含む）	7. その他（具体的に： ）	
④ 家族構成（一緒に住んでる人）【あてはまるものすべてに○】			
1. 単身（1人暮らし）	2. 夫婦	3. 息子・娘と同居	4. 親と同居
5. その他（具体的に： ）			
⑤ 自動車運転免許【あてはまるもの1つに○】			
1. 運転免許を持っている	2. バイク・原付のみ運転免許を持っている	3. 運転免許を持っていたが返納した	
4. 運転免許を持っていない（取得したことがない）			
⑥ 自動車の保有【あてはまるもの1つに○】			
1. 自分が自由に利用できる自動車がある	2. 家族共同で利用できる自動車がある		
3. 世帯に自動車がない			
⑦ 自宅の住所【加西市民の方は町・字、加西市外の方は市町まで記入】			
〒 - - - - - 市 - - - - - 町 - - - - - 番・丁目			

問20をご回答ください

北条鉄道を目的地までの移動手段として利用されている方は問13からをご回答下さい
（問7が「1. 乗ること（見ること）が目的」ではない方）

北条鉄道に乗ること（見ること）が目的で来た方は問17からをご回答下さい
（問7で「1. 乗ること（見ること）が目的」と回答された方）

裏面もご回答下さい

< 路線バス（オモテ） >

調査員記入欄	お子様連れ	有（ ）人・無（ ）	調査時間（ ）（ ）（ ） 調査員名（ ）	神姫バス調査票
--------	-------	------------	-----------------------	---------

路線バス利用者アンケート調査

問1 このアンケートに既に答えましたか。【あてはまるもの1つに○】

1. 初めて → **引き続き回答下さい** 2. 既に回答した → **今回の利用状況を引き続き回答下さい**

問2 乗車バス停、降車バス停はどちらですか。【乗車バス停、降車バス停それぞれあてはまるもの1つに記入】
※ 他のバスに乗り換えされる方は乗換バス停までを記入ください。

乗車バス停：_____バス停 降車バス停：_____バス停

問3 運賃は何で支払いますか。（しましたか）【あてはまるもの1つに○】

1. ICカード 2. 現金 3. **バス無料乗車券** 4. 定期券 5. その他

問3-① ご自身の運賃区分はどれにあてはまりますか。
【あてはまるものすべてに○】

1. 小学生 2. 中学生 3. 後期高齢者 4. 障がい者
5. 乳幼児同伴保護者 6. 妊婦 7. その他

問4 どこかへ行く予定ですか。それとも帰りですか。【1つに○、施設名または場所を分かる範囲で記入】

1. 行き 2. 帰り	
出発地	1. 自宅 2. 勤務先・通学先 3. 加西病院 4. アステアかさい 5. イオン 6. その他
	施設名：_____ または 場所：_____市_____町_____（字・丁目）
到着地	1. 自宅 2. 勤務先・通学先 3. 加西病院 4. アステアかさい 5. イオン 6. その他
	施設名：_____ または 場所：_____市_____町_____（字・丁目）

問5 このバス（神姫バス）に乗る前と降りた後の移動手段は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

※ ねっぴー号、はっぴーバスを回答いただいた方は、バスの系統まで記入ください。

乗車前	1. 鉄道 2. 路線バス（神姫バス） 3. <u>ねっぴー号</u> （いずれかに○：国正線 九会・フラワーセンター線） 4. <u>はっぴーバス</u> （いずれかに○：万願寺線 芥田線 根日女の湯線 若井線） 5. 自動車（自分で運転） 6. 自動車（送迎してもらう） 7. タクシー 8. バイク 9. 自転車 10. 徒歩 11. その他（ ）
降車後	1. 鉄道 2. 路線バス（神姫バス） 3. <u>ねっぴー号</u> （いずれかに○：国正線 九会・フラワーセンター線） 4. <u>はっぴーバス</u> （いずれかに○：万願寺線 芥田線 根日女の湯線 若井線） 5. 自動車（自分で運転） 6. 自動車（送迎してもらう） 7. タクシー 8. バイク 9. 自転車 10. 徒歩 11. その他（ ）

問6 どのような目的で移動していますか。【あてはまる主な目的すべてに○】

※ 帰宅中の方は行きの目的を記入ください。

1. 通勤・通学 2. 買物（日常の買物） 3. 買物（日常以外の買物） 4. 通院・お見舞い 5. 習い事
6. 図書館 7. 観光 8. 食事 9. 訪問 10. 仕事（通勤を除く） 11. 市役所 12. その他（ ）

問7 同行している人はいますか。

1. いない 同行者はどのような方ですか【あてはまるものすべてに○】
2. いる（ ）人 → 1. 家族 2. 知人 3. その他（具体的に： ）

問8 帰り（行き）もこのバス（神姫バス）を利用する予定ですか（利用しましたか）。【あてはまるもの1つに○】

1. はい	午前・午後 _____時頃	2. いいえ	1. 車での迎え（送り） 2. 病院送迎車 3. タクシー 4. 鉄道 5. コミュニティバス（ねっぴー号、はっぴーバス）
現在、行きの方は「神の時間」 帰りの方は「行き時間」を 記入ください。		現在、行きの方は「神の時間」 帰りの方は「行きの移動手段」を 記入ください。（すべてに○）	

問9 過去1年間でこのバス（神姫バス）をどのくらい利用しましたか。【あてはまるもの1つに○】

1. 週・月・年_____日程度 2. 年に数日程度 3. 今日初めて利用した 4. その他（ ）

問10 [75歳以上の方や子育て世代などが無料になる、「無料乗車券」を利用の方にお尋ねします]

約1年前（平成28年11月）に無料乗車券が導入されて以降、バスでの外出の回数は増えましたか。

【あてはまるもの1つに○】

1. 無料乗車券導入後に利用するようになった
2. 増えた（無料乗車券導入前の利用頻度：週・月・年_____日程度） 3. 変わらない 4. 減った

裏面もご回答下さい

＜ 路線バス（ウラ） ＞

問 11 このバス（神姫バス）を利用する理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

1. (他の移動手段よりも) 便利だから 2. (他の移動手段よりも) 安く済む
3. (他の移動手段よりも) 早く到着できるから 4. 他に利用できる移動手段がないから
5. バス停が近いから 6. 家族や知人に送迎を頼まなくて済むから 7. 自動車が運転できないから
8. その他（具体的に： _____）

問 12 神姫バスの利用に際して問題点がありますか。【あてはまるものすべてに○】

1. 特に問題はない 2. バス停が遠い 3. 早朝や夜など行きたい時間にバスがない
4. バスの便数が少ない 5. (遅延などにより) 予定通りにバスが来ない 6. 運賃が高い
7. 乗降が不便 8. 他の移動手段の方が便利 9. 遠回りになる 10. ダイヤが分かりづらい
11. 車両が乗りにくい（段差があるなど） 12. バス待ち環境が悪い（上屋・ベンチが無いなど）
13. その他（ _____）

問 13 もし、このバス（神姫バス）がなくなったら、今日の目的地へはどうやって行きますか。
【あてはまるものすべてに○】

1. 家族や知人に送迎してもらう 2. 自分で自動車を運転して行く 3. 鉄道で行く 4. 他のバスで行く
5. タクシーで行く 6. 原付・バイクで行く 7. 自転車・徒歩で行く 8. 行き先を変える
9. 行くことをやめる 10. その他（具体的に： _____）

問 14 「かさい・おでかけ・ナビ（ポケット時刻表含む）」は知っていますか。【あてはまるもの1つに○】

1. 知っており、良く利用している 2. 知っているが、使っていない 3. 知らない

問 15 声を掛けるとバスを利用しそうな家族や知人などはいますか。【あてはまるもの1つに○】

1. はい（人数： _____ 人程度） 2. いいえ

問 16 あなたのことについてお答えください。

- ① 性別【あてはまるもの1つに○】
1. 男性 2. 女性
- ② 年齢【あてはまるもの1つに○】
1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代
6. 60～64歳 7. 65～70歳 8. 70～75歳 9. 75歳～80歳 10. 80歳以上
- ③ 職業【あてはまるもの1つに○】
1. 会社員・公務員 2. 自営業 3. 学生 4. パート・アルバイト 5. 主婦・主夫
6. 無職（定年退職含む） 7. その他（具体的に： _____）
- ④ 家族構成（一緒に住んでる人）【あてはまるものすべてに○】
1. 単身（1人暮らし） 2. 夫婦 3. 息子・娘と同居 4. 親と同居
5. その他（具体的に： _____）
- ⑤ 自動車運転免許【あてはまるもの1つに○】
1. 運転免許を持っている 2. バイク・原付のみ運転免許を持っている
3. 運転免許を持っていたが返納した 4. 運転免許を持っていない（取得したことがない）
- ⑥ 自動車の保有【あてはまるもの1つに○】
1. 自分が自由に利用できる自動車がある 2. 家族共同で利用できる自動車がある
3. 世帯に自動車がない
- ⑦ 自宅の住所【加西市民の方は町・字、加西市外の方は市町まで記入】
〒 _____ - _____ または _____ 市 _____ 町 _____ (字・丁目)

問 17 ご意見・ご要望等がありましたら、自由にご記入ください。

～ 調査にご協力いただき、ありがとうございました ～

調査員記入欄	
お子様連れ ☐ 有 ☐ 人 ☐ 無 ☐	調査時間 () : () 調査員名 ()
ねっぴー号 (国正線) 調査票	

コミュニティバス利用者アンケート調査

問1 このアンケートに既に答えましたか。【あてはまるもの1つに○】

1. 初めて → **引き続き回答下さい** 2. 既に回答した → **今回の利用状況を引き続き回答下さい**

問2 乗車バス停、降車バス停はどちらですか。【乗車バス停、降車バス停それぞれあてはまるもの1つに記入】

※ 乗車バス停に○、降車バス停に△を記入していただき、他のバスに乗継する（した）方は乗継バス停までを記入ください。

国正線	イオン	アステア	横尾南	市役所前	ハイッ西	病院東	病院	ハイッ中央	古坂3	福祉会館	玉江町	玉野西口	玉野	山枝	西別府	別府	都築
	青野口	野上	和泉	多加野 農協前	馬場谷口	千尾	油谷	宇仁小 学校	田谷	西国正	国正	東国正					

問3 運賃は何で支払いますか。【あてはまるもの1つに○】

1. ICカード 2. 現金 3. バス無料乗車券 4. 加西病院専用券 5. その他

問3-① ご自身の運賃区分はどれにあてはまりますか。
【あてはまるものすべてに○】

1. 小学生 2. 中学生 3. 後期高齢者 4. 障がい者
5. 乳幼児同伴保護者 6. 妊婦 7. その他

問4 どこへ行く途中ですか。それとも帰りですか。【1つに○、施設名または場所を分ける範囲で記入】

	1. 行き	2. 帰り
出発地	1. 自宅 2. 勤務先・通学先 3. 加西病院 4. アステアかさい 5. イオン 6. その他	
	施設名: _____ または 場所: _____ 市 _____ 町 _____ (字・丁目)	
到着地	1. 自宅 2. 勤務先・通学先 3. 加西病院 4. アステアかさい 5. イオン 6. その他	
	施設名: _____ または 場所: _____ 市 _____ 町 _____ (字・丁目)	

問5 このバス（ねっぴー号）に乗る前と降りた後の移動手段は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

※ ねっぴー号、はっぴーバスを回答いただいた方は、バスの系統まで記入ください。

乗車前	1. 鉄道 2. 路線バス（神姫バス） 3. ねっぴー号（いずれかに○：国正線 九会・フラワーセンター線） 4. はっぴーバス（いずれかに○：万願寺線 芥田線 根日女の滝線 若井線） 5. 自動車（自分で運転） 6. 自動車（送迎してもらう） 7. タクシー 8. バイク 9. 自転車 10. 徒歩 11. その他（ ）
降車後	1. 鉄道 2. 路線バス（神姫バス） 3. ねっぴー号（いずれかに○：国正線 九会・フラワーセンター線） 4. はっぴーバス（いずれかに○：万願寺線 芥田線 根日女の滝線 若井線） 5. 自動車（自分で運転） 6. 自動車（送迎してもらう） 7. タクシー 8. バイク 9. 自転車 10. 徒歩 11. その他（ ）

問6 どのような目的で移動していますか。【あてはまる主な目的すべてに○】

※ 帰宅中の方は行きを目的を記入ください。

1. 通勤・通学 2. 買い物（日常の買い物） 3. 買い物（日常以外の買い物） 4. 通院・お見舞い 5. 習い事 6. 図書館 7. 観光 8. 食事 9. 訪問 10. 仕事（通勤を除く） 11. 市役所 12. その他（ ）

問7 同行している人はいますか。

1. いない	同行者はどのような方ですか【あてはまるものすべてに○】
2. いる（ ）人 →	
	1. 家族 2. 知人 3. その他（具体的に： ）

問8 帰り（行き）もこのバス（ねっぴー号）を利用する予定ですか（利用しましたか）。【あてはまるもの1つに○】

1. はい	2. いいえ
現在、行きの方は「乗りの移動手段」 降りの方は「行き移動手段」を 記入ください。 午前・午後 _____ 時頃	現在、行きの方は「乗りの移動手段」 降りの方は「行き移動手段」を 記入ください。（すべてに○） 1. 車等での迎え（送迎） 2. 病院送迎車 3. タクシー 4. 路線バス 5. 鉄道 6. その他（具体的に： ）

問9 過去1年間でこのバス（ねっぴー号）をどのくらい利用しましたか。【あてはまるもの1つに○】

1. 週・月・年 _____ 日程度 2. 年に数日程度 3. 今日初めて利用した 4. その他（ ）

問10 [75歳以上の方や子育て世代などが無料になる、「無料乗車券」を利用の方にお尋ねします]

約1年前（平成28年11月）に無料乗車券が導入されて以降、バスでの外出の回数は増えましたか。
【あてはまるもの1つに○】

1. 無料乗車券導入後に利用ようになった
2. 増えた（無料乗車券導入前の利用頻度：週・月・年 _____ 日程度） 3. 変わらない 4. 減った

裏面もご回答下さい

問11 このバス（ねっぴ〜号）を利用する理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

1. (他の移動手段よりも) 便利だから 2. (他の移動手段よりも) 安く済む
3. (他の移動手段よりも) 早く到着できるから 4. 他に利用できる移動手段がないから
5. バス停が近いから 6. 家族や知人に送迎を頼まなくて済むから 7. 自動車が運転できないから
8. その他 (具体的に: _____)

問12 なっぴ〜号の利用に際して問題点はありますか。【あてはまるものすべてに○】

1. 特に問題はない 2. バス停が強い 3. 早朝や夜など行きたい時間にバスがない
4. バスの便数が少ない 5. (遅延などにより) 予定通りにバスが来ない 6. 運賃が高い
7. 乗継が不便 8. 他の移動手段の方が便利 9. 遠回りになる 10. ダイヤが分かりづらい
11. 車両が乗りにくい(段差があるなど) 12. バス待ち環境が悪い(上屋・ベンチが無いなど)

問13 もし、このバス（ねっぴ〜号）がなくなったら、今日の目的地へはどうやって行きますか。

【あてはまるものすべてに○】

1. 家族や知人に送迎してもらう 2. 自分で自動車を運転して行く 3. 鉄道で行く 4. 他のバスで行く
5. タクシーで行く 6. 原付・バイクで行く 7. 自転車・徒歩で行く 8. 行き先を変える
9. 行くことをやめる 10. その他(具体的に: _____)

問14 「かさい・おでかけ・ナビ（ポケット時刻表含む）」は知っていますか。【あてはまるもの1つに○】

1. 知っており、良く利用している 2. 知っているが、使っていない 3. 知らない

問15 声を掛けるとバスを利用しそうな家族や知人などはいいますか。【あてはまるもの1つに○】

1. はい (人数: 人程度) 2. いいえ

問16 バス停名『青野口』を変更することについてどう思いますか。

※ 都染町に所在するため『都染北』にするべきという意見が多くあります。【あてはまるものすべてに○】

1. 『都梁北』になっても構わない 2. どちらでもいい 3. 慣れ親しんでいるので今のままがいい
4. その他（具体的に： _____）

問17 あなたのことについてお答えください。

① 性別【あてはまるもの1つに○】

1. 男性 2. 女性

② 年齢【あてはまるもの1つに○】

1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代
6. 60～64歳 7. 65～70歳 8. 70～75歳 9. 75歳～80歳 10. 80歳以上

③ 職業【あてはまるもの1つに○】

1. 会社員・公務員 2. 自営業 3. 学生 4. パート・アルバイト 5. 主婦・主夫
6. 無職（定年退職含む） 7. その他（具体的に： ）

④ 家族構成（一緒に住んでる人）【あてはまるものすべてに○】

1. 単身（1人暮らし） 2. 夫婦 3. 息子・娘と同居 4. 親と同居
5. その他（具体的に： ）

⑤ 自動車運転免許【あてはまるもの1つに○】

1. 運転免許を持っている
2. バイク・原付のみ運転免許を持っている
3. 運転免許を持っていたが返納した
4. 運転免許を持っていない（取得したことがない）

⑥ 自動車の保有【あてはまるもの1つに○】

1. 自分が自由に利用できる自動車がある 2. 家族共同で利用できる自動車がある
3. 世帯に自動車がない

⑦ 自宅の住所【加西市民の方は町・字、加西市外の方は市町まで記入】

〒 _____ または _____ 市 _____ 町 _____ (字・丁目) _____

問18 ご意見・ご要望等がありましたら、自由にご記入ください。

～ 調査にご協力いただき、ありがとうございました

お手数ですが、回収ボックスにご投函ください ～

※ 回収ボックスは、運賃箱横に設置しています。

2 アンケート調査結果

2.1 回収状況

< 回収状況 >

北条鉄道

調査日		回答者数 (人)
平日	平成29年10月3日(火)	436
休日	平成29年10月1日(日)	270
合計		706

路線バス（アスティアかさいバス停）

調査日		回答者数 (人)
平日	平成29年10月4日(水)	22
休日	平成29年10月1日(日)	18
合計		40

コミュニティバス等

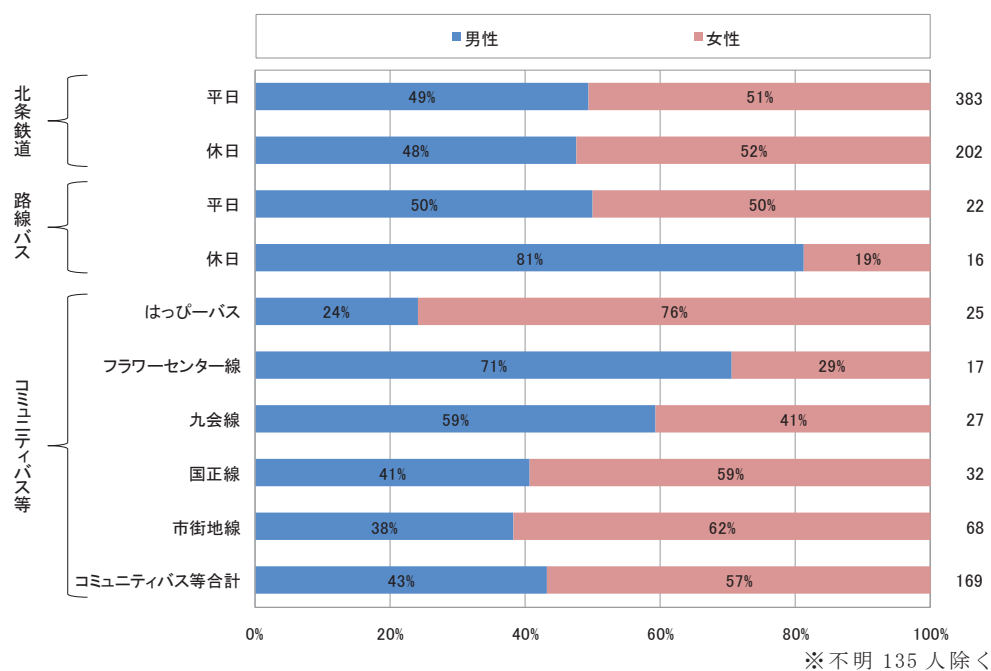
系統	回答者数 (人)		
	10月3日(火)	10月4日(水)	合計
はっぴーバス	9	25	34
フラワーセンター線	7	10	17
九会線	11	16	27
国正線	16	17	33
市街地線	33	37	70
合計	76	105	181

2.2 属性

① 性別

- ・北条鉄道の回答者は、平日、休日ともに男女比は同程度となっている。
- ・路線バスの回答者は、平日は男女比が同程度となっており、休日は男性が 8 割と多くなっている。
- ・コミュニティバス等の回答者は、合計で見ると男性が約 4 割、女性が約 6 割と女性が多くなっているが、はっぴーバスでは女性が特に多くなっている一方で、フラワーセンター線や九会線では男性の割合が多くなっている。

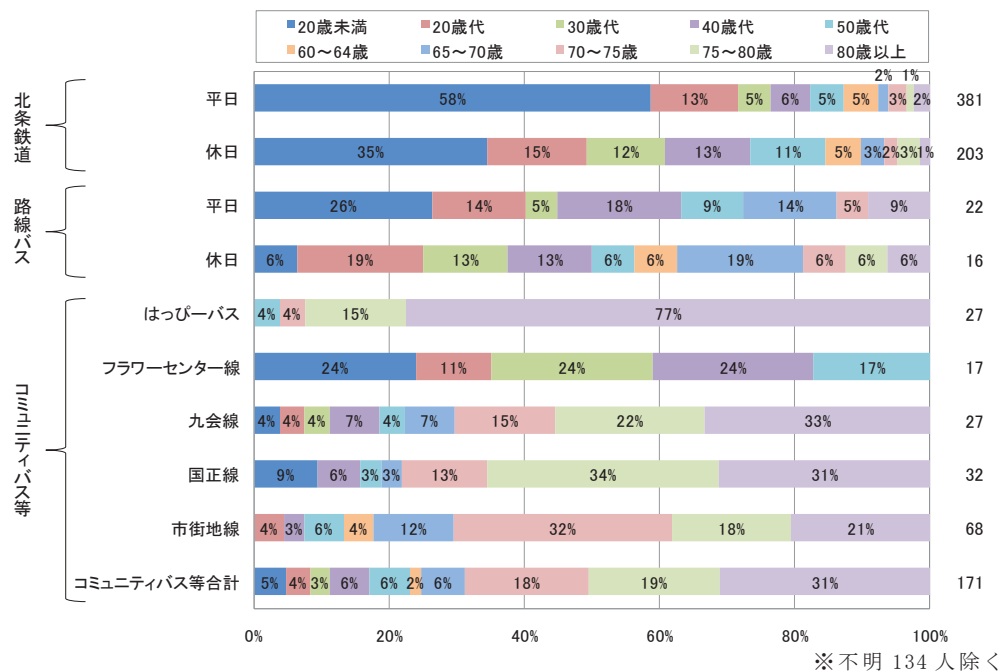
< 性別 >



② 年齢

- ・北条鉄道の回答者は、平日、休日ともに 20 歳未満が最も多くなっている。
- ・路線バスの回答者は、平日は 20 歳未満が最も多くなっており、休日は 20 歳代が最も多くなっている。
- ・コミュニティバス等の回答者は、合計で見ると 70 歳以上が約 7 割を占めている。

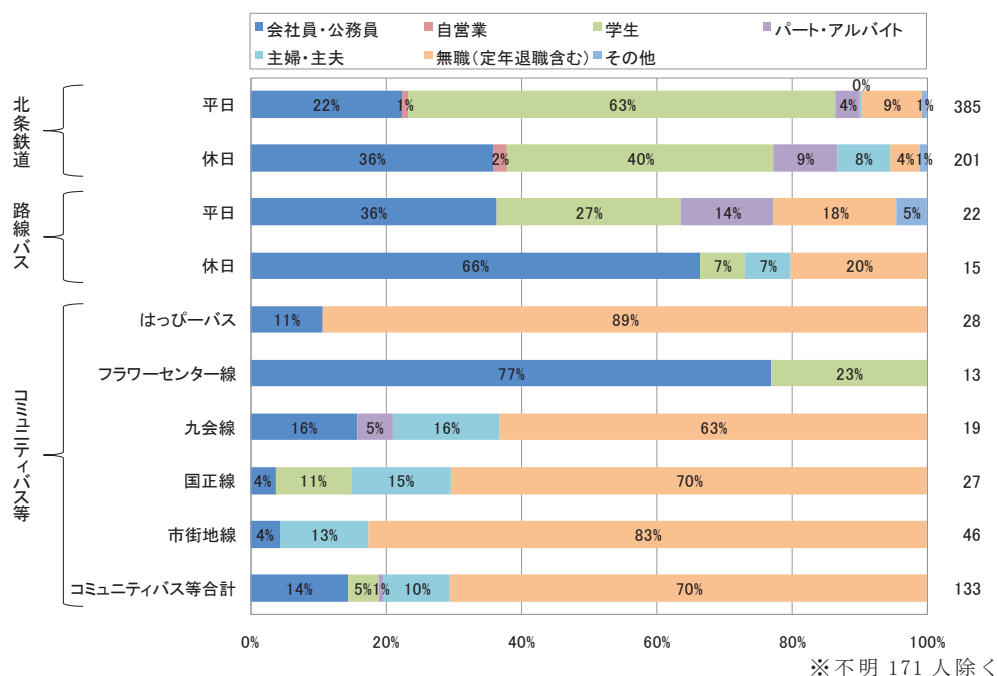
< 年齢 >



③ 職業

- ・北条鉄道の回答者は、平日、休日ともに学生が最も多くなっている。
- ・路線バスの回答者は、平日、休日ともに会社員・公務員が最も多くなっている。
- ・コミュニティバス等の回答者は、合計で見ると無職の方が約7割を占めている。

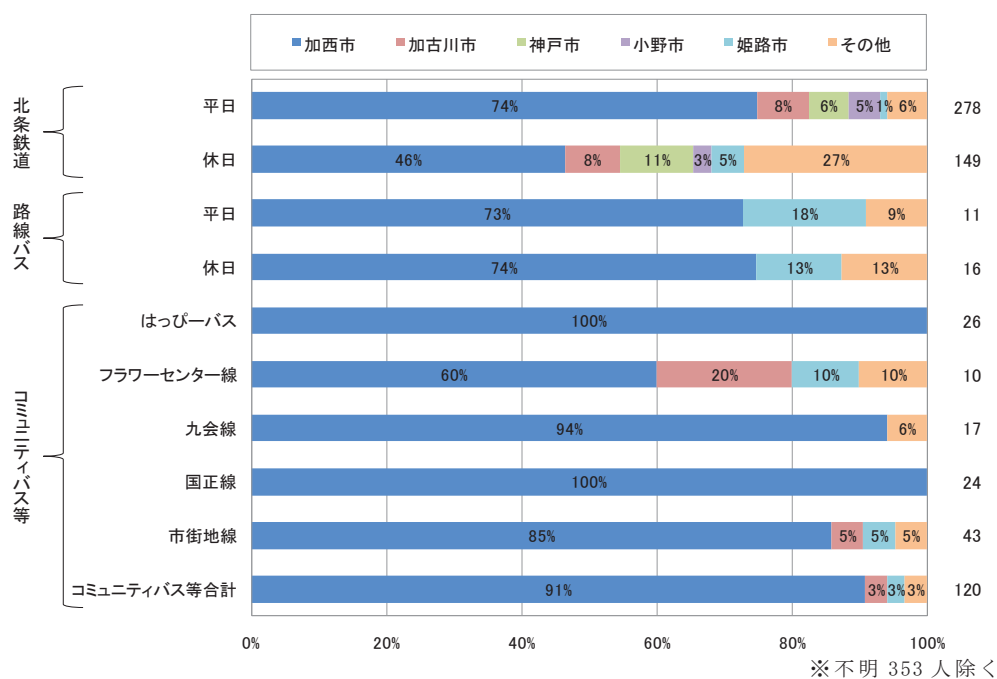
< 職業 >



④ 住所

- ・北条鉄道の回答者は、平日、休日ともに加西市在住の方が最も多くなっているが、休日は市外在住の方が半数を占めている。
- ・路線バスの回答者は、平日、休日ともに加西市在住の方が最も多くなっている。
- ・コミュニティバス等の回答者は、合計で見ると加西市在住の方が約9割を占めている。

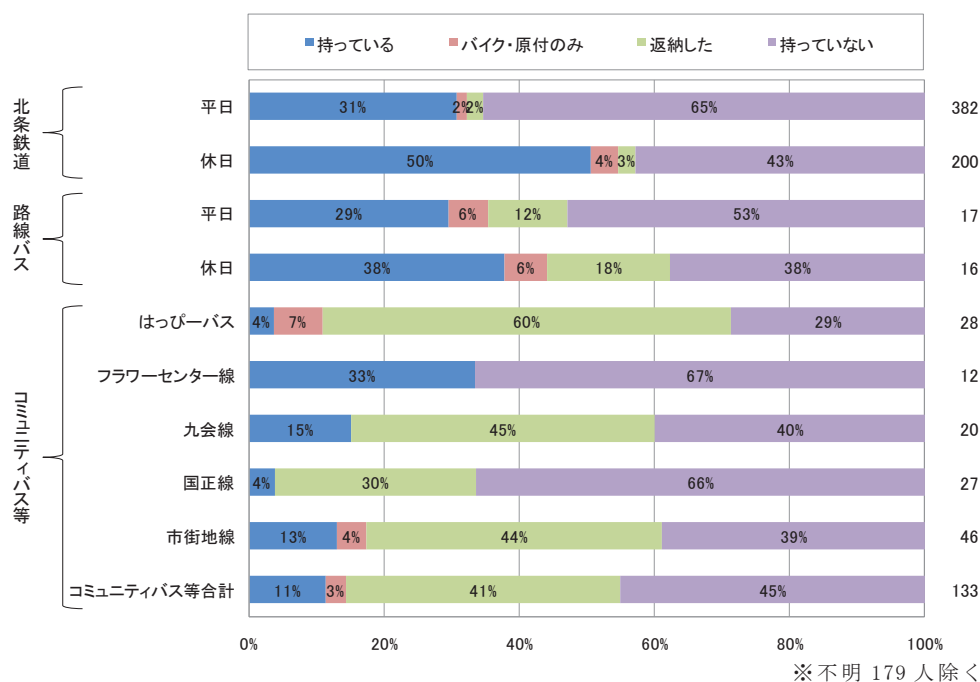
< 住所 >



⑤ 自動車運転免許の有無

- ・北条鉄道の回答者は、平日は運転免許を持っていない方が最も多くなっており、休日では持っている方が若干多くなっている。
- ・路線バスの回答者は、平日、休日ともに運転免許を持っていない方が最も多くなっている。
- ・コミュニティバス等の回答者は、合計で見ると運転免許を持っていない方が約 9 割を占めている。

＜ 自動車運転免許の有無 ＞



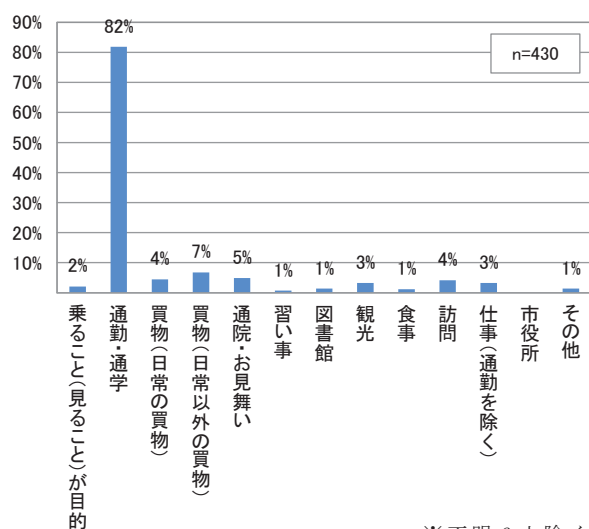
表中項目	正式項目
持っている	運転免許を持っている
バイク・原付のみ	バイク・原付のみ運転免許を持っている
返納した	運転免許を持っていたが返納した
持っていない	運転免許を持っていない（取得したことがない）

2.3 移動(利用)目的

【問：どのような目的で移動していますか。】

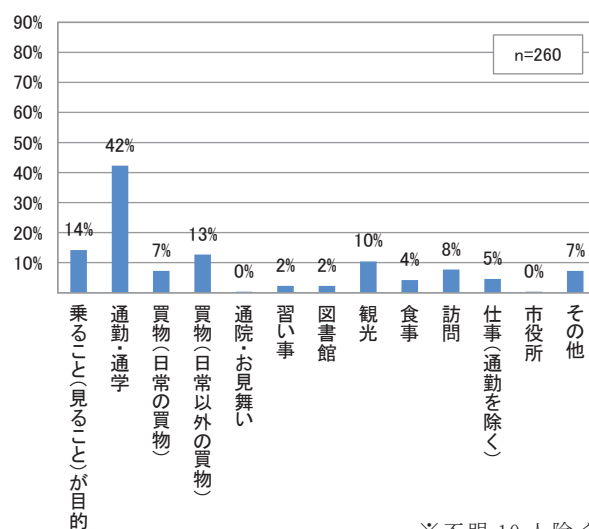
- ・北条鉄道の回答者は、平日、休日ともに「通勤・通学」での利用が最も多くなっている。
- ・路線バスの回答者は、平日、休日ともに「通勤・通学」での利用が最も多くなっている。
- ・コミュニティバス等の回答者は、合計で見ると「通院・お見舞い」の利用が最も多くなっている。

北条鉄道【平日】



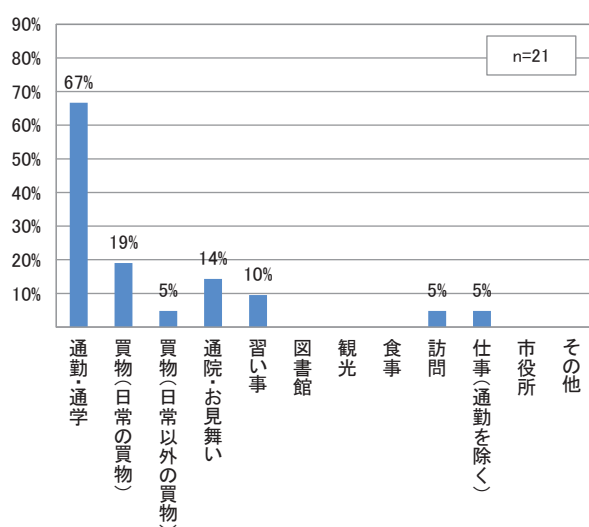
※不明 6 人除く

北条鉄道【休日】



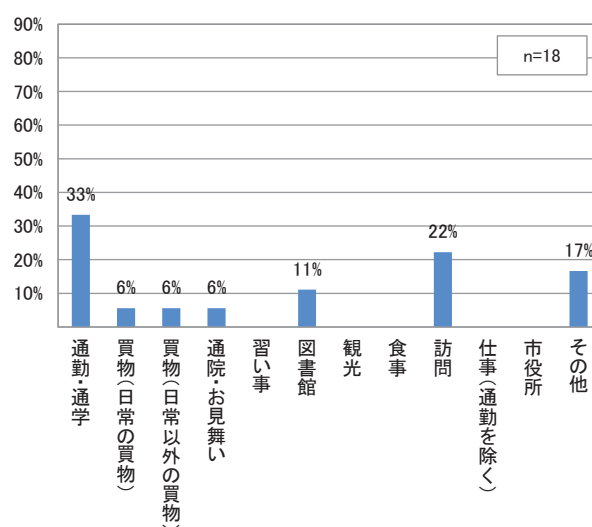
※不明 10 人除く

路線バス【平日】

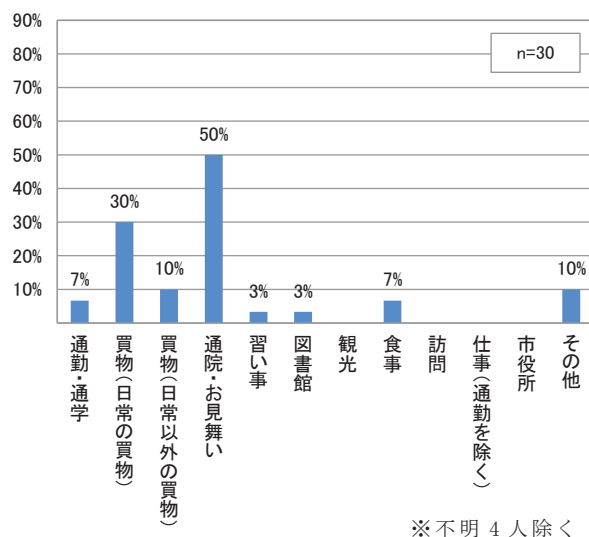


※不明 1 人除く

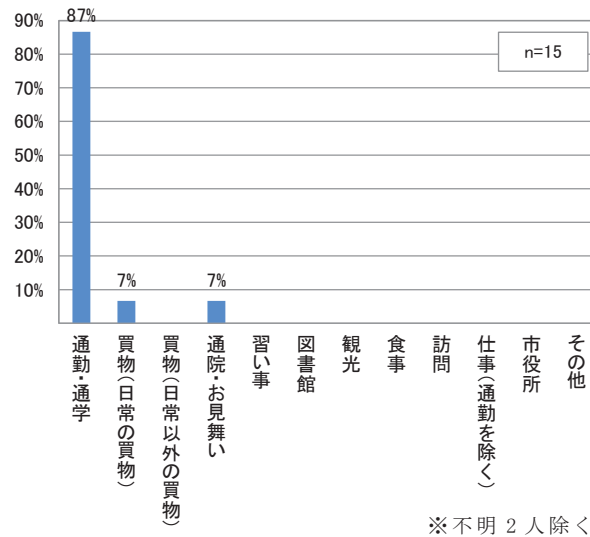
路線バス【休日】



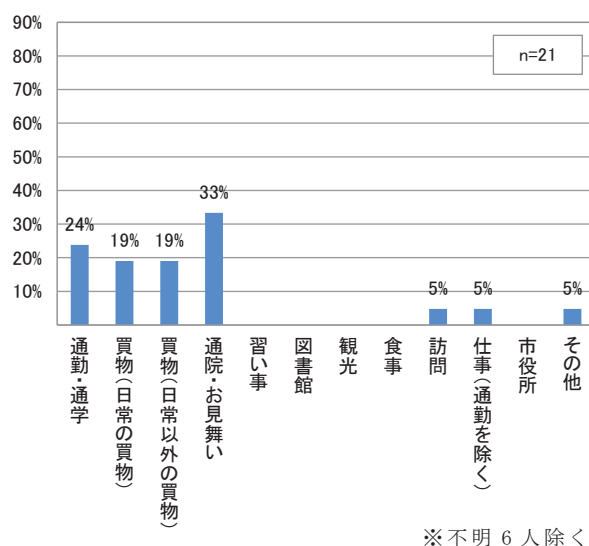
はっぴーバス



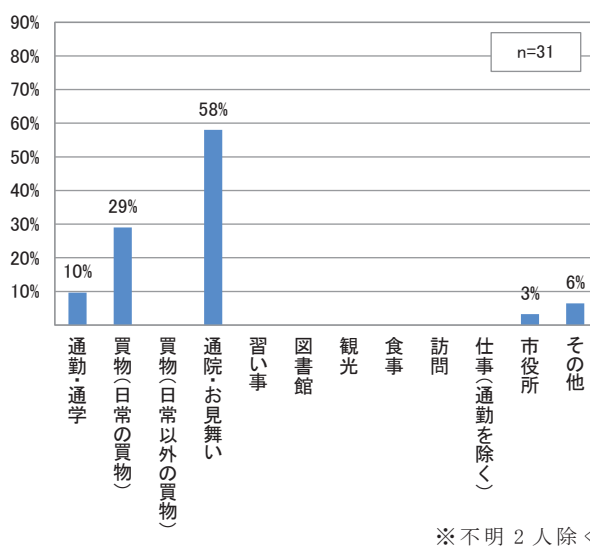
コミュニティバス【フラワーセンター線】



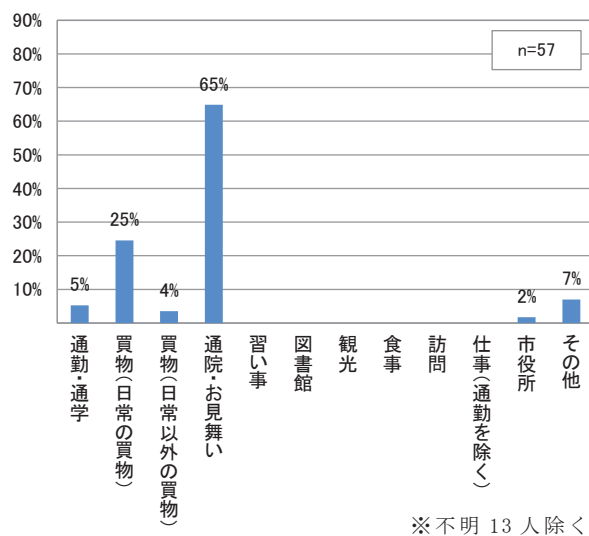
コミュニティバス【九会線】



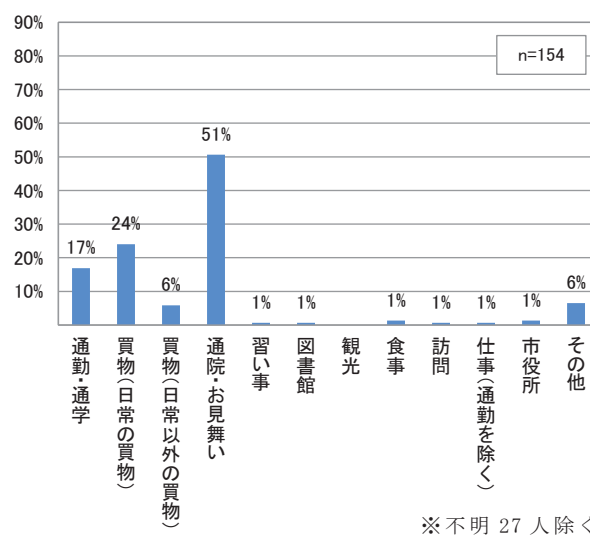
コミュニティバス【国正線】



コミュニティバス【市街地線】



コミュニティバス等合計



2.4 利用者の動き

① 北条鉄道利用者の移動状況

- ・北条鉄道利用者の移動状況としては、平日は全体の約 6 割が北条町駅から栗生駅の利用となっており、休日でも全体の約 6 割が北条町駅から栗生駅の利用となっている。

【平日】

平日		降車駅			
		北条町駅	中間駅	栗生駅	計
乗車駅	北条町駅		22 (6%)	144 (38%)	166 (44%)
	中間駅	18 (5%)	0 (0%)	47 (12%)	65 (17%)
	栗生駅	93 (25%)	52 (14%)		145 (39%)
	計	111 (30%)	74 (20%)	191 (50%)	376 (100%)

全体の 63% が北条町駅～栗生駅の利用

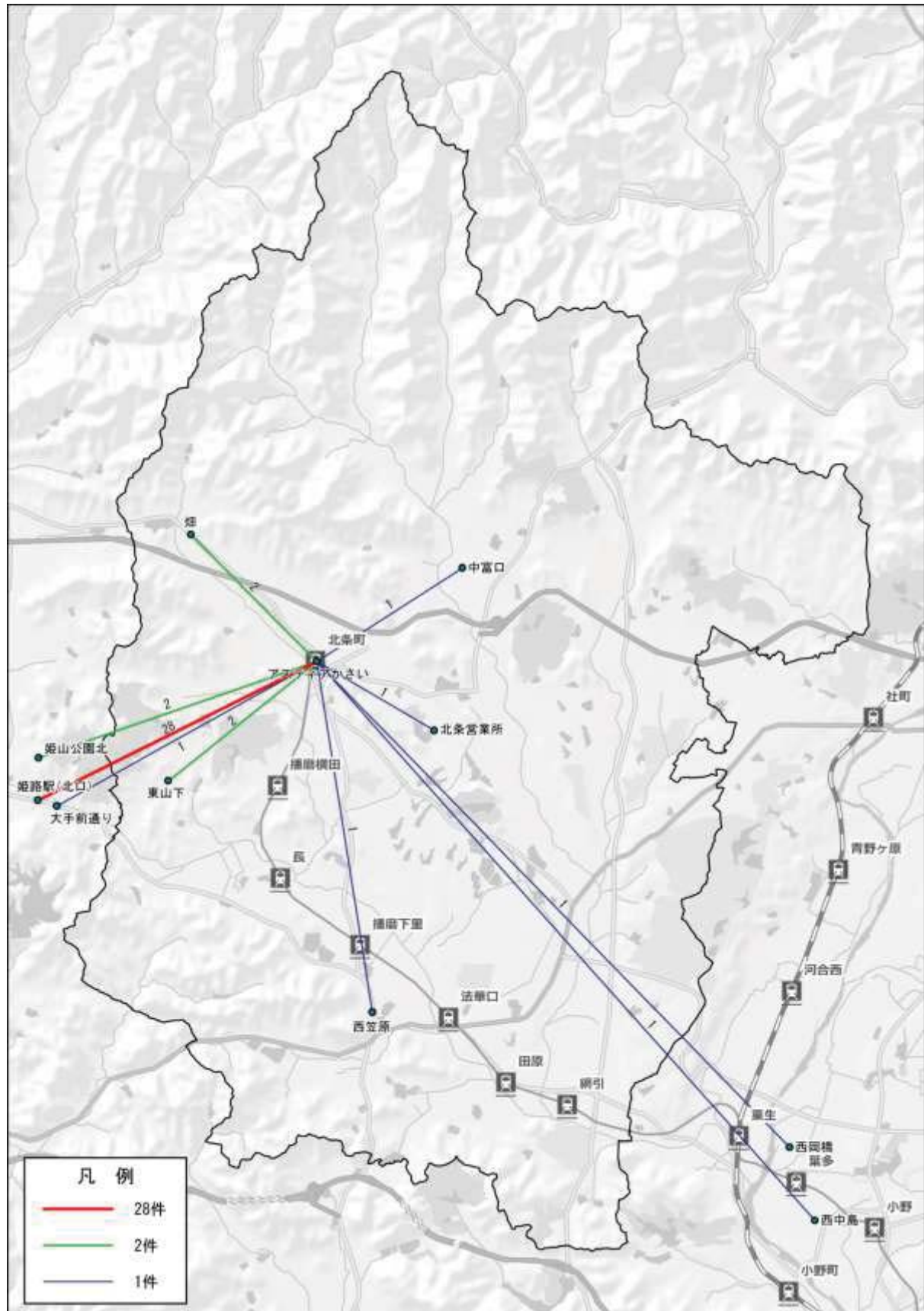
【休日】

休日		降車駅			
		北条町駅	中間駅	栗生駅	計
乗車駅	北条町駅		14 (7%)	59 (28%)	73 (35%)
	中間駅	4 (2%)	6 (3%)	30 (14%)	40 (19%)
	栗生駅	60 (28%)	38 (18%)		98 (46%)
	計	64 (30%)	58 (28%)	89 (42%)	211 (100%)

全体の 56% が北条町駅～栗生駅の利用

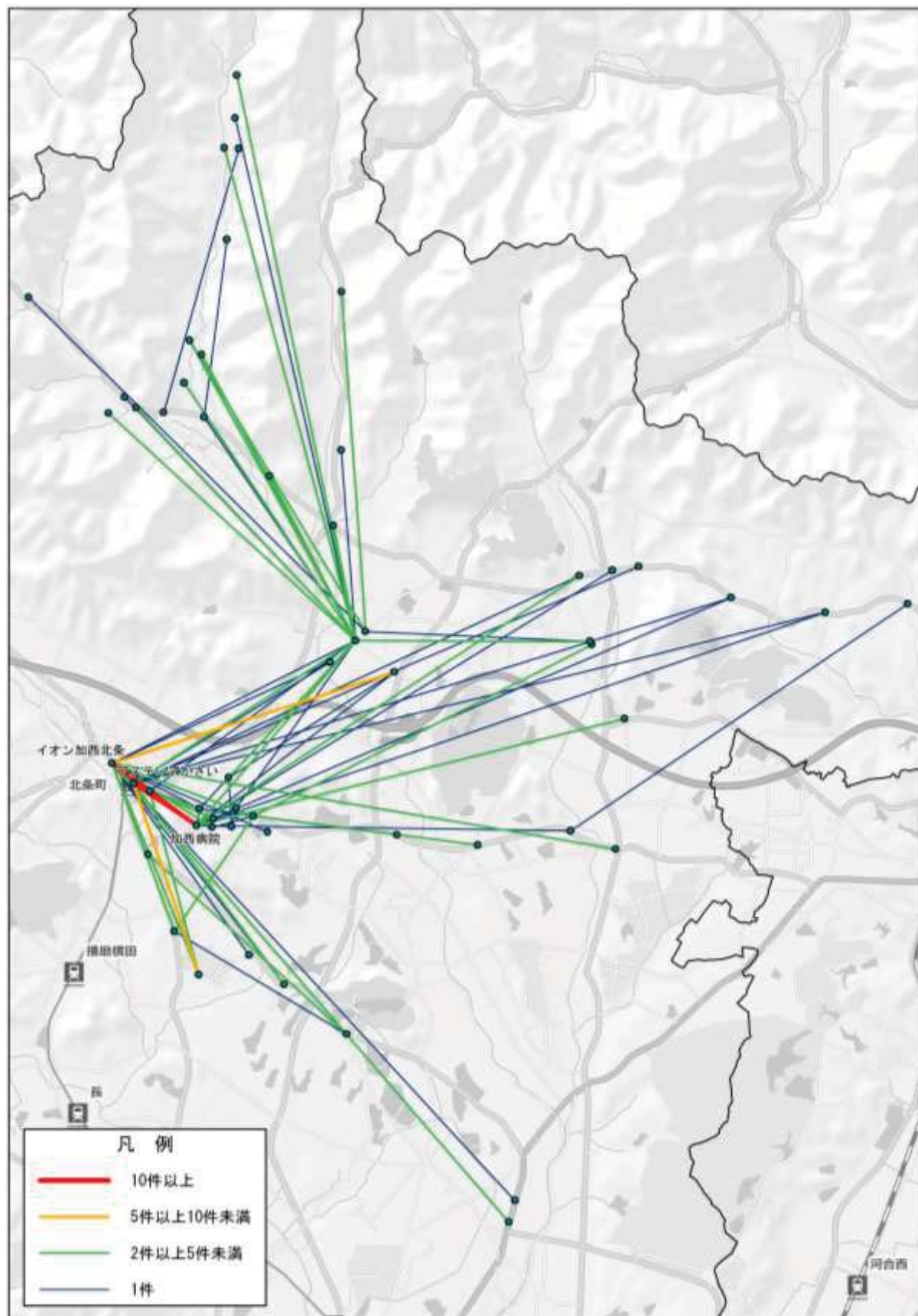
② 路線バス利用者のバス停間の移動状況

- ・路線バス利用者のバス停間の移動状況としては、アスティアかさいバス停⇄姫路駅（北口）バス停間の移動が最も多くなっており、次いでアスティアかさいバス停⇄畑バス停間、アスティアかさいバス停⇄東山下バス停間、アスティアかさいバス停⇄姫山公園北バス停間となっている。



③ コミュニティバス等利用者のバス停間の移動状況

- ・コミュニティバス等利用者のバス停間の移動状況としては、イオン加西北条バス停⇄加西病院バス停間、アスティアかさいバス停⇄加西病院バス停間の移動が最も多くなっている。

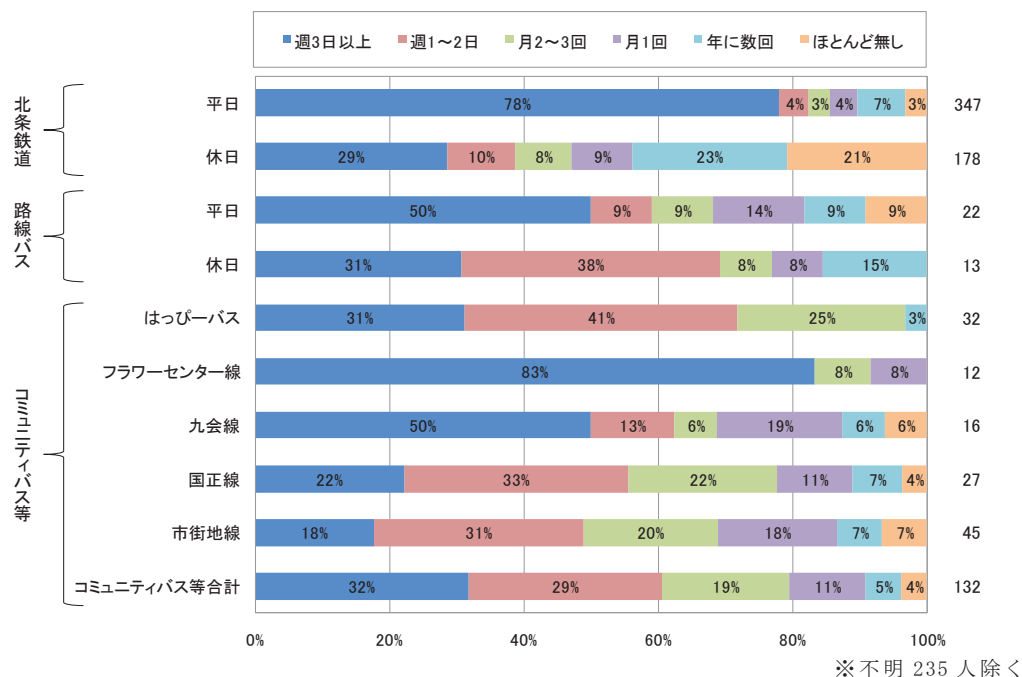


2.5 利用頻度

【問：どのくらいの頻度で利用しますか。】

- ・北条鉄道の回答者は、平日、休日ともに週3日以上の利用が最も多くなっている。
- ・路線バスの回答者は、平日は週3日以上の利用が多くなっており、休日は週1～2日の利用が多くなっている。
- ・コミュニティバス等の回答者は、合計で見ると週3日以上の利用が最も多くなっている。

< 利用頻度 >

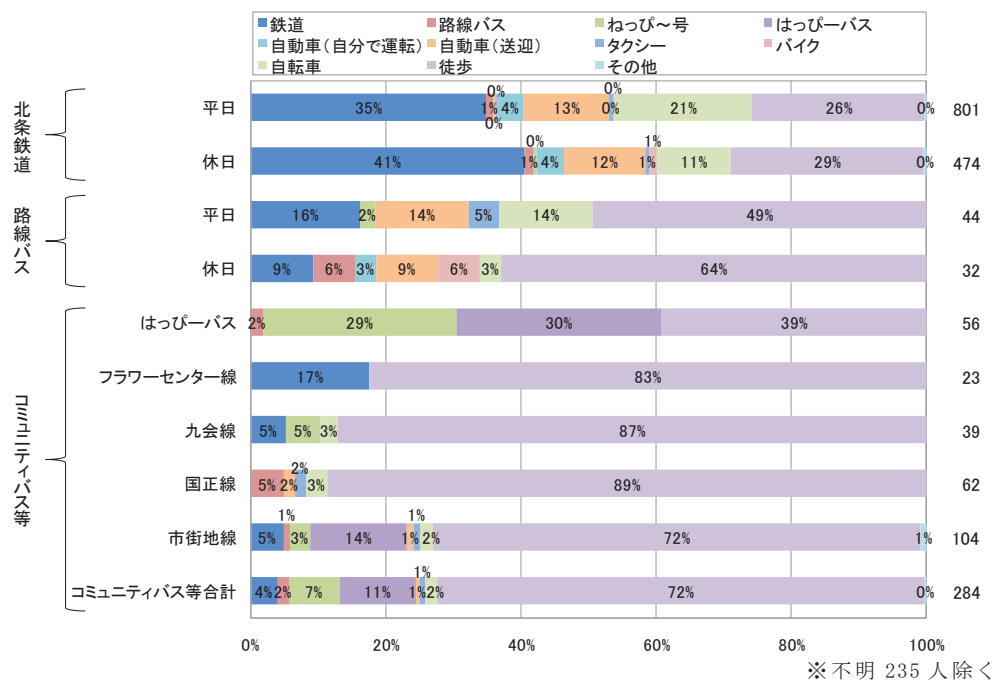


2.6 駅やバス停までの主な移動手段

【問：乗る前と降りた後の移動手段は何ですか。】

- ・北条鉄道の回答者は、平日、休日ともに鉄道が最も多くなっている。
- ・路線バスの回答者は、平日、休日ともに徒歩が最も多くなっている。
- ・コミュニティバス等の回答者は、合計で見ると徒歩が最も多くなっている。

< 駅やバス停までの主な移動手段 >

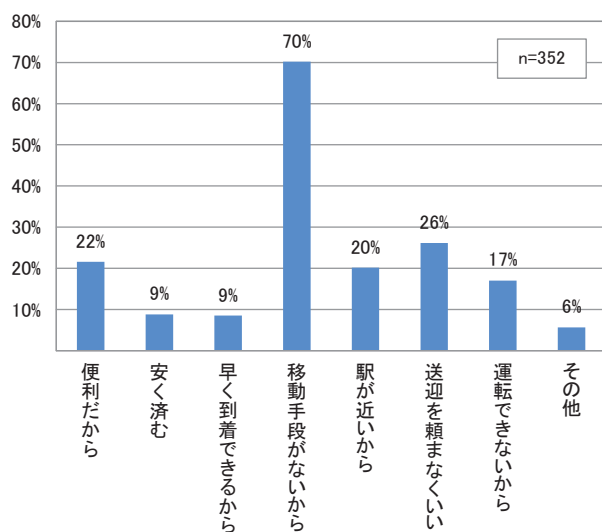


2.7 鉄道、バスの利用理由

【問：利用する理由は何ですか。】

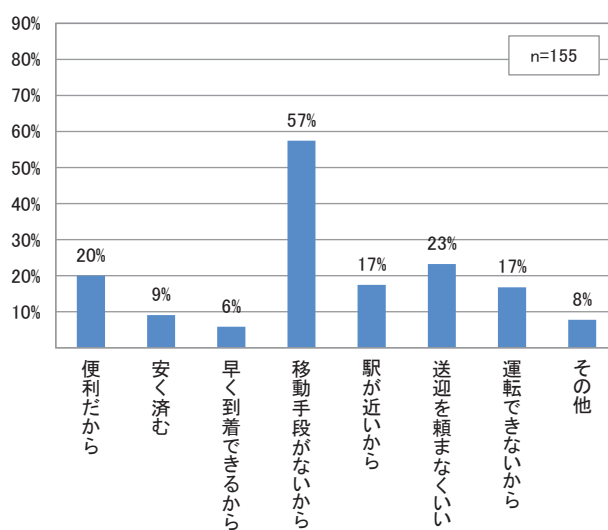
- ・北条鉄道の回答者は、平日、休日ともに移動手段がないため利用しているという理由が最も多くなっている。
- ・路線バスの回答者は、平日、休日ともに移動手段がないため利用しているという理由が最も多くなっている。
- ・コミュニティバス等の回答者は、合計で見るとコミュニティバスが便利だから利用しているという理由が最も多くなっている。

北条鉄道【平日】



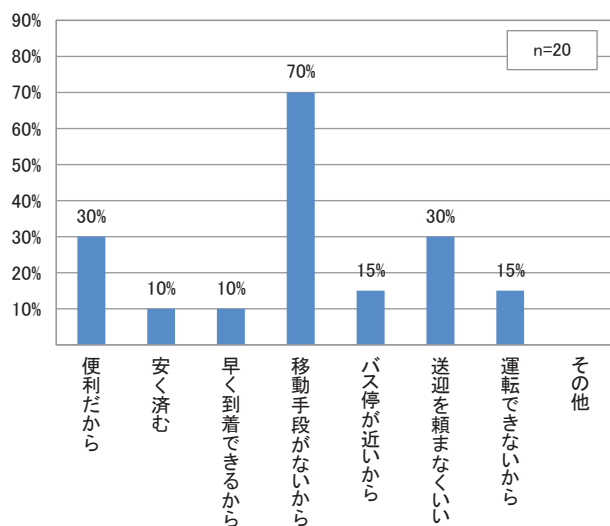
※不明 69 人除く

北条鉄道【休日】



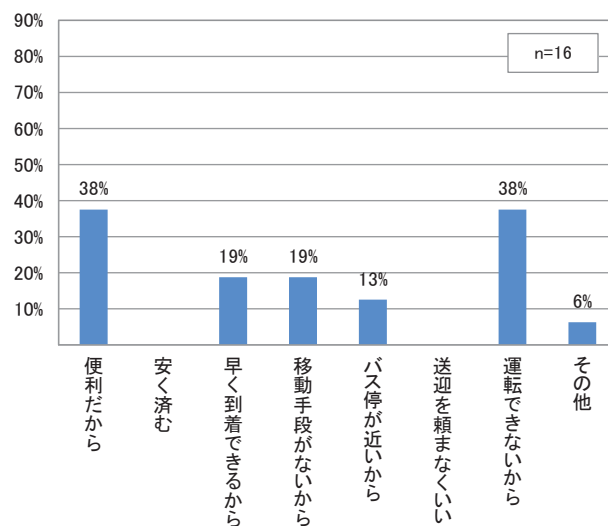
※不明 68 人除く

路線バス【平日】



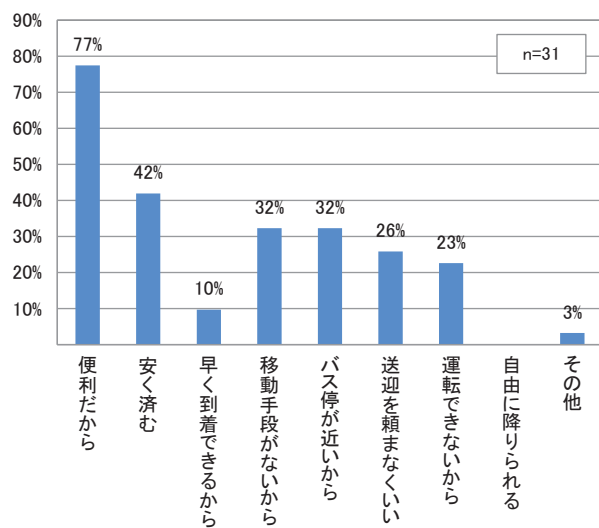
※不明 2 人除く

路線バス【休日】



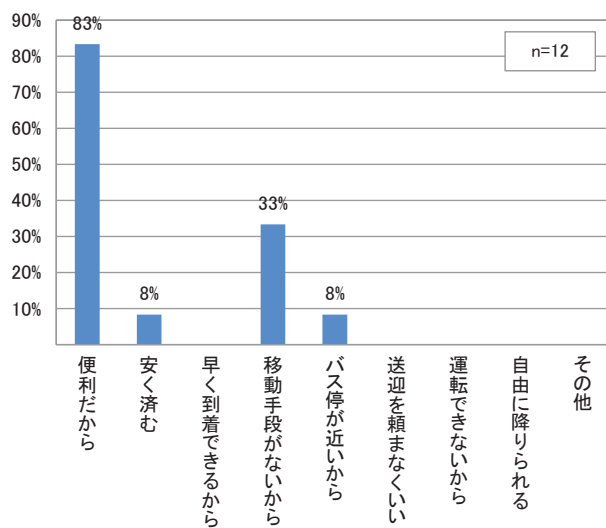
※不明 2 人除く

はっぴーバス



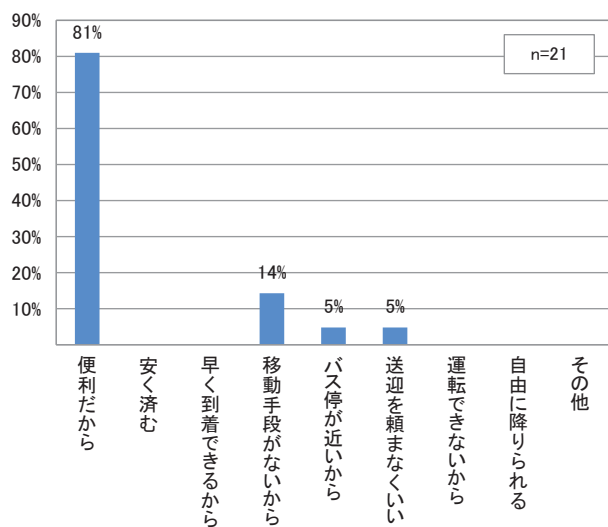
※ 不明 3 人除く

コミュニティバス【フラワーセンター線】



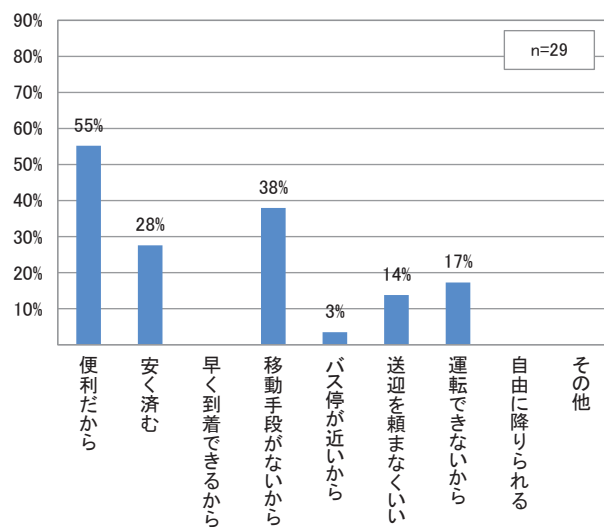
※ 不明 5 人除く

コミュニティバス【九会線】



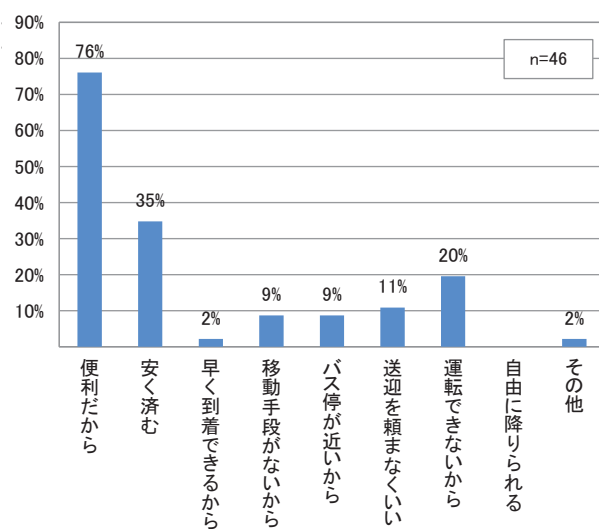
※ 不明 6 人除く

コミュニティバス【国正線】



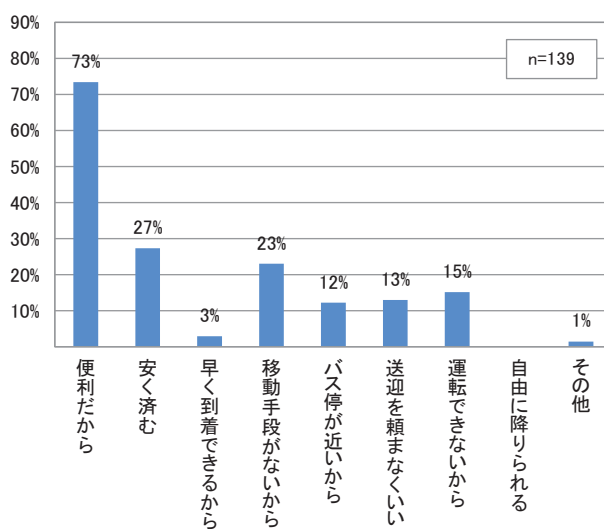
※ 不明 4 人除く

コミュニティバス【市街地線】



※ 不明 24 人除く

コミュニティバス等合計



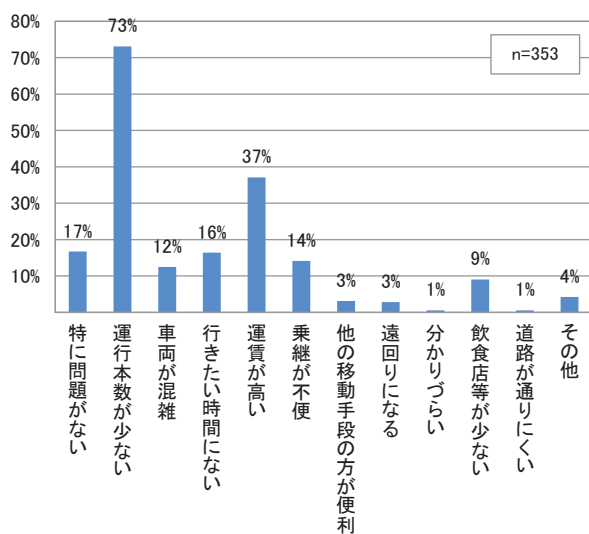
※ 不明 42 人除く

2.8 鉄道、バス利用時の問題

【問：利用に際して問題点がありますか。】

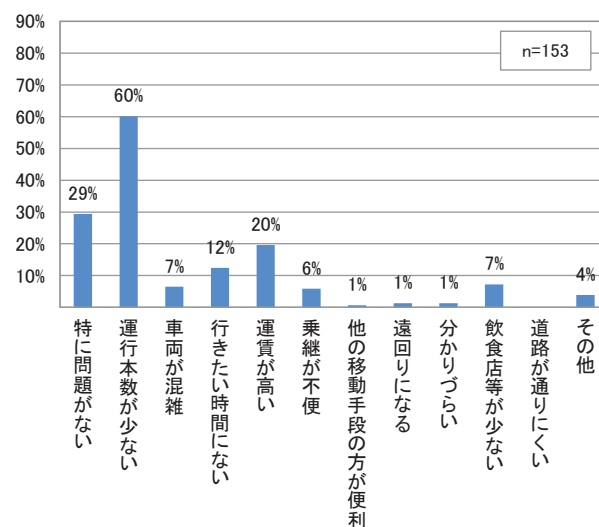
- ・北条鉄道の回答者は、平日、休日ともに運行本数が少ないという回答が最も多くなっている。
- ・路線バスの回答者は、平日は便が少ないという回答が最も多くなっており、休日は特に問題ないという回答が最も多くなっている。
- ・コミュニティバス等の回答者は、合計で見ると特に問題ないという回答が最も多くなっている。

北条鉄道【平日】



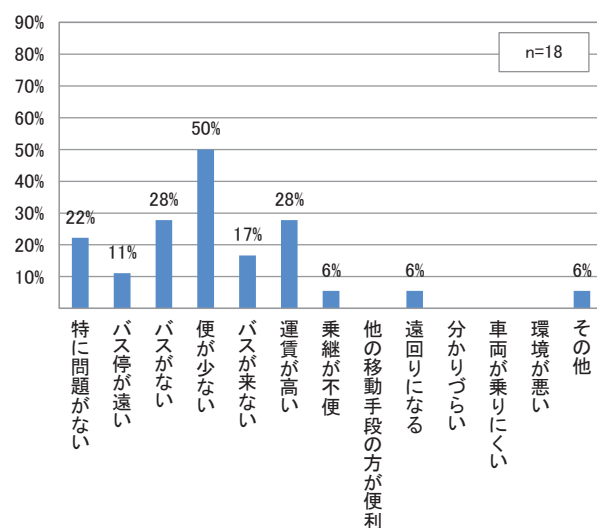
※不明 70 人除く

北条鉄道【休日】



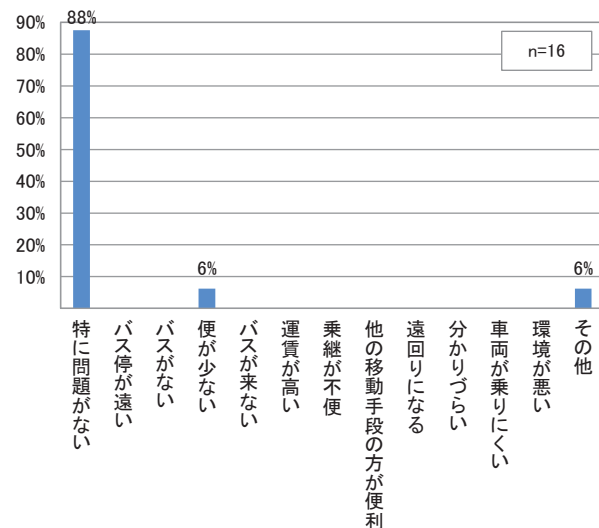
※不明 73 人除く

路線バス【平日】



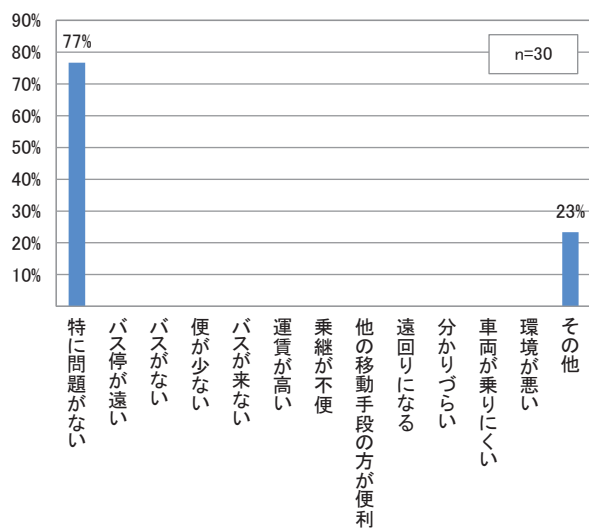
※不明 4 人除く

路線バス【休日】



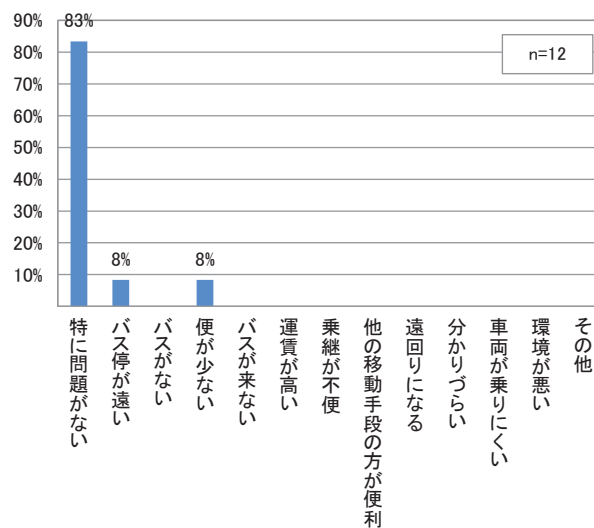
※不明 2 人除く

はっぴーバス



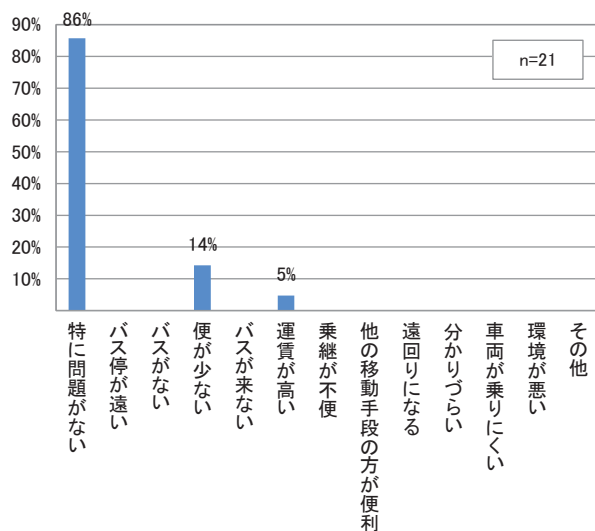
※不明 4 人除く

コミュニティバス【フラワーセンター線】



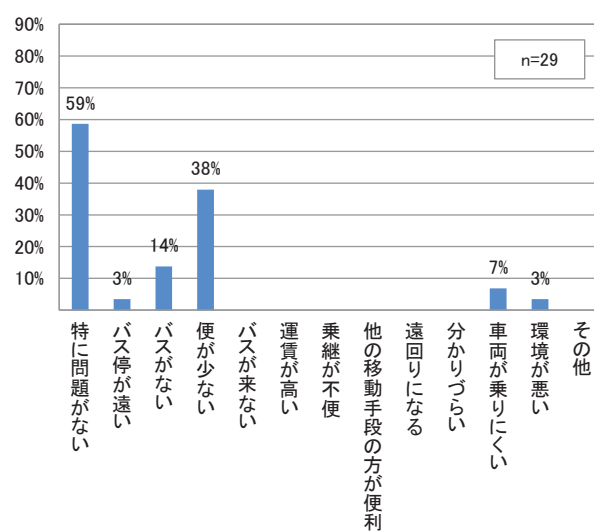
※不明 5 人除く

コミュニティバス【九会線】



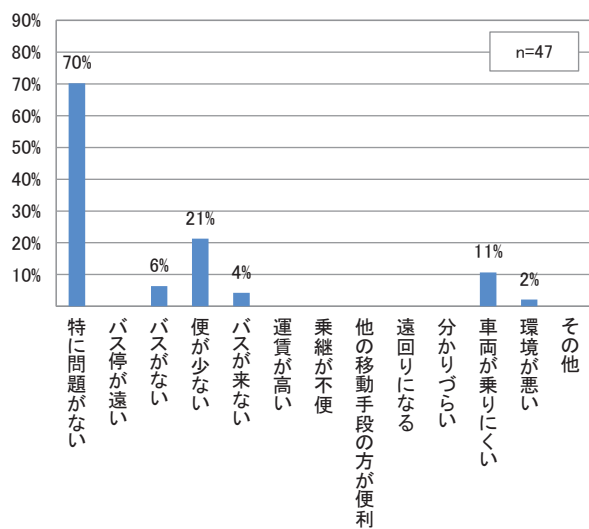
※不明 6 人除く

コミュニティバス【国正線】



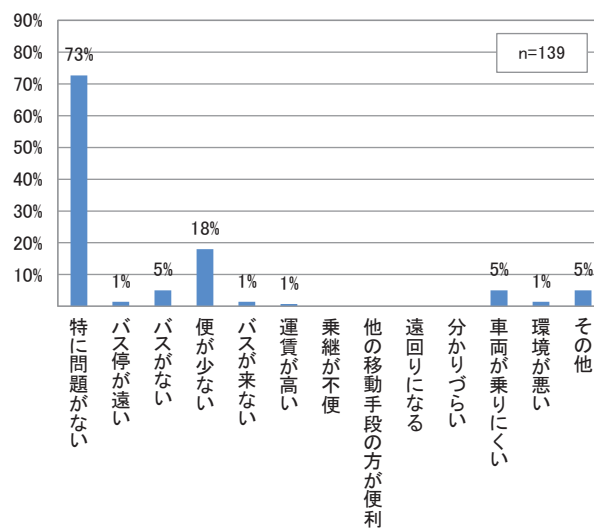
※不明 4 人除く

コミュニティバス【市街地線】



※不明 23 人除く

コミュニティバス等合計



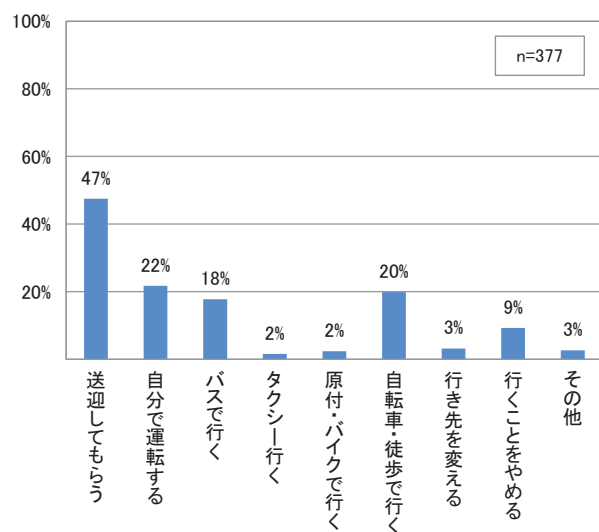
※不明 42 人除く

2.9 鉄道、バスがない場合の代替手段

【問：もし、鉄道やバスがなくなったら、今日の目的地へはどうやって行きますか。】

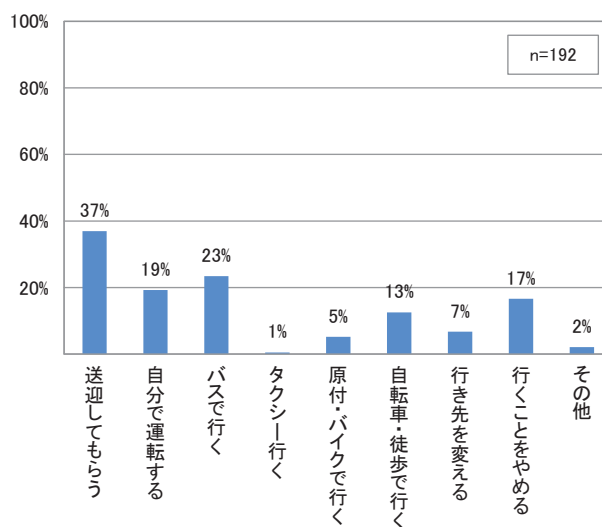
- ・北条鉄道の回答者は、平日、休日ともに送迎してもらうという回答が最も多くなっている。
- ・路線バスの回答者は、平日は送迎してもらうという回答が最も多くなっており、休日は鉄道で行くという回答が最も多くなっている。
- ・コミュニティバス等の回答者は、合計で見ると送迎してもらうという回答が最も多くなっている。
- ・北条鉄道、路線バス、はっぴーバスの回答の中に、行くことをやめるという回答が一定数ある。

北条鉄道【平日】



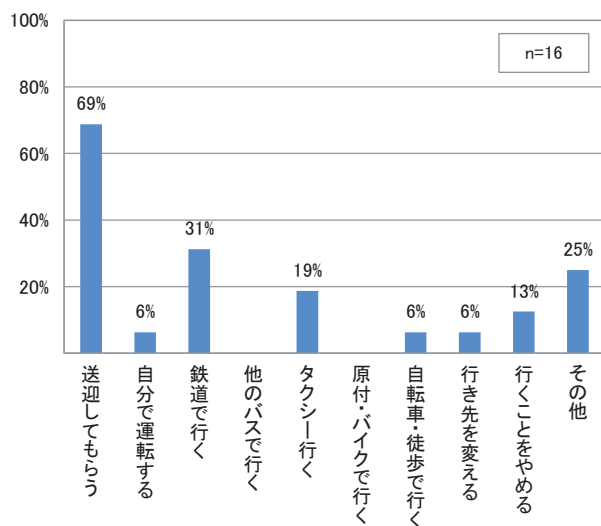
※不明 59 人除く

北条鉄道【休日】



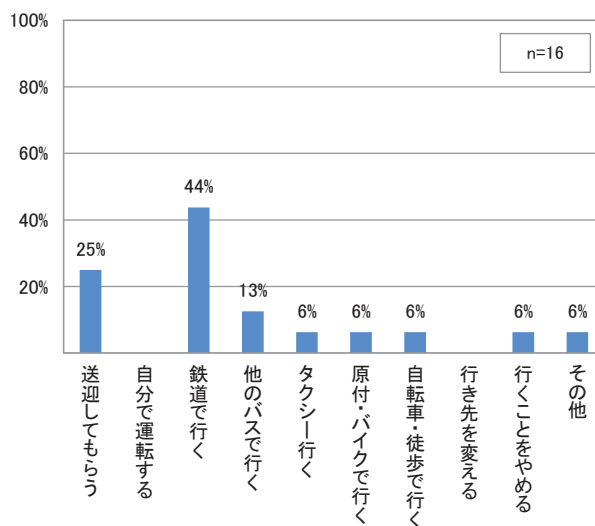
※不明 78 人除く

路線バス【平日】



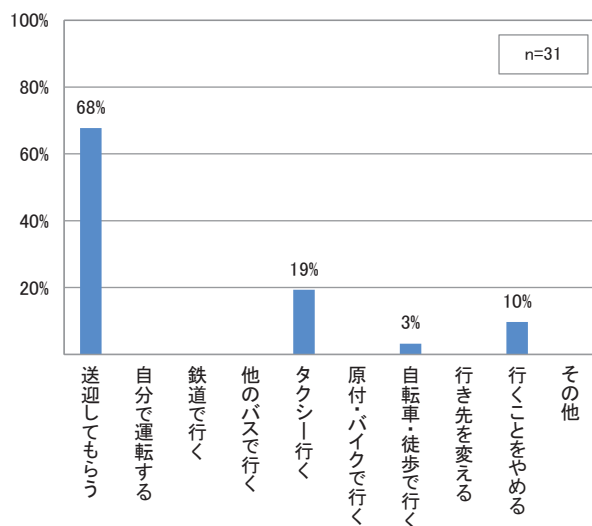
※不明 6 人除く

路線バス【休日】



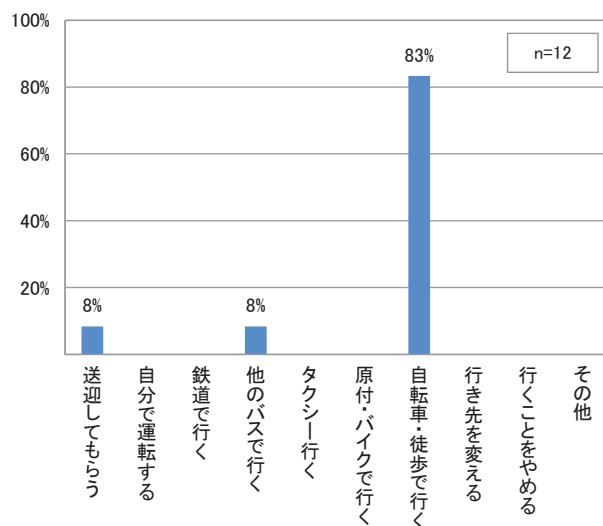
※不明 2 人除く

はッピーバス



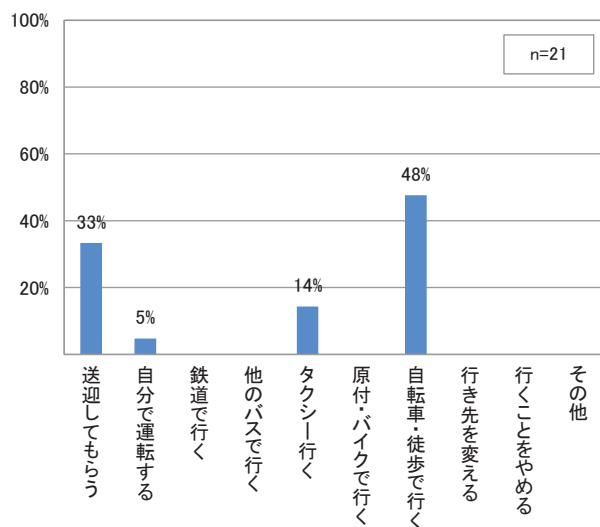
※不明 3 人除く

コミュニティバス【フラワーセンター線】



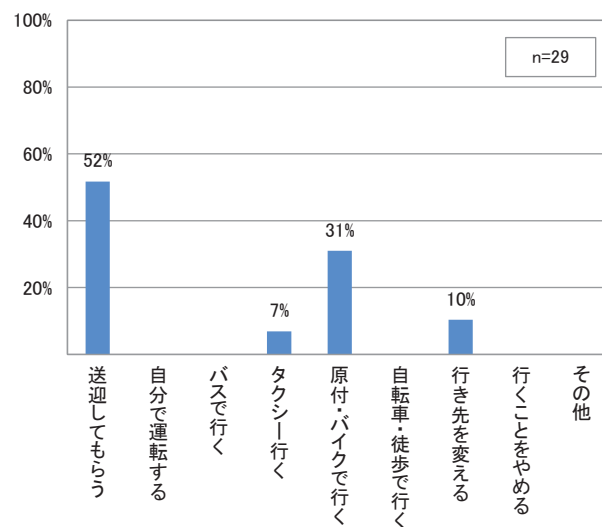
※不明 5 人除く

コミュニティバス【九会線】



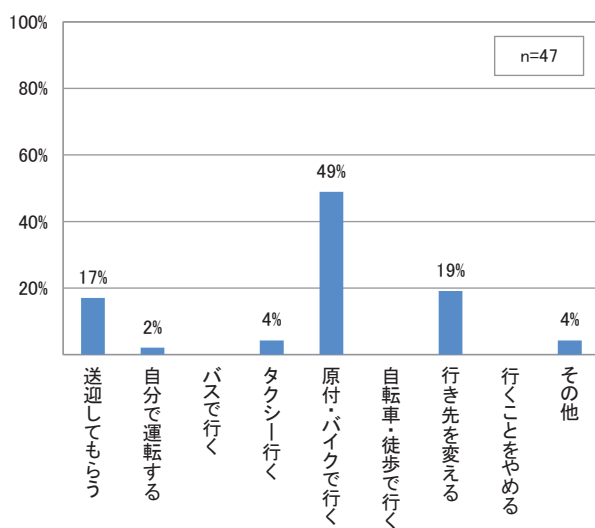
※不明 6 人除く

コミュニティバス【国正線】



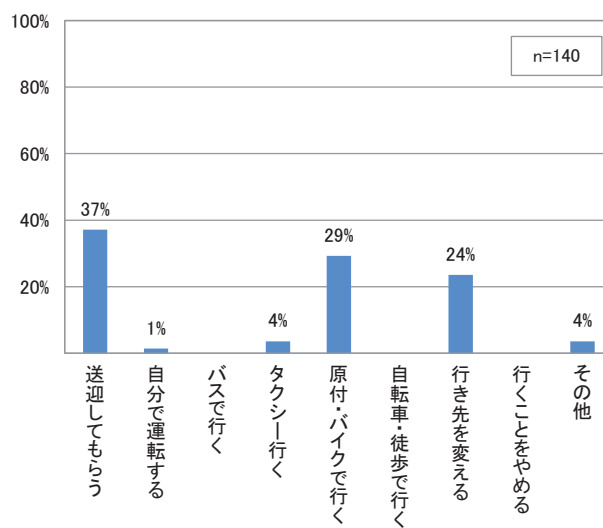
※不明 4 人除く

コミュニティバス【市街地線】



※不明 23 人除く

コミュニティバス等合計



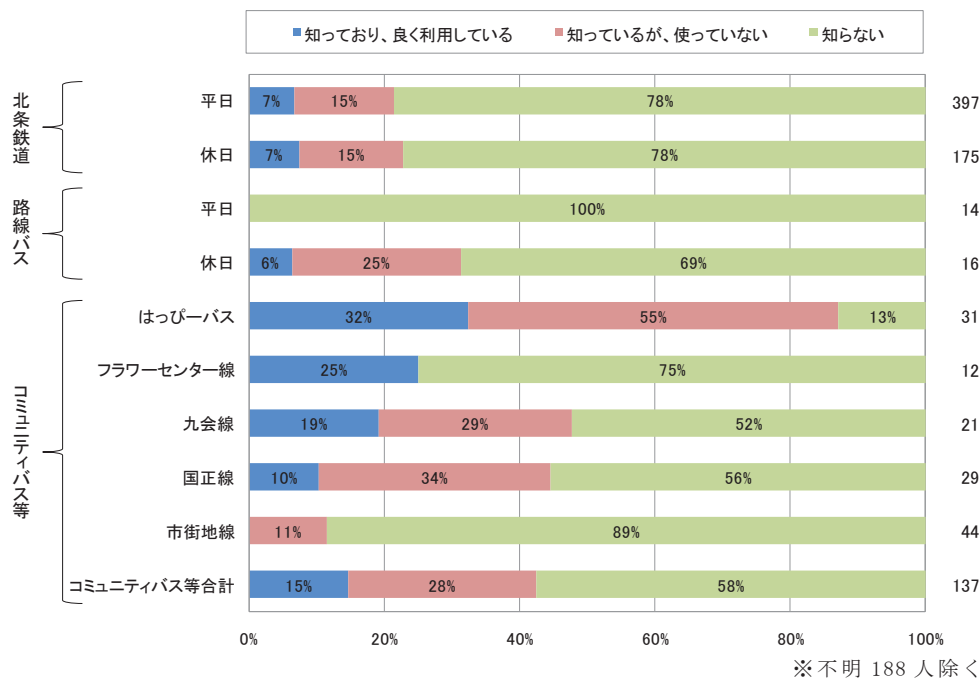
※不明 41 人除く

2.10 総合時刻表及びポケット時刻表の認知度

【問：「かさい・おでかけ・ナビ（ポケット時刻表含む）」は知っていますか。】

- ・北条鉄道の回答者は、平日、休日ともに知らない方が最も多くなっている。
- ・路線バスの回答者は、平日、休日ともに知らない方が最も多くなっている。
- ・コミュニティバス等の回答者は、合計で見ると知らない方が最も多くなっている。

＜ 総合時刻表及びポケット時刻表の認知度 ＞

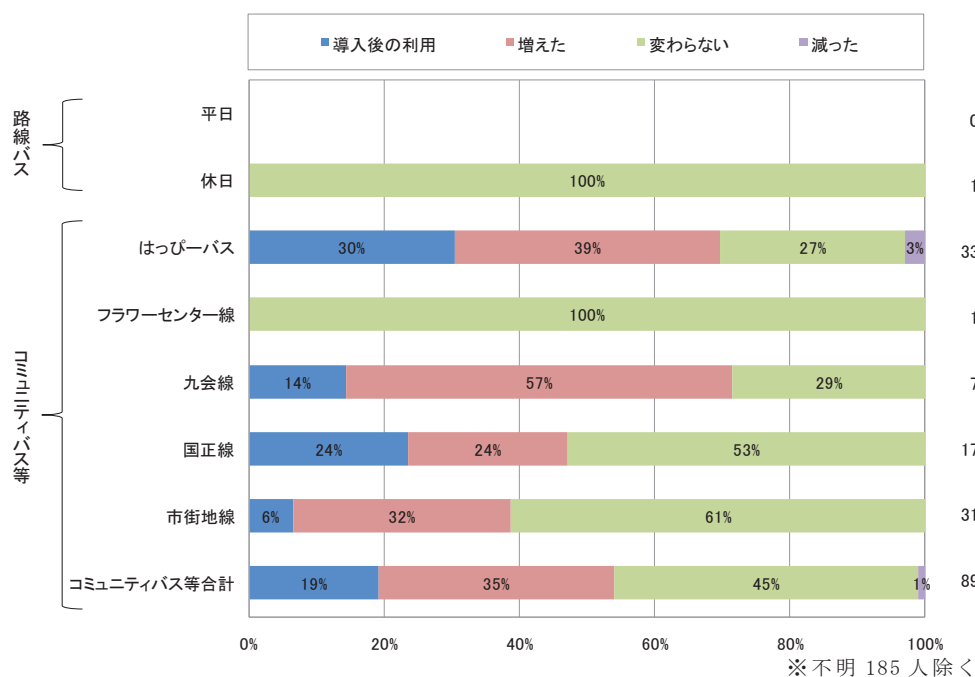


2.11 無料乗車券導入後のバスでの外出回数

【問：約1年前（平成28年11月）に無料乗車券が導入されて以降、バスでの外出の回数は増えましたか。】

- ・コミュニティバス等の回答者は、合計で見ると増えたまたは導入後に利用し始めたと回答している方が半数を超えている。

＜ 無料乗車券導入後のバスでの外出回数 ＞

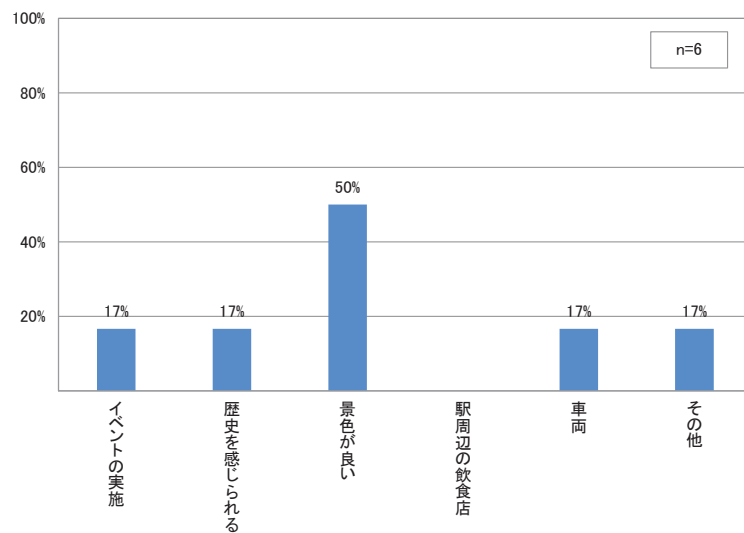


2.12 北条鉄道の魅力

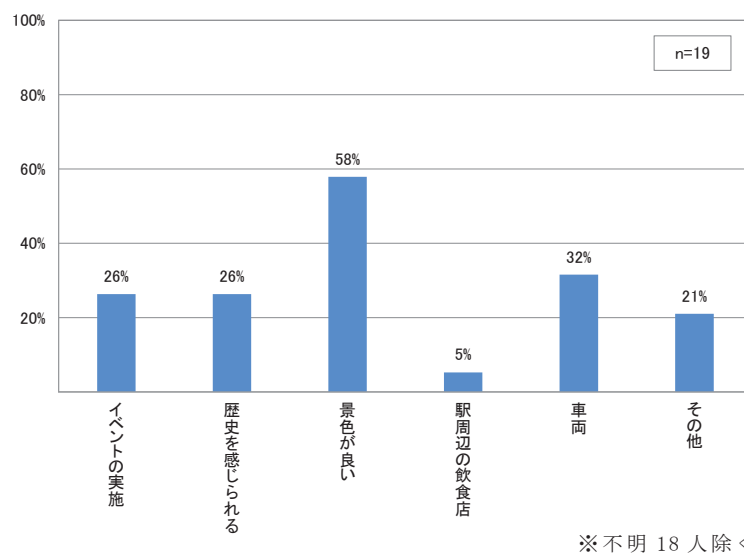
【問：北条鉄道の魅力は何ですか。】

・北条鉄道の魅力としては、平日は景色が良いという回答が最も多く、次いでイベントの実施、歴史を感じられる、車両が多くなっている。休日は、景色が良いという回答が最も多く、次いで車両、イベントの実施、歴史を感じられるが多くなっている。

【平日】



【休日】



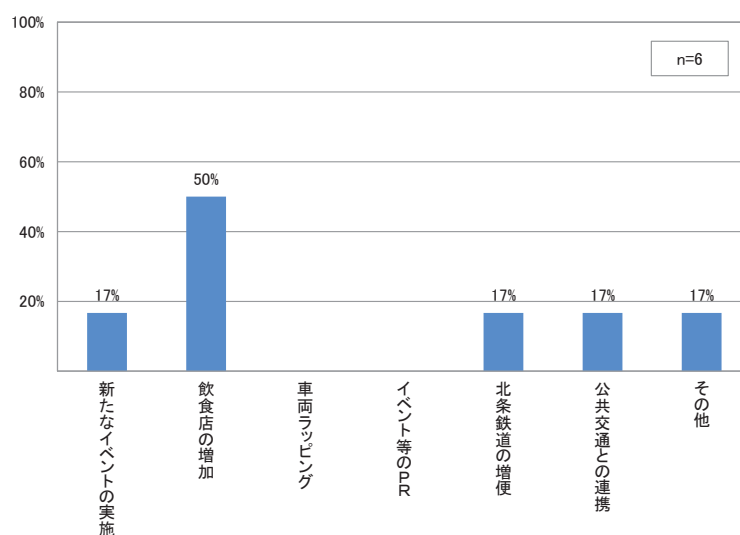
表中項目	正式項目
イベントの実施	様々なイベントを実施している
歴史を感じられる	駅や周辺で歴史を感じられる
景色が良い	(車窓からの) 景色が良い
駅周辺の飲食店	駅周辺にある飲食店
車両	車両 (デザイン、車体)
その他	その他

2.13 北条鉄道の魅力向上のための方策

【問：どのような方策を実施すると、北条鉄道の魅力がさらに向上すると思いますか。】

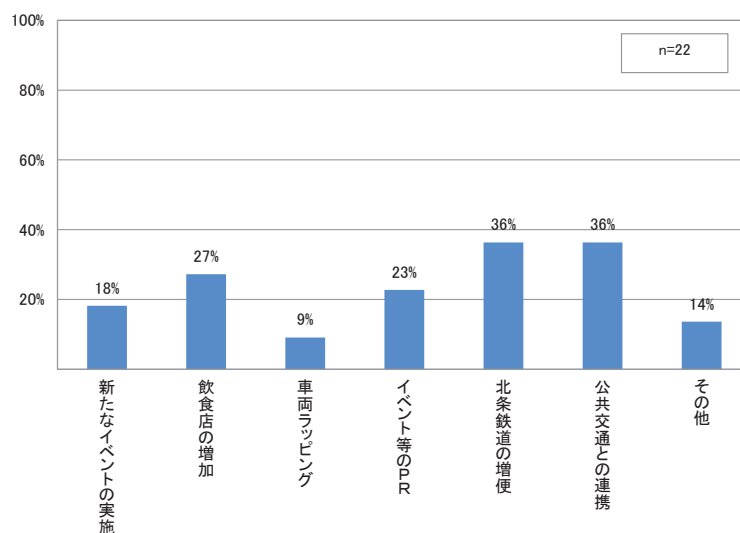
・北条鉄道の魅力向上のための方策としては、平日は飲食店の増加という回答が最も多く、次いで新たなイベントの実施、北条鉄道の増便、公共交通との連携が多くなっている。休日は、北条鉄道の増便、公共交通との連携が最も多く、次いで飲食店の増加が多くなっている。

【平日】



※不明 3 人除く

【休日】



※不明 15 人除く

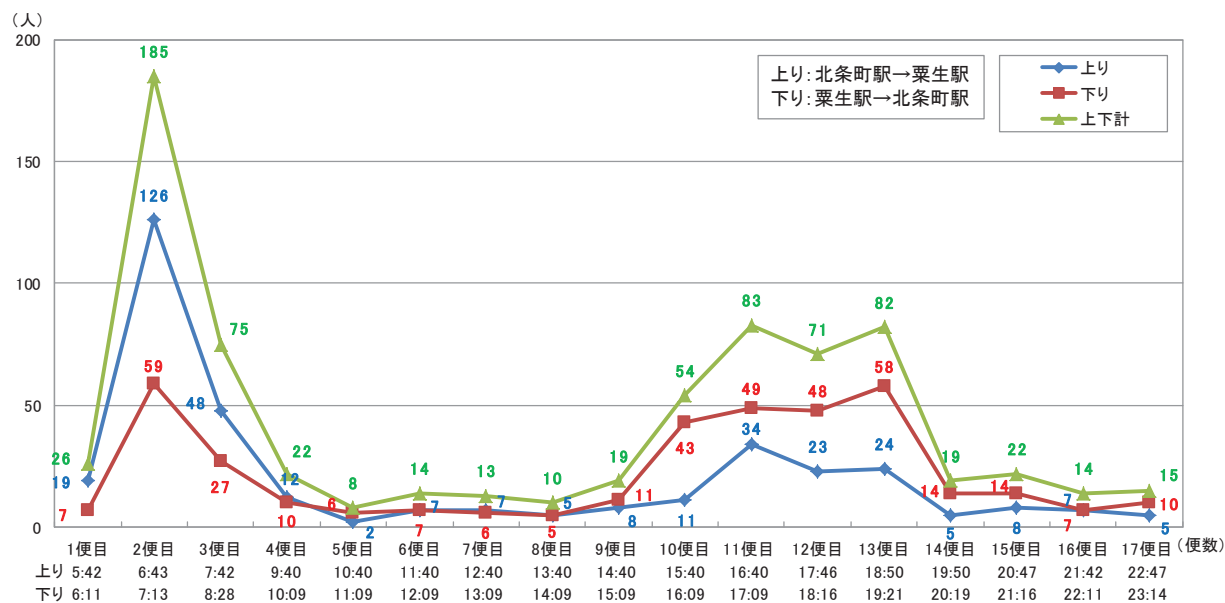
表中項目	正式項目
新たなイベントの実施	新たなイベントの実施
飲食店の増加	北条鉄道周辺の飲食店の増加
車両ラッピング	車両ラッピング
イベント等のPR	現在のイベント等のPR
北条鉄道の増便	北条鉄道の増便
公共交通との連携	北条鉄道とその他公共交通との連携による観光地巡りの実施
その他	その他

2.14 北条鉄道の利用者数

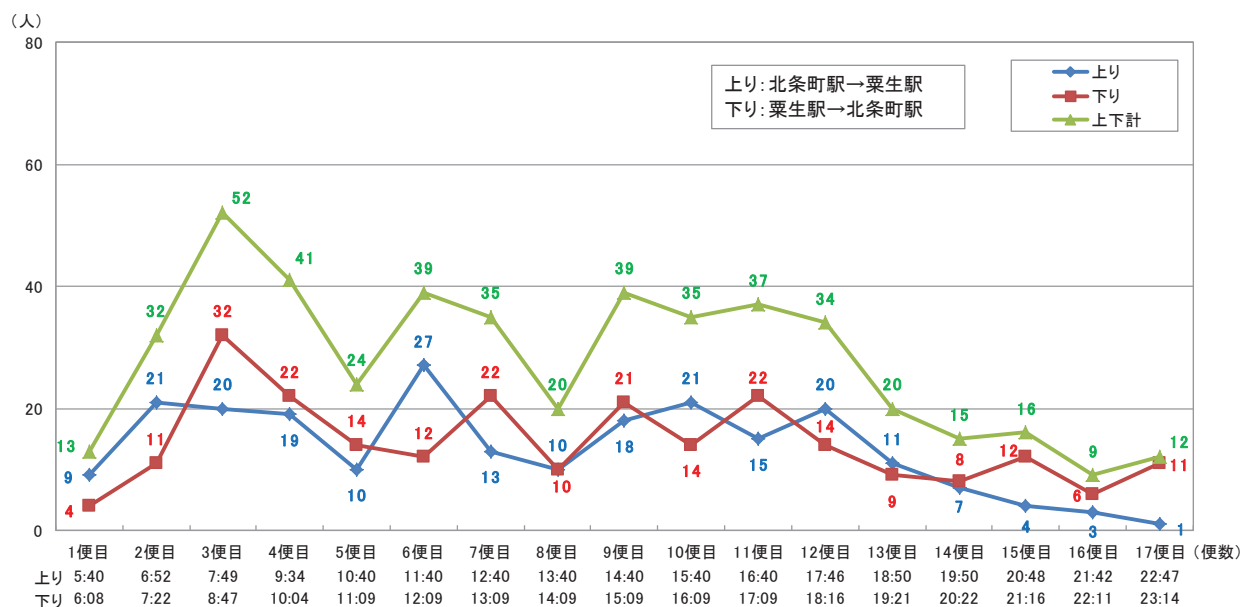
- ・北条鉄道の利用者数としては、上り下り計で見ると 2 便目が最も多く、次いで 11 便目、13 便目、12 便目と多くなっている。休日は、上り下り計で見ると 3 便目が最も多く、次いで 4 便目、6 便目、9 便目と多くなっている。

< 北条鉄道の利用者数 >

平日【平成29年10月3日(火)】



休日【平成29年10月1日(日)】



加西市地域公共交通網形成計画書(案)

目 次	
第1章 本計画の概要	
1.1 計画策定の目的	
1.2 計画の位置付け	
1.3 計画の区域	
1.4 計画の期間	
1.5 計画の構成	
第2章 加西市の概況と公共交通の現状	
2.1 加西市の概況	
(1) 位置・地勢	
(2) 人口	
(3) 公共交通網	
(4) 観光	
2.2 加西市における交通の現状	
(1) 鉄道の現状	
(2) 路線バスの現状	
(3) コミュニティバスの現状	
(4) 鉄道・バスによるカバー状況	
(5) 鉄道・バスに対する行政支援	
(6) 高齢者等の移動に対する福祉施策の状況	
(7) 道路交通の現状	
(8) 加西市における人の動き	
(9) クルマを気軽に利用できない人の移動特性	
(10) 公共交通に対する市民の要望と改善意見	
第3章 計画の方向性	
3.1 計画の方向性の考え方	
(1) 計画の方向性とは	
(2) 加西市の公共交通をとりまく課題	
(3) 加西市がめざす将来像(上位計画)	
(4) 加西市がめざす将来像に向けた公共交通の目指す方針	
3.2 公共交通のめざす姿(基本理念及びめざすべき公共交通サービス)	
(1) 基本理念	
(2) めざすべき公共交通サービス	
3.3 基本方針	
3.4 施策及び事業	
(1) 施策体系	
(2) 公共交通事業一覧	
第4章 公共交通のめざす姿に向けた施策・事業	
基本方針1:みんなが利用しやすい公共交通網の構築	
基本方針2:利便性の高い公共交通結節点の整備	
基本方針3:地域のさらなる結びつき強化を図る公共交通の利用促進	
第5章 計画の実現に向けて	
5.1 公共交通を支える三者の連携	
5.2 持続可能な公共交通確保のための他分野との連携	
5.3 公共交通事業運営方針の設定	
5.4 計画達成状況の評価及び計画の見直し	
(1) 数値目標の設定	
(2) PDCAサイクルによる施策・事業の改善	
(3) 社会情勢の変化に対応した計画の見直し	

資料
3
参
照資料
4
参
照

加西市の概況と公共交通の現状

平成 29 年 12 月 21 日

加 西 市

— 目 次 —

第2章 加西市の概況と公共交通の現状	1
2.1 加西市の概況	1
(1) 位置・地勢	1
(2) 人口	2
(3) 公共交通網	5
(4) 観光	6
2.2 加西市における交通の現状	7
(1) 鉄道の現状	7
(2) 路線バスの現状	13
(3) コミュニティバス等の現状	18
(4) 鉄道・バスによるカバー状況	25
(5) 鉄道・バスに対する行政支援	27
(6) 高齢者等の移動に対する福祉施策の状況	28
(7) 道路交通の現状	29
(8) 加西市における人の動き	31
(9) クルマを気軽に利用できない人の移動特性	36
(10) 公共交通に対する市民の要望と改善意見	40

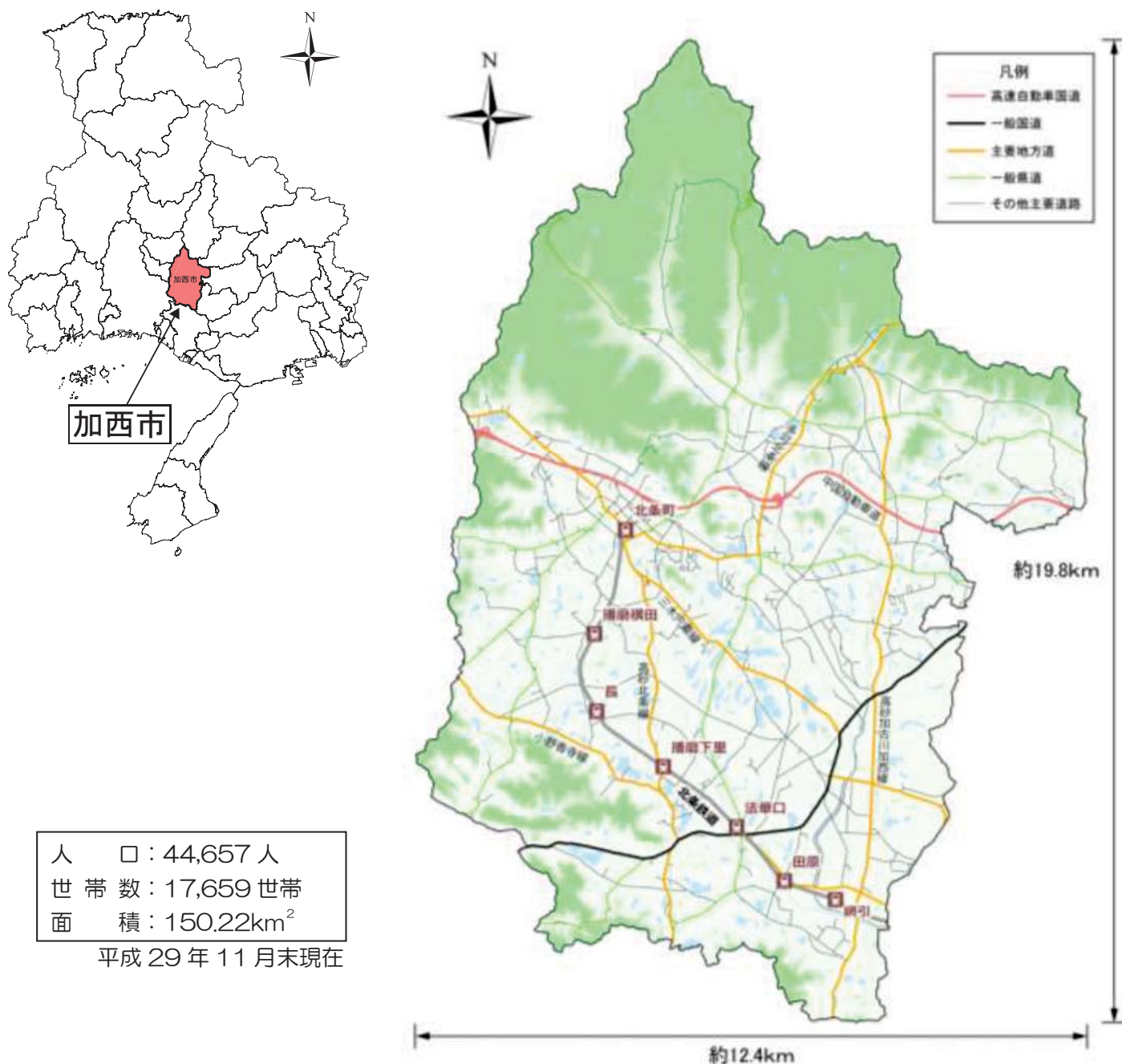
第2章 加西市の概況と公共交通の現状

2.1 加西市の概況

(1) 位置・地勢

- ・加西市は兵庫県の南部、播州平野のほぼ中央に位置しており、東は小野市および加東市に、西は姫路市および福崎町に、南は加古川市に、そして北は西脇市、多可町および市川町にそれぞれ隣接しています。
- ・市の中心部を流れる万願寺川の東側には広大な青野ヶ原台地が、西側には鶉野台地が広がり、播磨内陸地域最大の平坦地を形成しています。特に、この一帯は、ため池が数多く点在し、県下でも有数の密集地帯となっています。
- ・瀬戸内式気候に属しており、冬季の降水量が少なく温暖で暮らしやすい地域となっています。
- ・市域としては東西約 12.4km、南北約 19.8km、総面積は 150.22km²となっています。

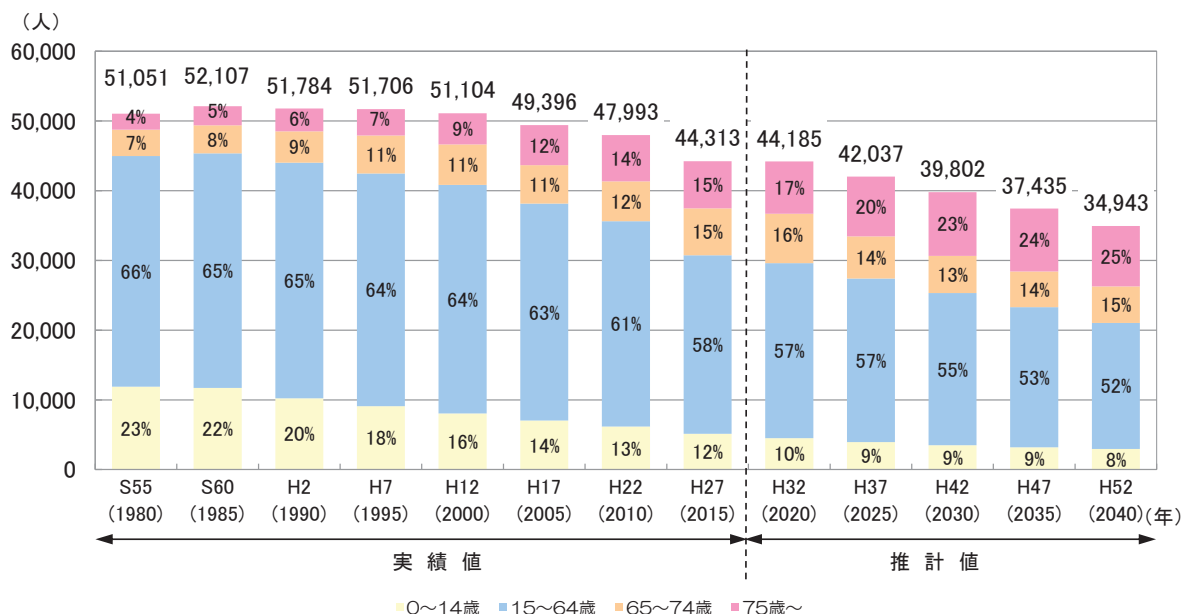
< 加西市の位置と概要 >



(2) 人口

- ・加西市の人口は、平成 27 年（2015 年）国勢調査結果で、約 4 万 4 千人です。
- ・昭和 60 年（1985 年）以降、減少傾向にあり、平成 52 年（2040 年）には、約 3 万 5 千人まで減少すると推計されています。
- ・平成 27 年（2015 年）の 65 歳以上の人口は 30%を占め、高齢化が進んでいます。
- ・今後の人口減少に伴い、65 歳までの人口割合は減少していきますが、平成 52 年（2040 年）には、65 歳以上の人口が 40%を占め、約 3 人に 1 人が 65 歳以上になると推計されています。

< 人口・高齢化率・年少人口比率の推移 >



*) 年齢不詳人口は除く

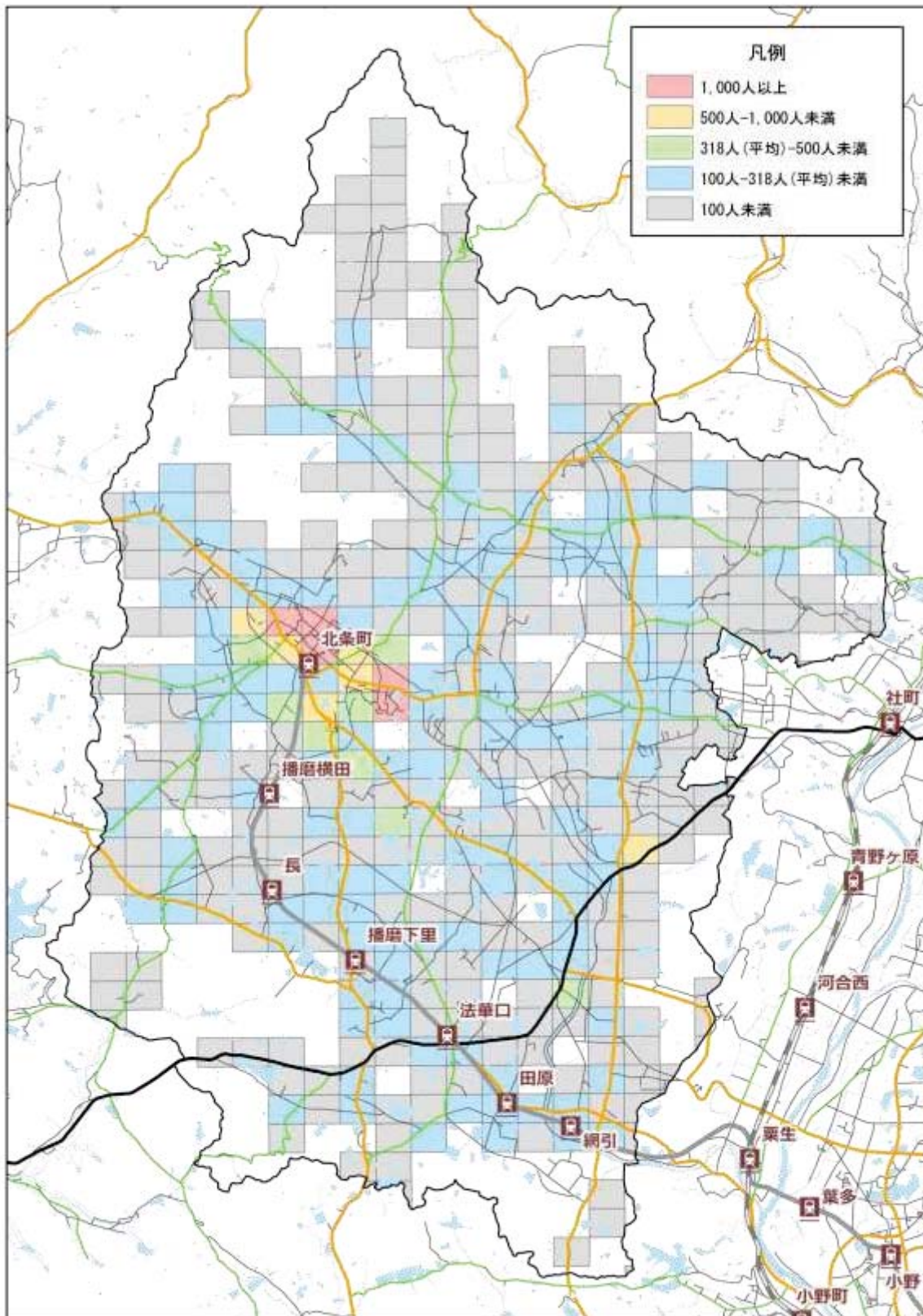
出典) 平成 27 年(2015 年)以前: 国勢調査

平成 32 年(2020 年)以降: 「日本の地域別将来推計人口」(平成 25(2013)年 3 月推計)

国立社会保障・人口問題研究所

- ・加西市の可住地面積※¹は 84.90km²で、総面積の約 60%となっています。
- ・加西市の人口分布状況は、北条地区周辺に人口が集中している一方で、100 人未満（メッシュ※²当たり）の低密な地域が市全域に広がっています。

< 地域別人口 >



出典) 平成 27 年(2015 年)国勢調査地域メッシュ統計

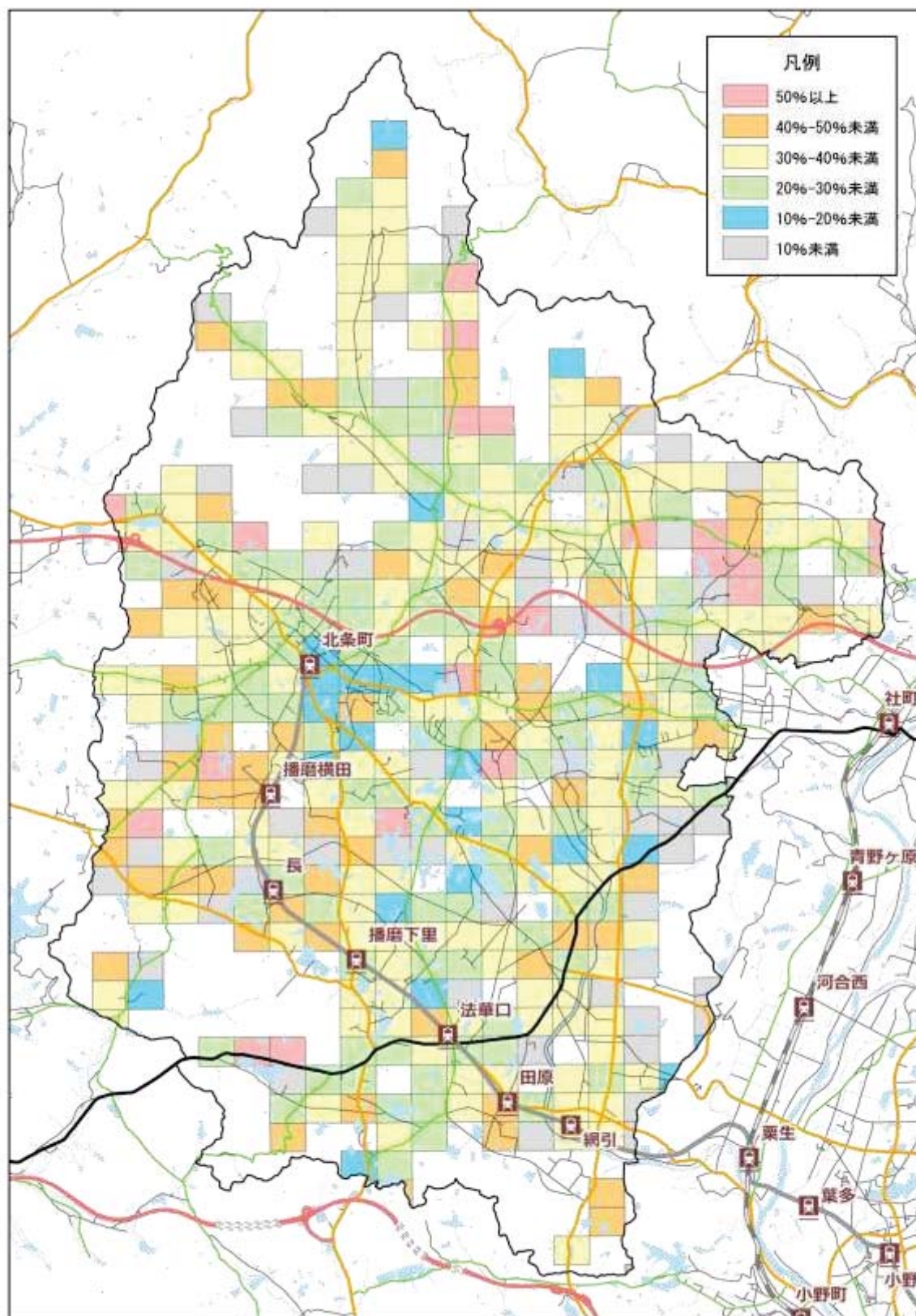
※¹ 可住地面積は、平成 25 年(2014 年)10 月 1 日現在。

総面積から林野面積と主要湖沼面積を差し引いて総務省統計局が算出したもの。出典は兵庫県市区町別主要統計指標(平成 29 年)

※² メッシュは 1 辺約 500m の正方形

- ・高齢化率は、北条地区以外で高くなっており、50%以上となっている地域も点在しています。

＜ 地域別高齢化率 ＞

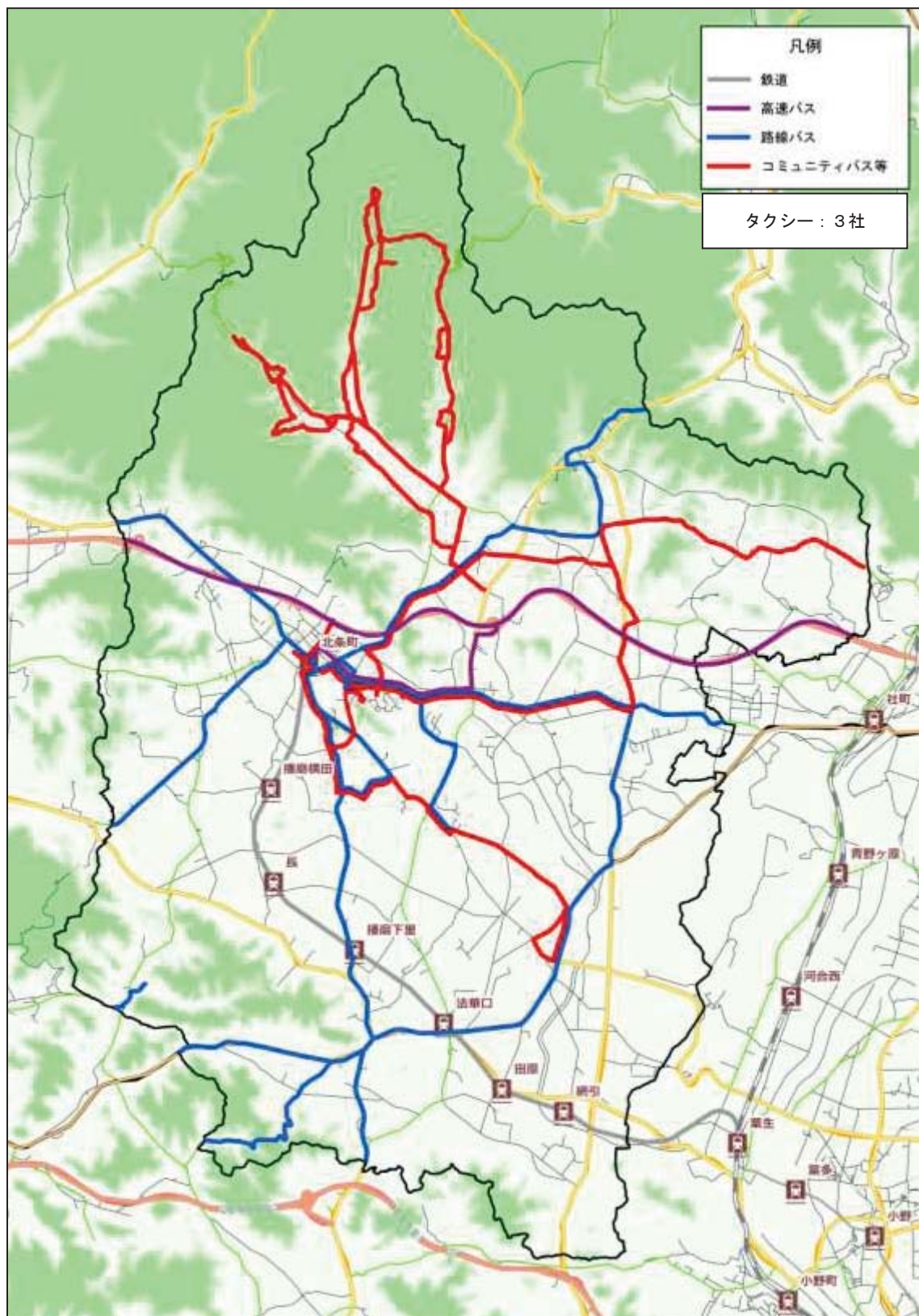


出典) 平成 27 年(2015 年)国勢調査地域メッシュ統計

(3) 公共交通網

- 加西市では、鉄道、高速バス、路線バス、コミュニティバス等が運行されており、北条地区を中心として放射状に公共交通網が形成されています。また、これ以外にもタクシーが市内で3社運行されています。

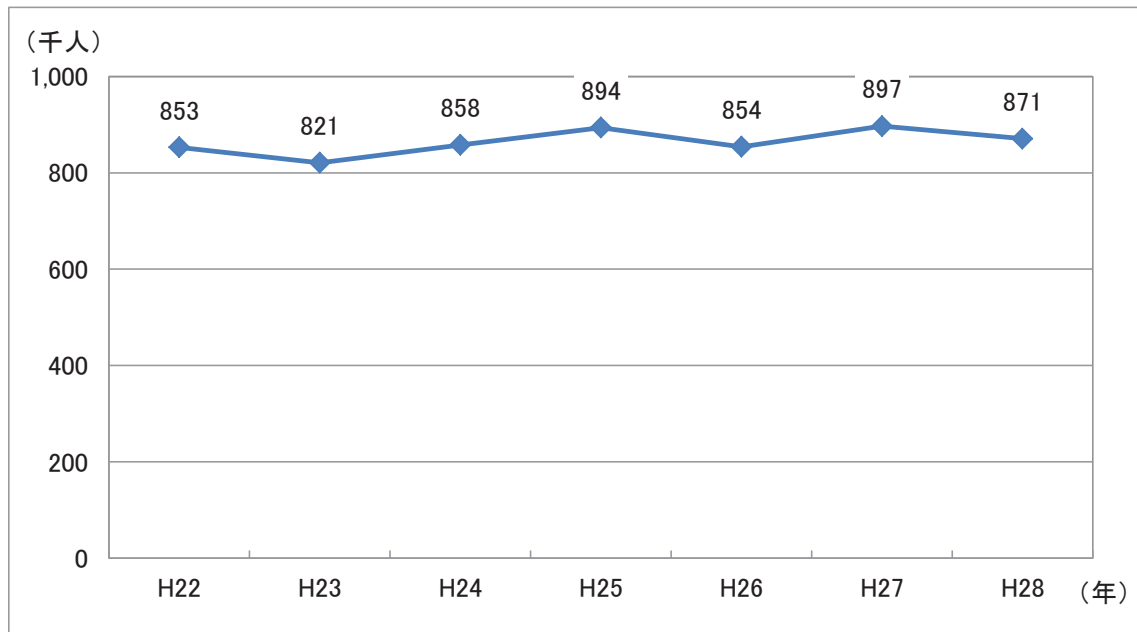
< 公共交通網 >



(4) 観光

- 加西市の観光客は、平成 22 年（2010 年）より増加傾向にありますが、平成 26 年（2014 年）には根日女の湯の閉鎖に伴う施設数減少により、観光客も減少しております。
- 平成 27 年（2015 年）には「播磨の風土記 1300 年祭」の開催により、観光客が大幅に増加しています。

＜ 観光客の推移 ＞



出典) 兵庫県観光客動態調査

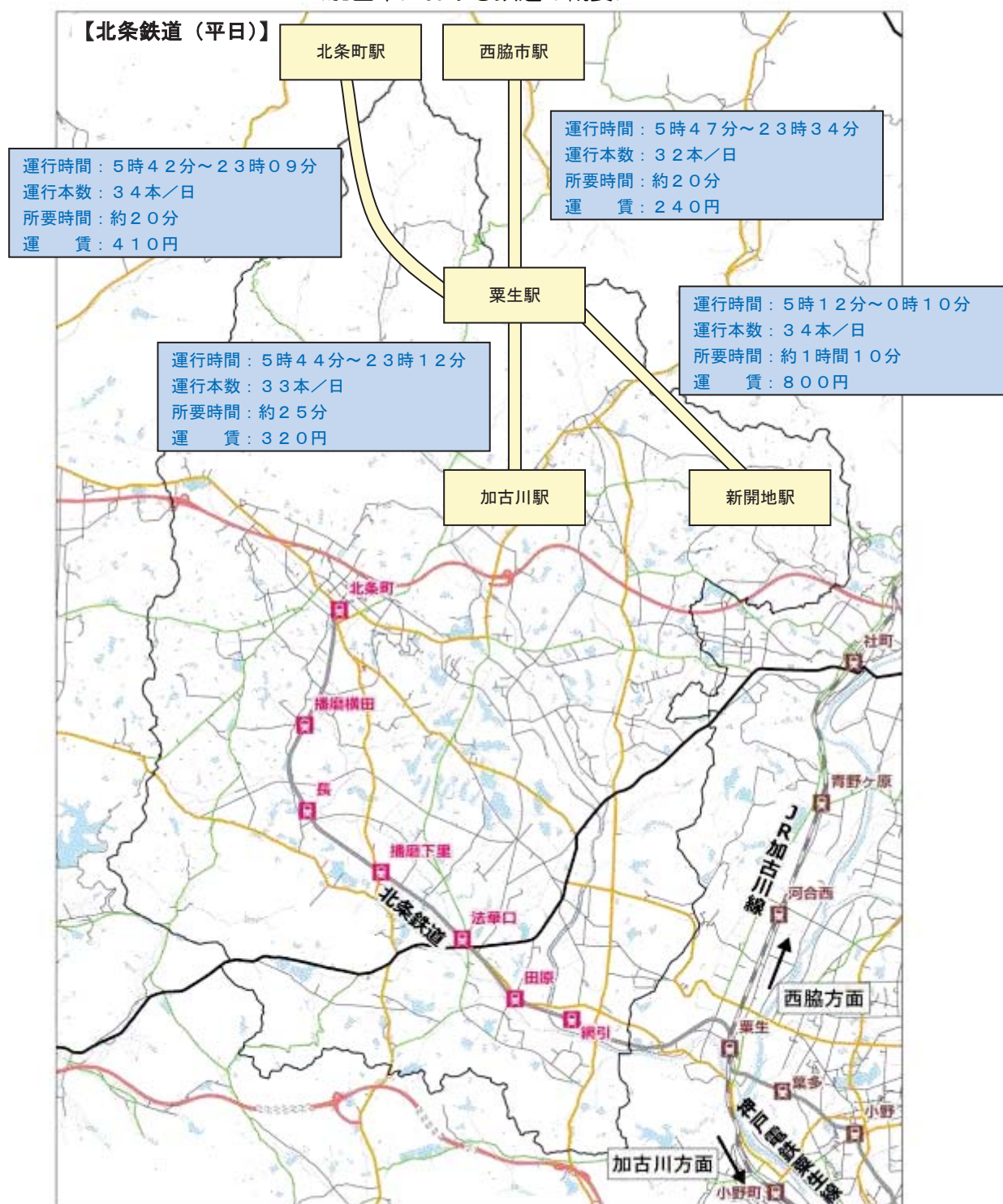
2.2 加西市における交通の現状

(1) 鉄道の現状

① 加西市における鉄道の概要

- ・加西市の鉄道は、北条地区から南東に北条鉄道が走っていると同時に、粟生駅の南北にはＪＲ加古川線、神戸電鉄粟生線が走っており、西脇方面や加古川方面、新開地方面などへ行くことができます。
- ・北条鉄道の北条町駅から粟生駅までは、５時４２分から２３時９分にかけて概ね１時間に１往復の頻度で運行しています。また、粟生駅から西脇方面、加古川方面、新開地方面へは、５時台から２３時台にかけて運行しています。

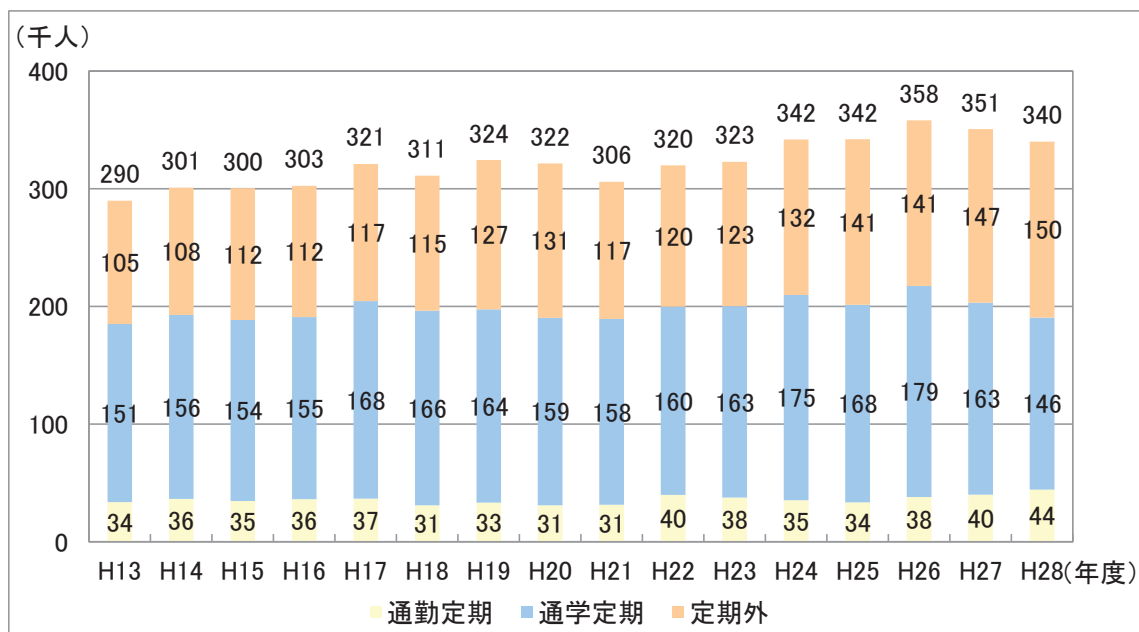
<加西市における鉄道の概要>



② 鉄道乗車人員の推移

- 北条鉄道の乗車人員は、平成 13 年（2001 年）以降増加傾向にあり、平成 26 年（2014 年）には、平成 13 年（2001 年）以降最高となる約 36 万人／年となっています。
- 乗車人員の内訳を見ると、地域住民の利用を伸ばす取り組みもあって、定期外利用が年々増加しています。

＜鉄道乗車人員の推移＞



出典)加西市統計書

③ 駅の整備状況

- 北条鉄道各駅の整備状況については、駅舎、駐車場、駐輪場、待合室、トイレ（水洗化）などでは全駅ともに整備されています。しかし、駅前及び駅周辺のバス停の設置状況については、北条町駅、播磨下里駅、法華口駅、粟生駅では設置されていますが、その他の駅では設置されていない状況です。

＜駅の整備状況＞

	有人駅	駅舎	駐車場	駐輪場	バリアフリー	バス停	待合室	トイレ	自動販売機	観光案内版	レンタサイクル	レンタカー
								(水洗化)				
北条町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
播磨横田	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×
長	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×
播磨下里	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
法華口	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
田原	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×
網引	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×
粟生	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×

※) 平成 29 年度現在

出典)「北条鉄道中期経営計画書」を参考に更新

④ 北条鉄道利用者アンケート調査結果から見た利用状況

■ 調査概要

調査日時：平成 29 年 10 月 1 日(日)、平成 29 年 10 月 3 日(火)の計 2 日調査
始発から終発までの全便(概ね 5:30～23:30)

調査方法：(アンケート調査)調査員が車両に乗り込み、ヒアリングにより調査
(カウント調査)調査員が鉄道の乗降者をカウンターにより調査

調査対象：鉄道利用者全員

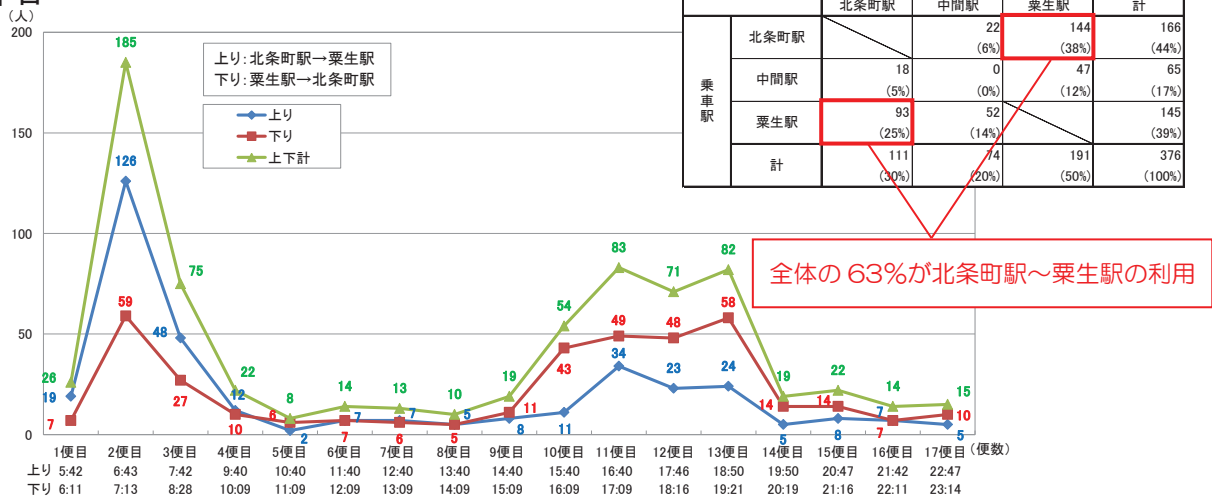
回収枚数：(アンケート調査)平成 29 年 10 月 1 日(日):270 票 平成 29 年 10 月 3 日(火):436 票
(カウント調査)平成 29 年 10 月 1 日(日):946 人 平成 29 年 10 月 3 日(火):1,464 人

i) 利用状況

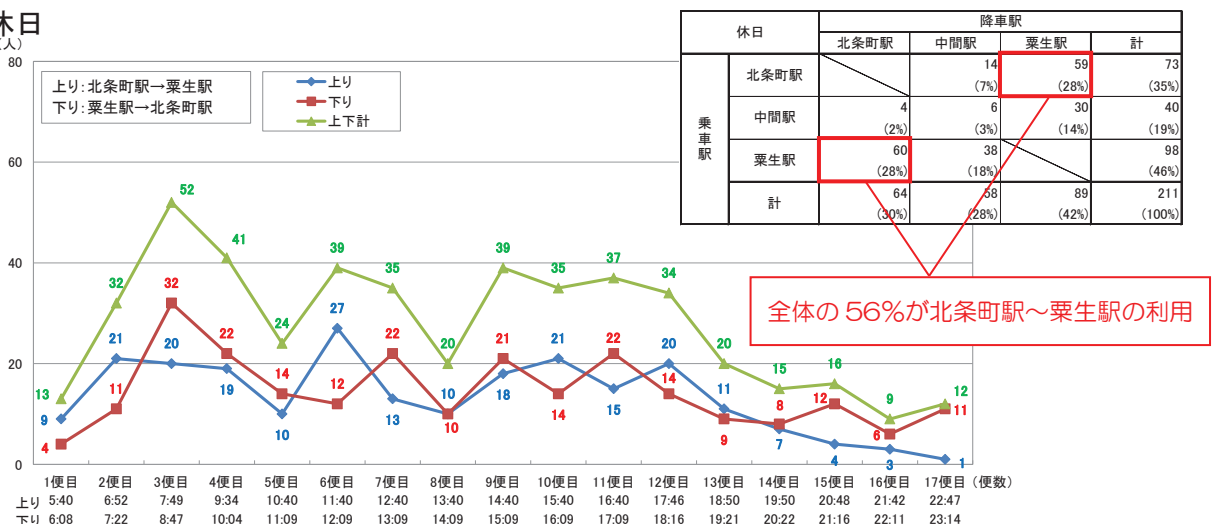
- 平日の乗降者数は、上りでは2両編成となっている朝の2便目が特に利用者が多くなっていますが、下りでは朝の2便目や夕方の10～13便目で利用者が多くなっています。
- 休日の乗降者数は、上りでは6便目、下りでは3便目で利用者が多くなっていますが、全体で見ると特に大きな変動は見られません。
- 平日では全体的の63%、休日では全体の56%が北条町駅～粟生駅の利用となっています。

<北条鉄道の利用状況>

・ 平日



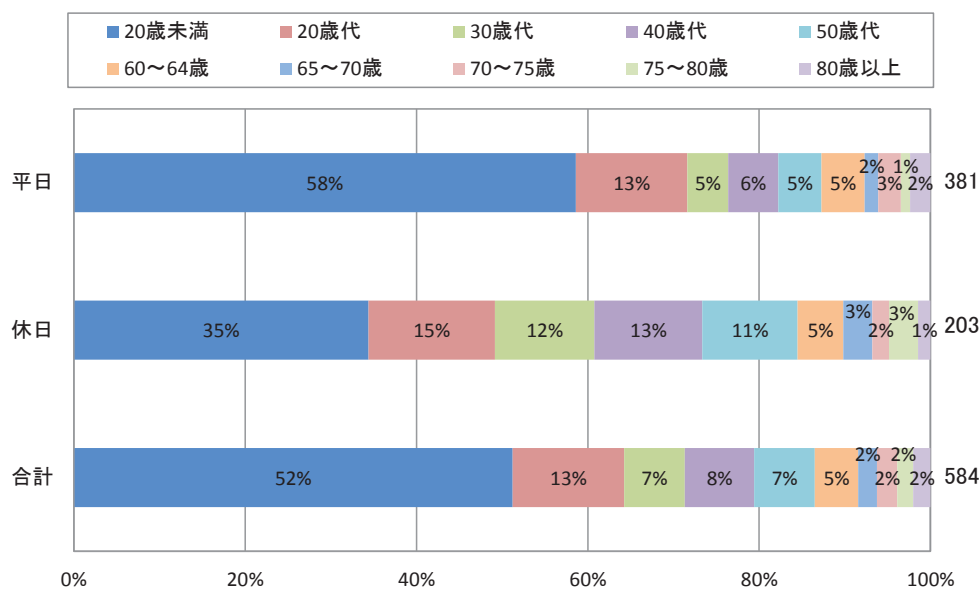
・ 休日



ii) 利用者の年齢構成

- 平日では20歳未満が最も多くなっており、特に平日においては中高生が通学でよく利用しています。休日でも20歳未満が最も多くなっていますが、30歳代～50歳代での利用割合も高くなっています。

＜利用者の年齢構成＞

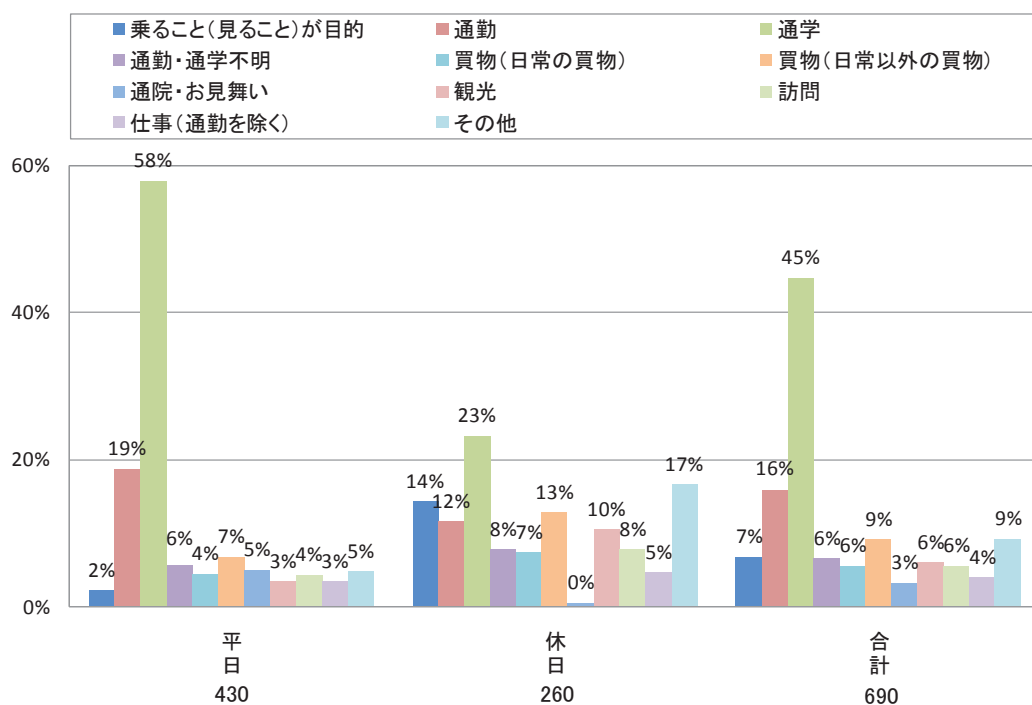


出典) 鉄道利用者アンケート調査結果

iii) 北条鉄道利用の目的

- 平日では、ほとんどの利用者が「通学」目的で利用されています。
- 休日でも、「通学」目的での利用者が最も多くなっていますが、北条鉄道に「乗ること（見ること）」が目的の方や買物での利用割合も高くなっています。

＜北条鉄道利用の目的＞



※) 複数回答

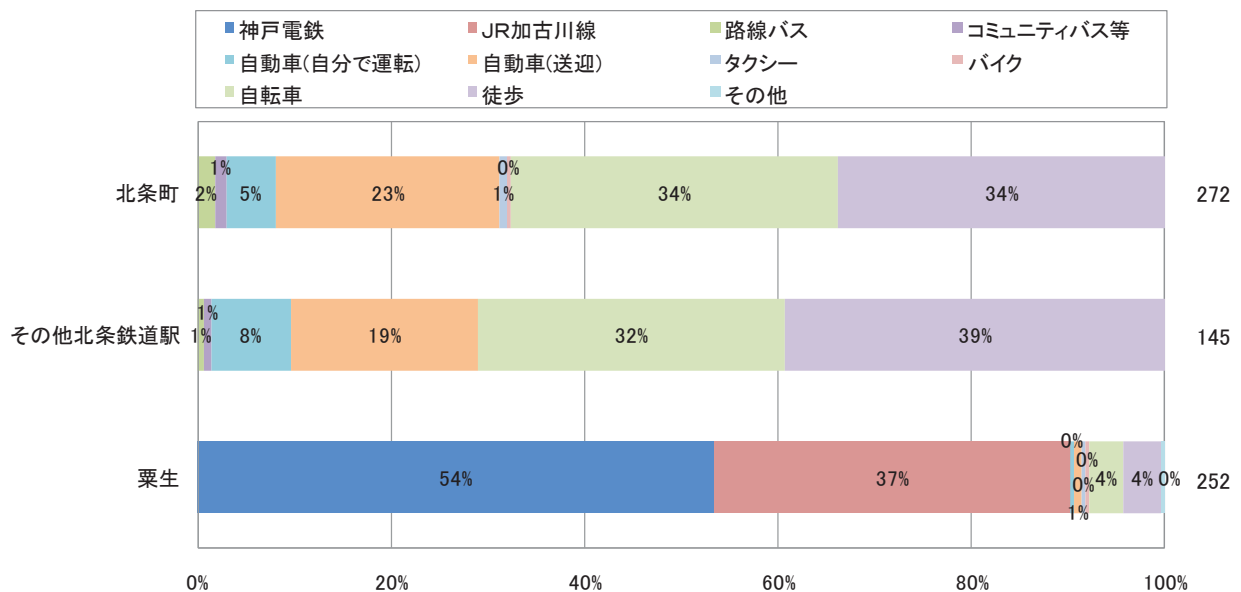
出典) 鉄道利用者アンケート調査結果

iv) 駅までの主な移動手段

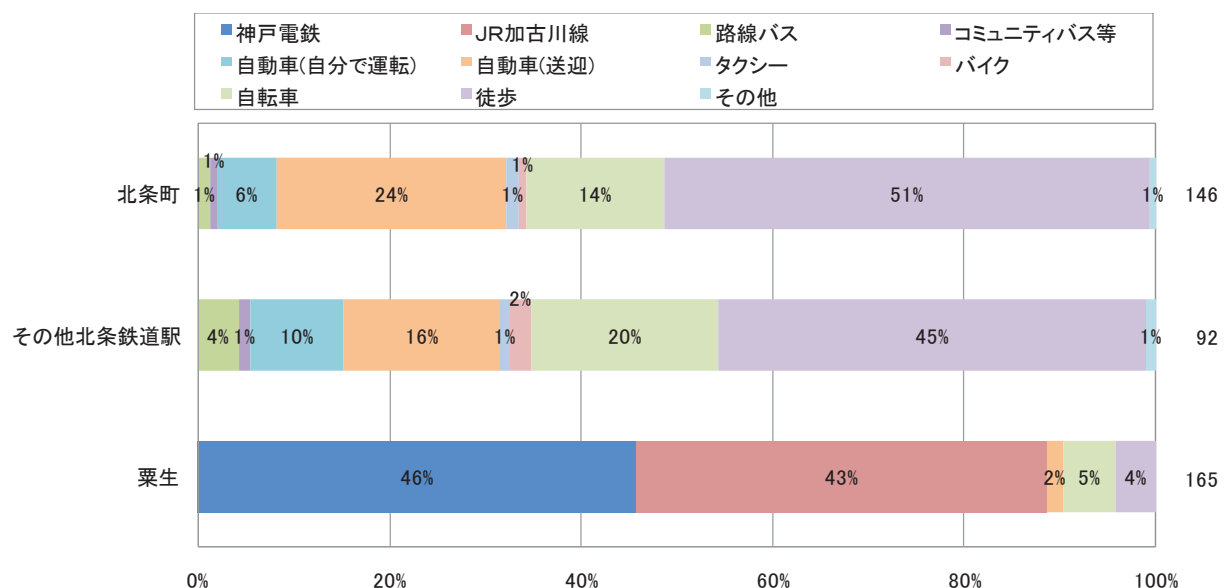
- 平日の北条町駅では、自転車、徒歩、送迎での移動されている方が多くなっています。また、その他の北条鉄道駅では北条町駅と比べ、送迎による移動は若干少なく、自転車、徒歩で駅まで移動されています。
- 休日の北条町駅では、平日と比べ徒歩での移動が半数以上となっており、自転車での移動は少なくなっています。また、その他の北条鉄道駅でも、平日と比べ徒歩での移動の割合が多くなっています。
- 粟生駅では、平日、休日ともに神戸電鉄や JR 加古川線への乗り継ぎがほとんどとなっています。

< 駅までの主な移動手段 >

・ 平日



・ 休日

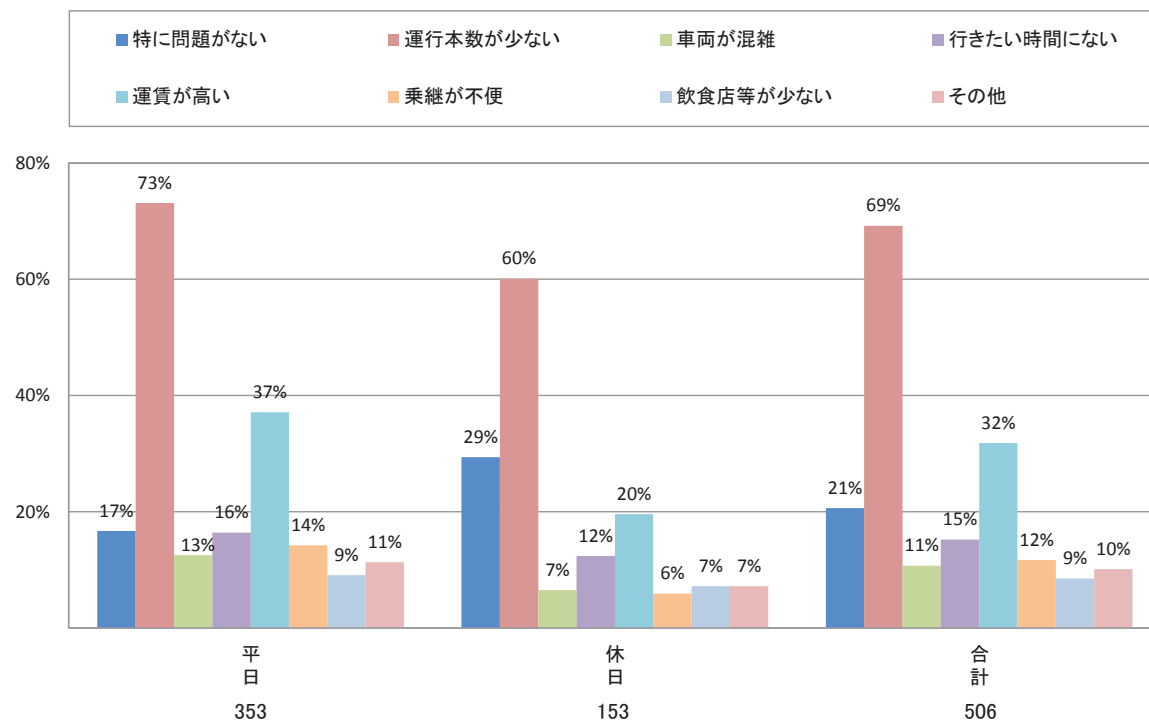


出典) 鉄道利用者アンケート調査結果

v) 北条鉄道利用時の問題点

- 平日では、「運行本数が少ない」という回答が最も多くなっているとともに、「運賃が高い」という回答も多くなっています。
- 休日でも、平日と同様に「運行本数が少ない」や「運賃が高い」という回答が多くなっていますが、平日と比べて「特に問題がない」という回答も多くなっています。

< 北条鉄道利用時の問題点 >



※1) 北条鉄道を移動手段として利用されている方の回答を集計

※2) 複数回答

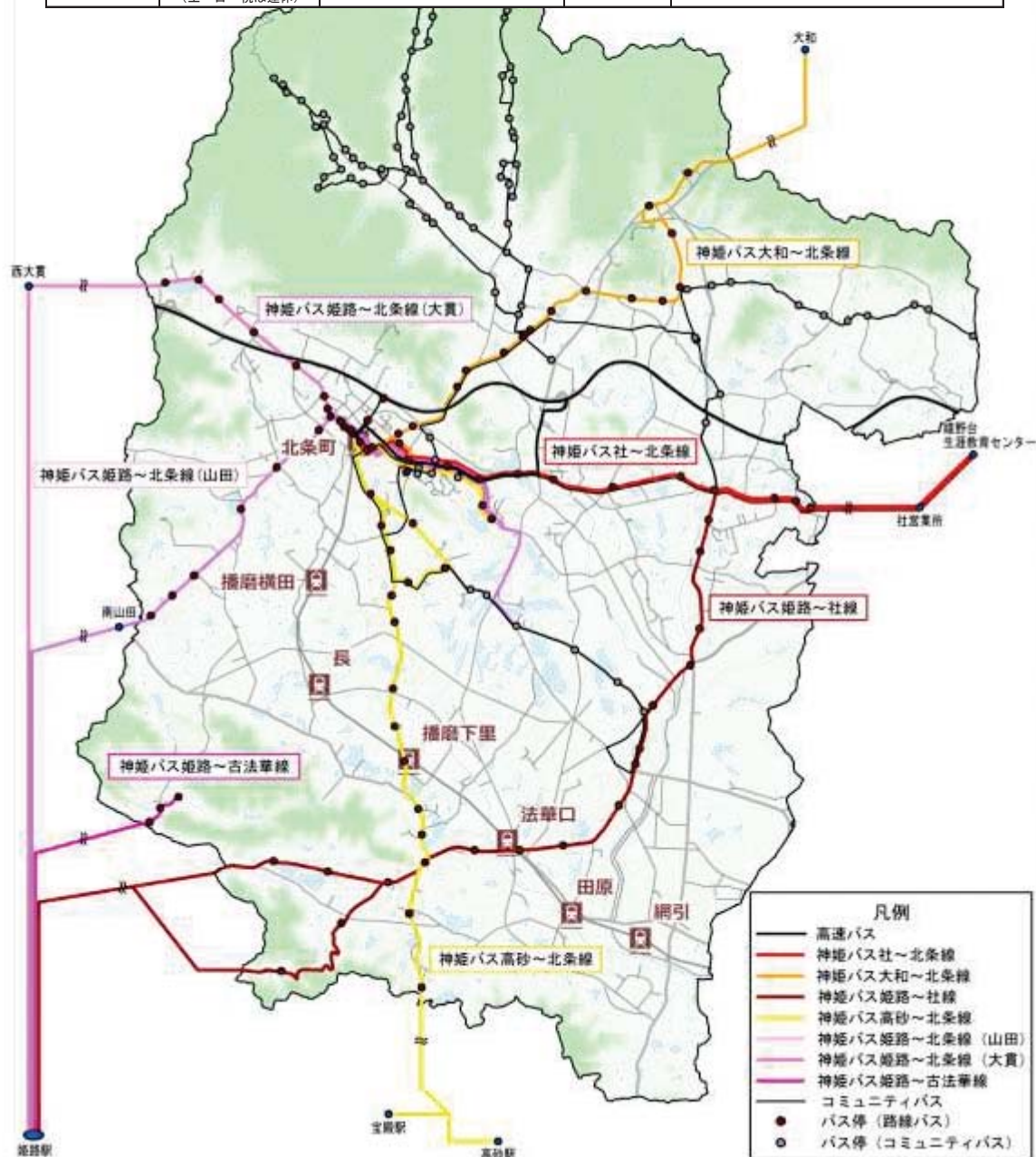
出典) 鉄道利用者アンケート調査結果

(2) 路線バスの現状

① 加西市における路線バスの概要

- ・加西市市内の路線バスは、全て神姫バスによって運行されており、中国縦貫自動車道を走る高速バスは西日本ＪＲバスと神姫バスによって共同で運行されています。
- ・系統としては、姫路～北条線（大貫経由、山田経由）、姫路～古法華線、高砂～北条線、姫路～社線、社～北条線、大和～北条線の６系統となっています。
- ・北方面を除くと、南、西、東方面においては、路線バスで接続されています。

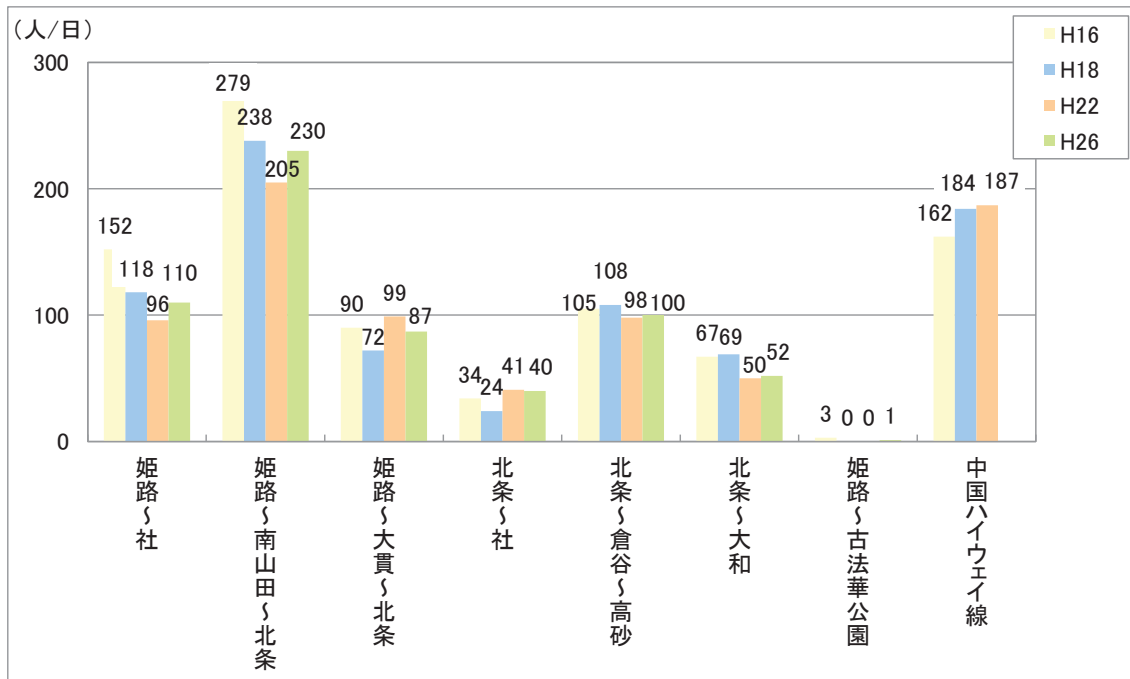
系統	運行日	運行時間	運行本数	利用料金
大和～北条線	月曜～金曜の平日 (土・日・祝は運休)	6時56分～18時50分	8便	・初乗り：160円 ・大和～アスティアかさい間：920円
姫路～北条線 (山田経由)	毎日運行	平日：5時27分～23時32分 休日：5時33分～23時31分	平日：31便 休日：32便	・初乗り：160円 ・姫路駅北口～北条営業所間：850円
姫路～北条線 (大貫経由)	毎日運行	平日：6時48分～21時44分 休日：6時48分～19時44分	平日：16便 休日：13便	・初乗り：160円 ・姫路駅北口～北条営業所間：850円
社～北条線	月曜～金曜の平日 (土・日・祝は運休)	冬期：7時16分～17時18分 夏期：7時16分～18時28分	4便	・初乗り：160円 ・アスティアかさい～嬉野台生涯教育センター間：800円
姫路～社線	毎日運行	平日：6時10分～22時11分 休日：6時40分～22時10分	平日：22便 休日：20便	・初乗り：160円 ・姫路駅北口～社営業所間：1140円
高砂～北条線	毎日運行	平日：5時45分～20時28分 休日：6時50分～17時16分	平日：11便 休日：6便	・初乗り：160円 ・山陽高砂駅～北条営業所間：950円
姫路～古法華線	月曜～金曜の平日 (土・日・祝は運休)	8時20分～14時05分	2便	・初乗り：160円 ・姫路駅北口～古法華公園間：660円



② 路線バス・高速バス乗降者数の推移

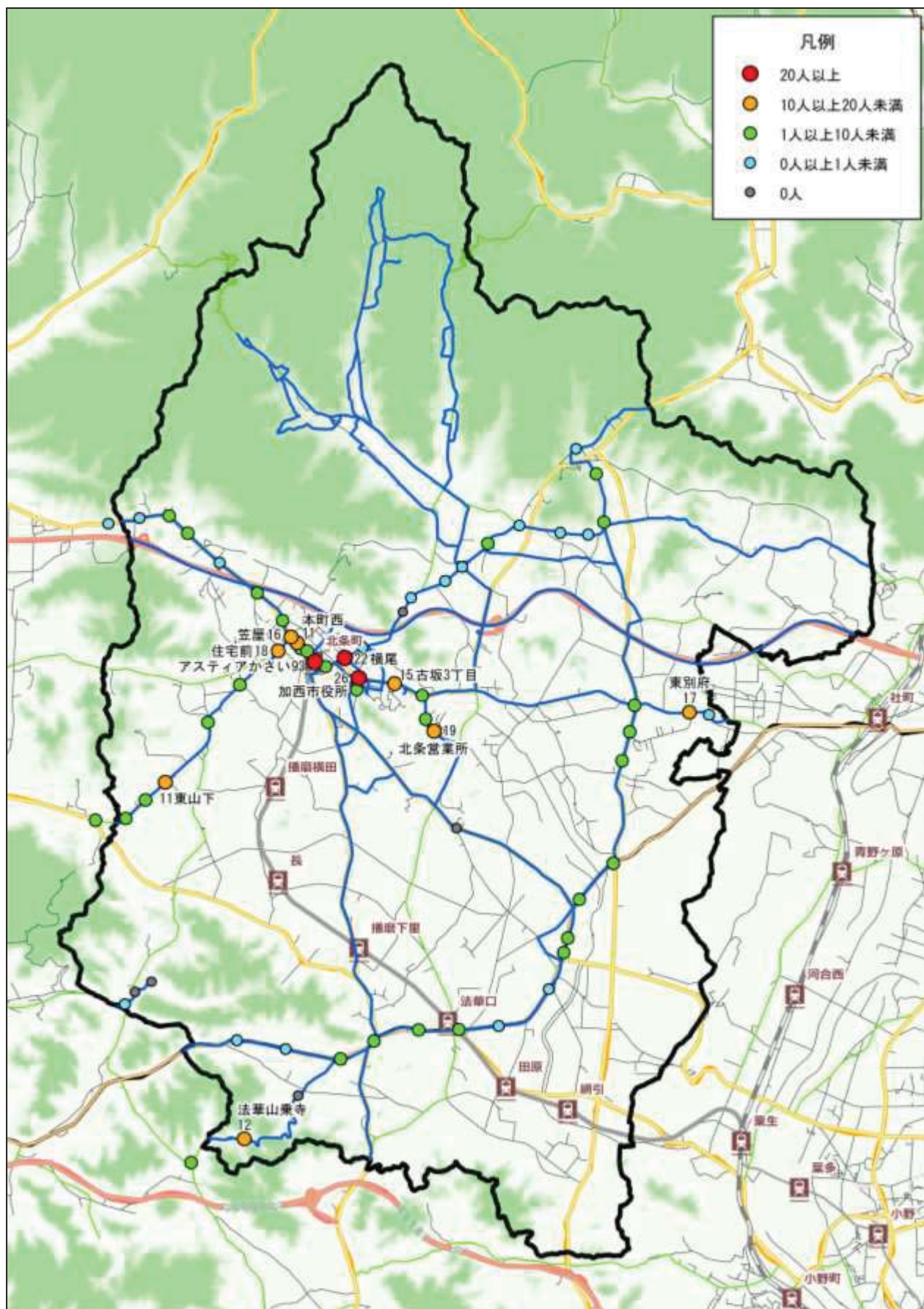
- 平成 16 年（2004 年）、平成 18 年（2006 年）及び平成 24 年（2012 年）の乗降者数の推移を見ると、高速バスは増加しているものの、路線バスについては一部の系統を除いて増加傾向にあります。

＜路線バス・高速バス乗降者数の推移＞



※) 平日1日あたりの加西市内バス停における乗降者数
 西日本JRバス等の高速バスは含まれていない(神姫バスデータのみ)
 出典) 神姫バス所管データ

< 路線バスにおけるバス停別乗降者数（平成 28 年度 1 日あたり乗降者数）>



③ 路線バス利用者アンケート調査結果から見た利用状況

■ 調査概要

調査日時：平成 29 年 10 月 1 日(日)、平成 29 年 10 月 4 日(水)の計 2 日調査
7:00～19:00(12 時間)

調査方法：調査員をアスティアかさいバス停に配置し、バス利用者に対して
ヒアリングにより調査

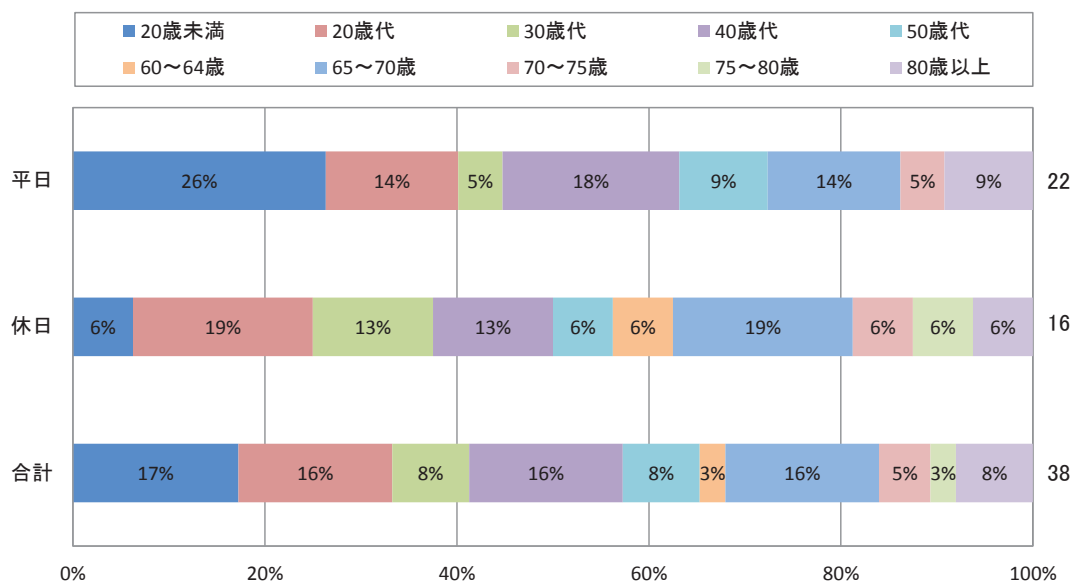
調査対象：アスティアかさいバス停を乗降するバス利用者全員

回収枚数：平成 29 年 10 月 1 日(日):18 票
平成 29 年 10 月 4 日(水):22 票

i) アスティアかさいバス停乗降者の年齢構成

- 平日では 20 歳未満が最も多くなっていますが、全年代とも概ね均等に利用されています。休日では 20 歳代や 65～70 歳が最も多くなっていますが、平日と同様に全年代とも概ね均等に利用されています。

＜アスティアかさいバス停乗降者の年齢構成＞

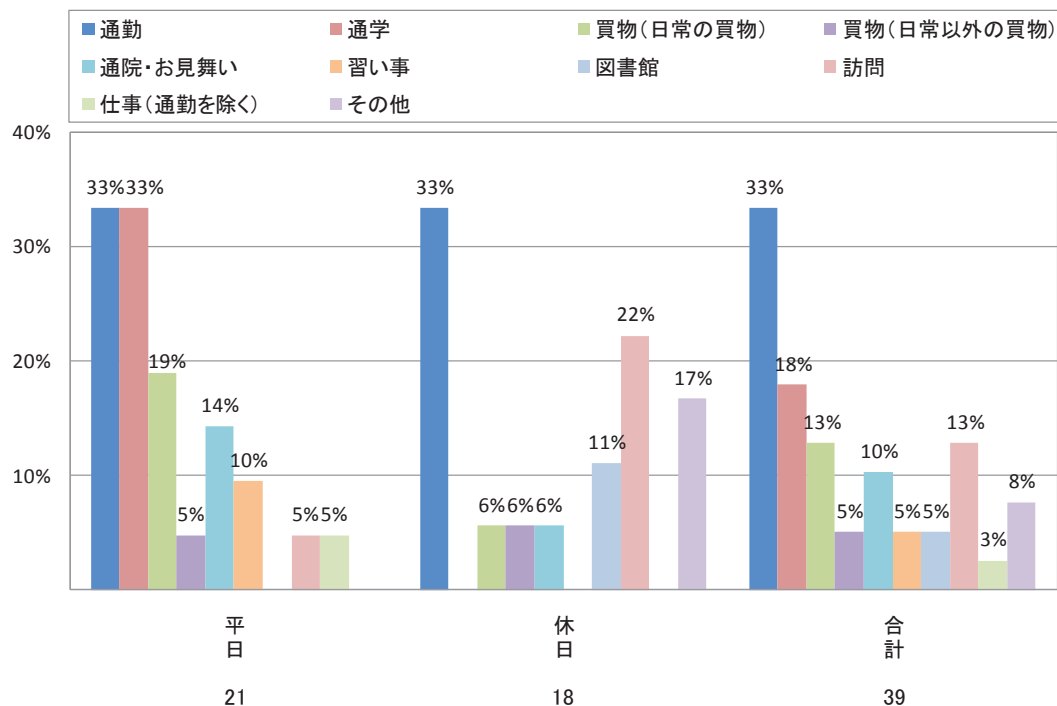


出典) 路線バス利用者アンケート調査結果

ii) アスティアかさいバス停乗降者の利用目的

- 平日では、「通勤」や「通学」目的での利用が多くなっています。
- 休日では、「通勤」目的での利用者が最も多くなっていますが、家族や知人宅への「訪問」の利用割合も高くなっています。

＜アスティアかさいバス停乗降者の利用目的＞

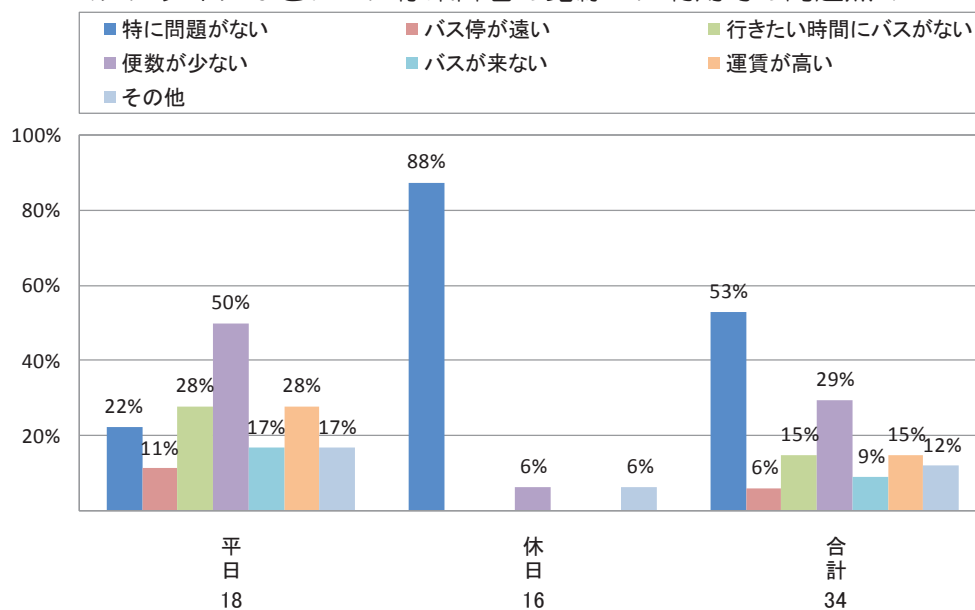


※) 複数回答
出典) 路線バス利用者アンケート調査結果

iii) アスティアかさいバス停乗降者の路線バス利用時の問題点

- 平日では、「便数が少ない」という回答が最も多くなっていると同時に、「行きたい時間にバスがない」や「運賃が高い」という回答も多くなっています。
- 休日では、「特に問題がない」という回答が多くなっています。

＜アスティアかさいバス停乗降者の路線バス利用時の問題点＞



※) 複数回答
出典) 路線バス利用者アンケート調査結果

(3) コミュニティバス等の現状

① 加西市におけるコミュニティバス等の概要

- ・加西市市内ではコミュニティバスであるねっぴ〜号とはっぴーバスが運行されています。
- ・ねっぴ〜号は主に北条地区を巡回している市街地線（中富口線、福祉会館線）、北条地区を起終点として宇仁地区に接続する国正線、九会地区に接続する九会線、フラワーセンターに接続するフラワーセンター線が運行されています。
- ・はっぴーバスは泉、西在田、日吉地区で運行されており、中富口バス停を起終点として南北に若井線、万願寺線、芥田線、東西に根日女の湯線が運行されています。

< 加西市におけるコミュニティバス等路線網図 >



系統名	運行日	運行時間	運行本数	利用料金
ねっぴ〜号	市街地線	8時18分～17時52分	23便	・初乗り：160円 ・中富口～アスティアかさい間：230円
	国正線	月曜日～金曜日の毎日運行 (土・日・祝は運休)	7時30分～15時25分	4便 ・初乗り：160円 ・東国正～アスティアかさい間：500円
	九会線	7時58分～15時47分	5便	・初乗り：160円 ・九会～アスティアかさい間：420円
	フラワーセンター線	7時45分～18時57分	7便	・初乗り：160円 ・フラワーセンター南門前～アスティアかさい間：270円
はっぴーバス	万願寺線	月曜日～金曜日の毎日運行 (土・日・祝は運休)	7時41分～16時27分	6便
	芥田線	7時51分～16時40分	5便	・1回250円 ・回数券：2,000円(9回分)
	若井線	月曜日～金曜日の毎日運行 (土・日・祝は運休)	8時20分～16時30分	6便
	根日女の湯線	水曜日のみの運行	8時25分～15時56分	5便

② コミュニティバス等の変遷

- ・コミュニティバス等の路線やダイヤをアンケート調査や利用者及び地域住民の意見をベースにして以下のとおり随時見直しを行っています。

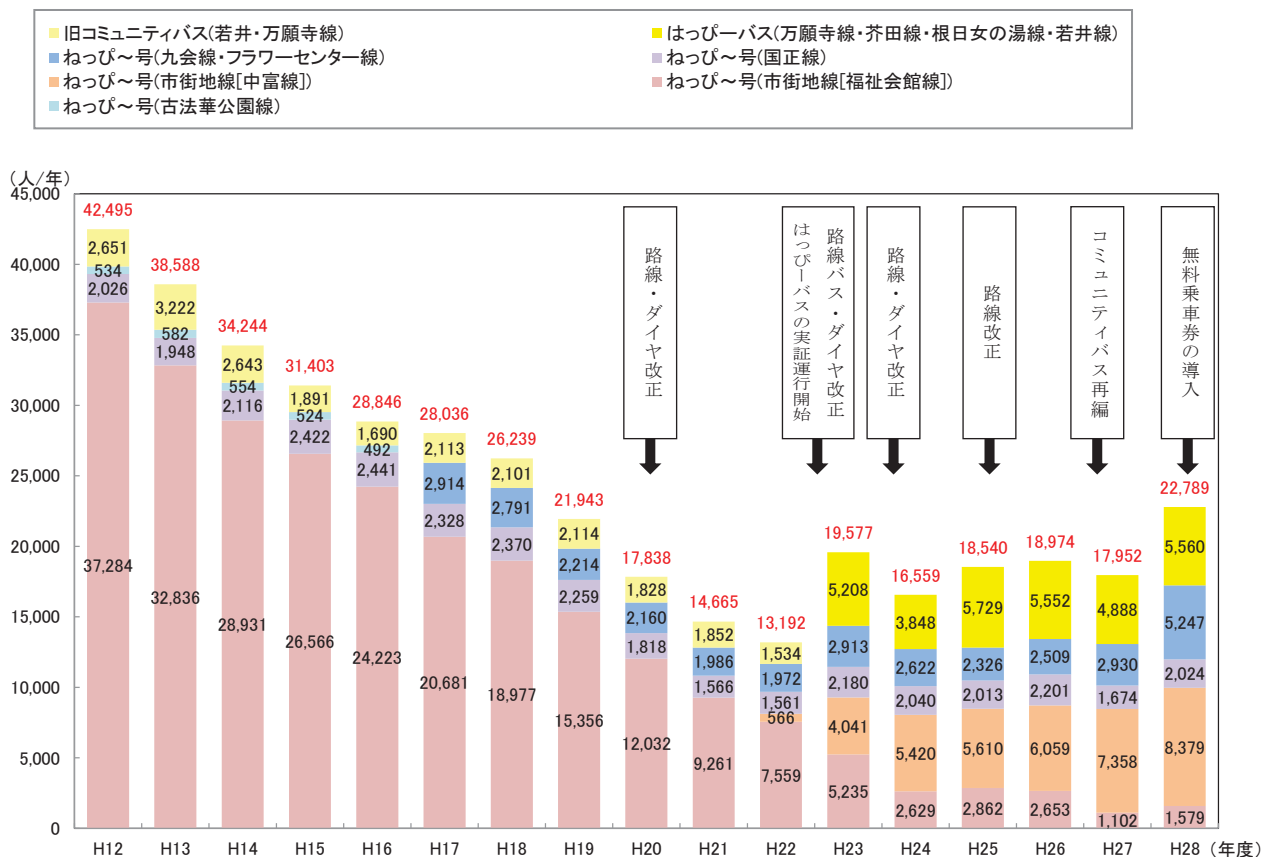
＜コミュニティバス等の変遷（平成 29 年 3 月末時点）＞

年次	概要
平成 9 年 4 月	「加西市コミュニティバス」運行開始（●系統、車両 2 台）
平成 16 年 3 月	古法華公園線が廃止（●系統→●系統）
平成 17 年 4 月	青野原病院線（現：九会線）の導入（●系統→●系統）
平成 20 年 10 月	路線・ダイヤ改正 ➢若井・万願寺線を「若井線」「万願寺・芥田線」に区分 等
平成 23 年 2 月	路線・ダイヤ改正 ➢加西市コミュニティバス郊外線「中富口線」を導入 等 はっぴーバスの実証運行開始（4 系統）[無償運行]（はっぴーバス導入に伴い、若井線、万願寺・芥田線は平成 23 年 3 月に廃止）
平成 23 年 10 月	はっぴーバスの有償運行開始
平成 24 年 4 月	路線・ダイヤ改正 ➢国正線は、滝野駅までのルートを廃止（東国正まで） 等
平成 24 年 11 月	加西市コミュニティバスの名称変更（加西市コミュニティバス→KASAI ねっぴ〜号）及びラッピングによるバスのデザイン変更
平成 25 年 4 月	はっぴーバスの本格運行開始
平成 25 年 10 月	路線改正 ➢はっぴーバス根日女の湯線の終点バス停の変更[根日女の湯前→まえだクリニック前]（根日女の湯の閉館のため）
平成 27 年 4 月	コミュニティバス再編（3 系統→4 系統） ➢運行車両の増加（2 台→3 台） ➢フラワーセンター線の導入 ➢青野原病院線は、平成 27 年 4 月の青野原病院の移転に伴い、九会までの運行となり、名称も九会線に変更 等
平成 28 年 11 月	加西市内バス無料乗車券の導入

③ コミュニティバス等乗車人員の推移

- ・コミュニティバス等乗車人員は、平成 12 年（2000 年）より平成 22 年（2010 年）まで減少傾向にありましたが、平成 23 年（2011 年）2 月のはっぴーバスの導入及び路線・ダイヤ改正等により、コミュニティバス等乗車人員が増加しました。その後は全体的に減少傾向にあったものの、平成 28 年（2016 年）では平成 27 年（2015 年）と比べて全ての系統で増加しています。
- ・はっぴーバスの乗車人員は、平成 23 年（2011 年）2 月の導入後、平成 25 年（2013 年）が最も利用者が多くなり、その後利用者は合計で 5,000 人/年を下回るなど減少傾向にありましたが、平成 28 年（2016 年）では 5,000 人/年以上まで増加しました。

< コミュニティバス等乗車人員の推移 >



※1)古法華公園線は平成16年で廃止。

※2)青野原病院線は平成17年より導入。その後、青野原病院線は青野原病院移転に伴い、九会までの運行に変更(平成27年4月)となり、名称も九会線に変更となった。

※3)フラワーセンター線は(平成27年4月)に導入。

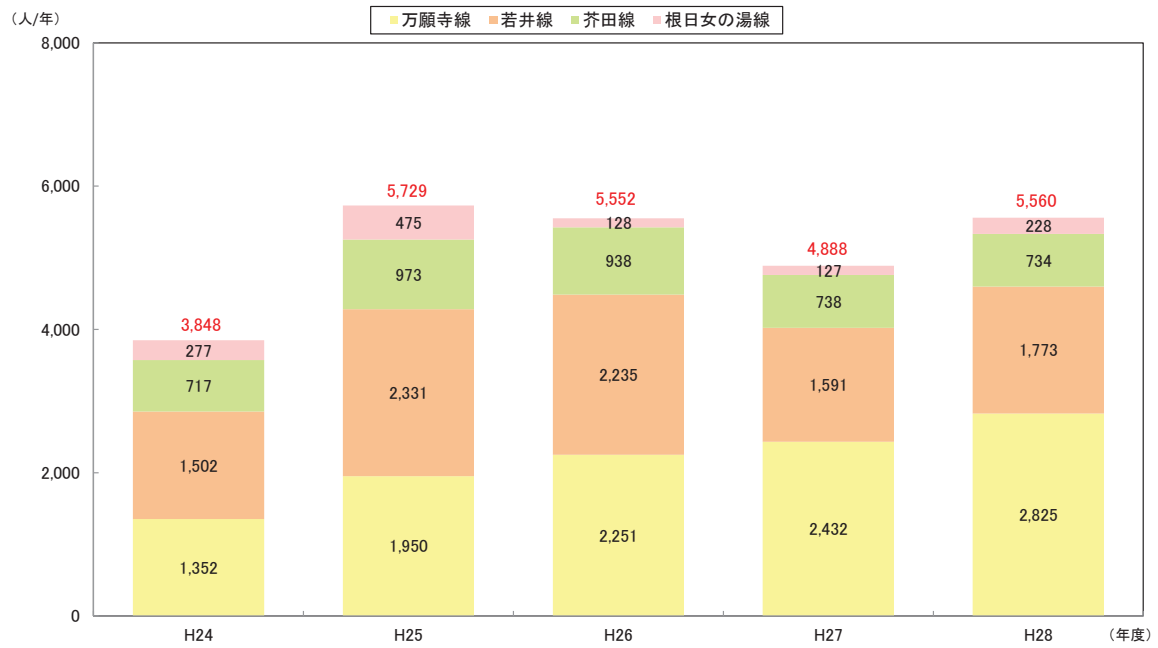
※4)はっぴーバス、中富口線は平成23年2月1日より導入。

(但し、はっぴーバスの平成22年度分は計上していない)

※5)若井万願寺線は平成23年3月31日で廃止。その後、はっぴーバスとして、万願寺線・芥田線・根日女の湯線・若井線の4系統で運行。

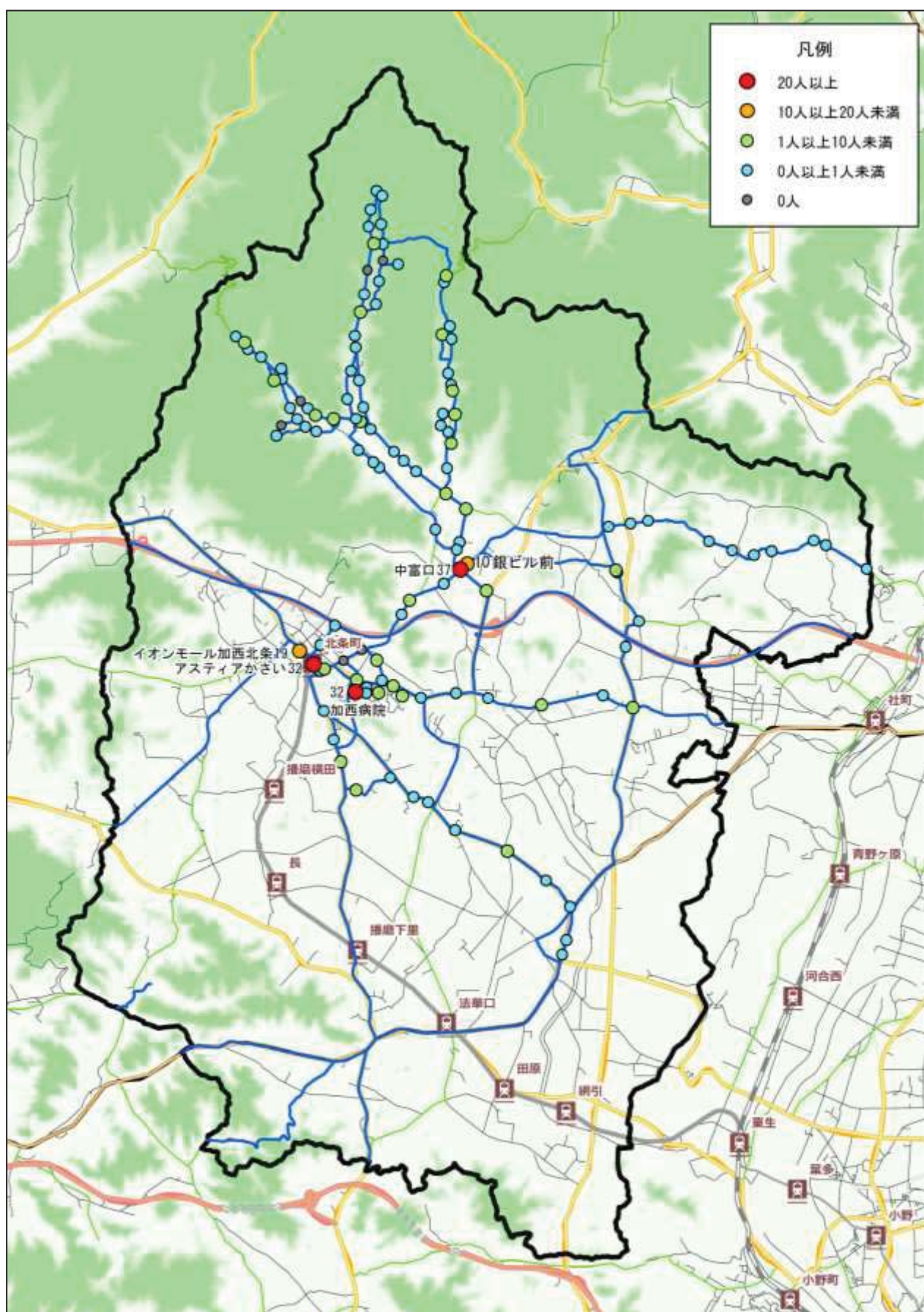
出典) 加西市所管データ

< はっぴーバス乗車人員の推移 >



※)根日女の湯線は平成25年10月の根日女の湯の閉館により、
つつみ医院前〔現 まえだクリニック前〕が終点となった。
出典) 加西市所管データ

< コミュニティバス等におけるバス停別乗降者数（平成 28 年度 1 日あたり乗降者数） >



④ コミュニティバス等利用者アンケート調査結果から見た利用状況

■ 調査概要

調査日時：平成 29 年 10 月 3 日(火)、平成 29 年 10 月 4 日(水)の平日 2 日調査
始発から終発までの全便(概ね 7:00～19:00)

調査方法：調査員が車両に乗り込み、ヒアリングにより調査

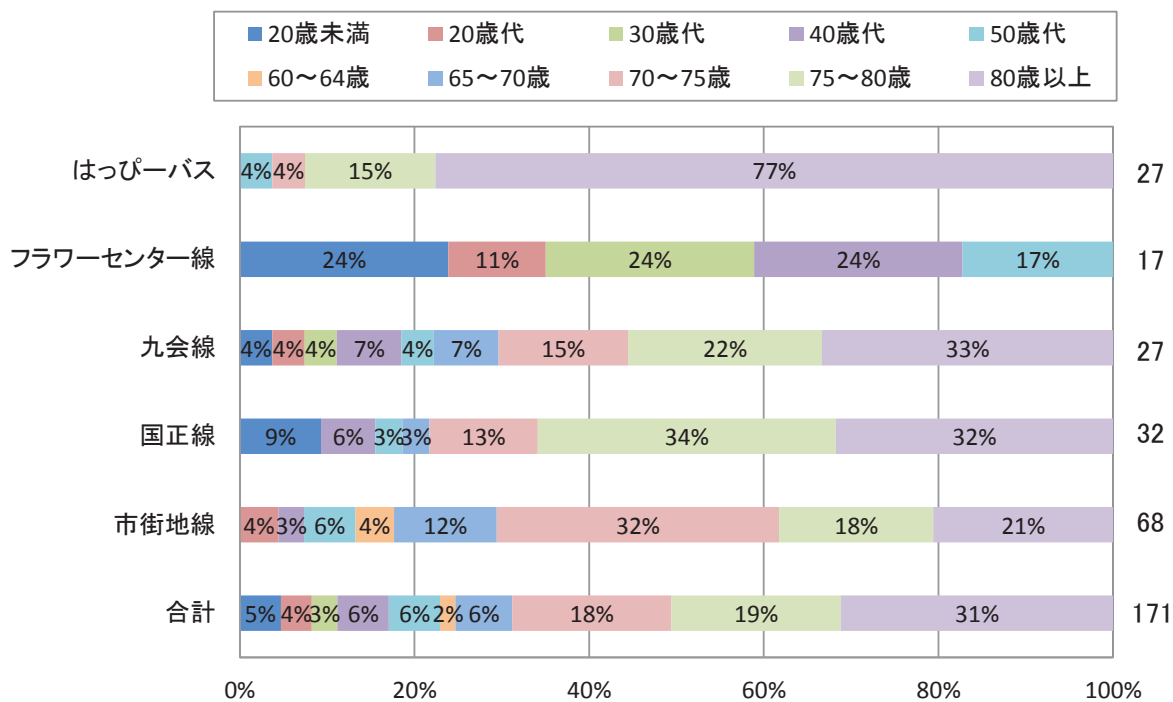
調査対象：バス利用者全員

回収枚数：平成 29 年 10 月 3 日(火):76 票
平成 29 年 10 月 4 日(水):105 票 計 181 票

i) コミュニティバス等利用者の年齢構成

- ・合計で見ると 70 歳以上の割合が高くなっていますが、フラワーセンター線では 70 歳以上の利用はなく、比較的若い方の利用が多くなっています。

<コミュニティバス等利用者の年齢構成>

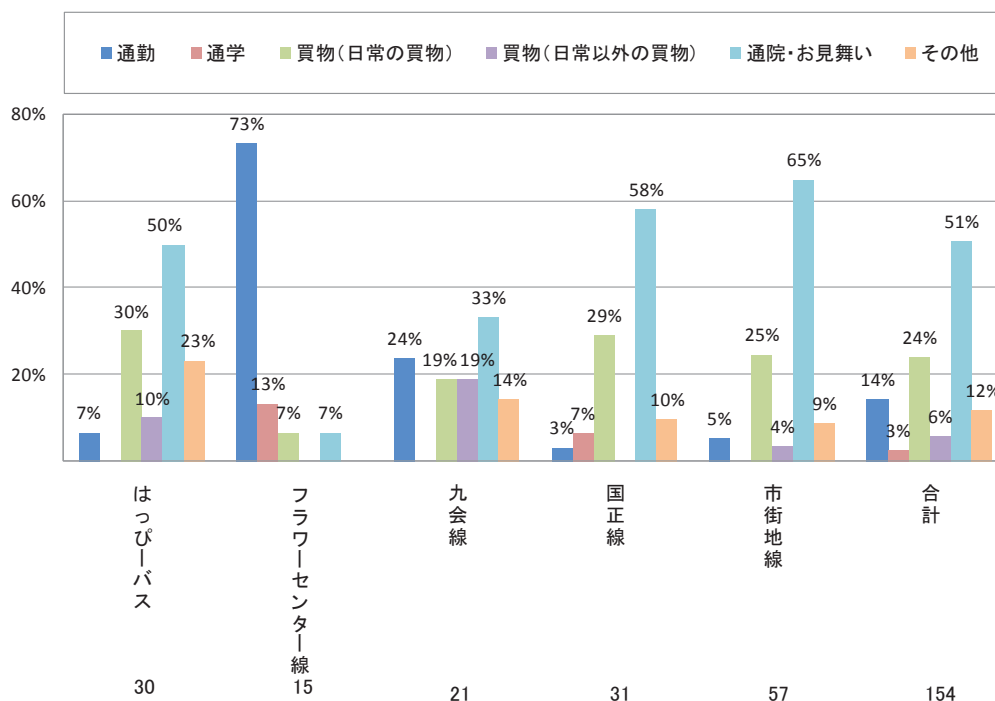


出典) コミュニティバス等利用者アンケート調査結果

ii) コミュニティバス等利用の目的

- 利用目的は、いずれの系統も「通院・お見舞い」での利用の割合が高くなっていますが、フラワーセンター線では「通院・お見舞い」での利用はなく、「通勤・通学」での利用割合が最も高くなっています。

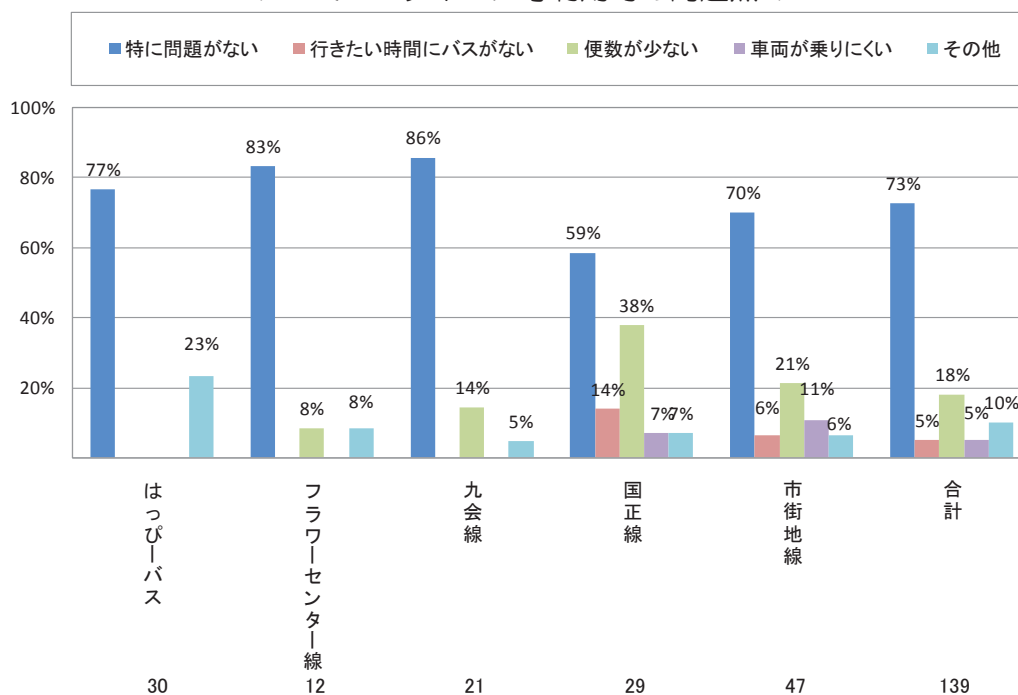
＜コミュニティバス等利用の目的＞



iii) コミュニティバス等利用時の問題点

- 全ての系統において「特に問題ない」との回答が多くなっていますが、フラワーセンター線、九会線、国正線、市街地線では「便数が少ない」という回答も比較的多くなっています。

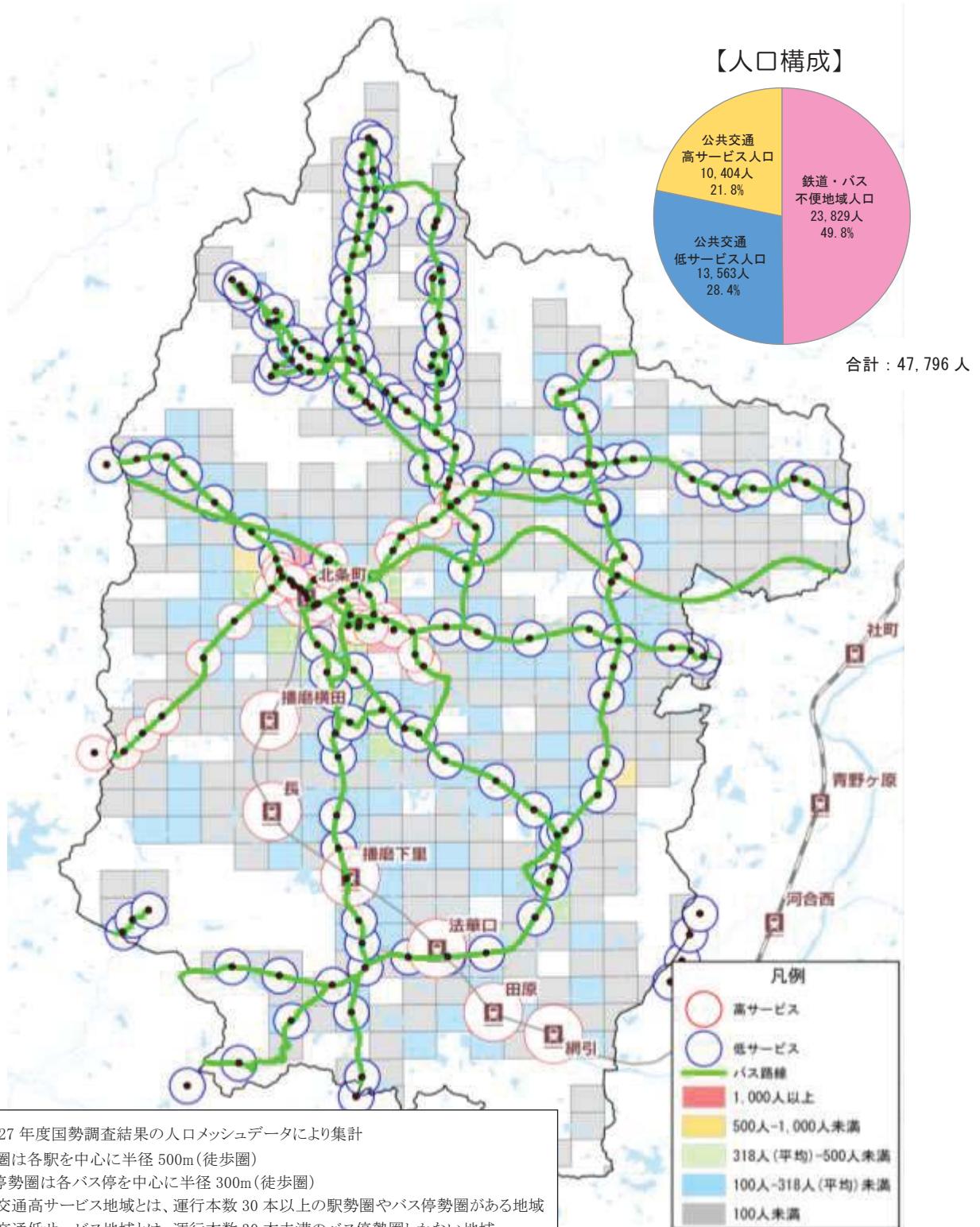
＜コミュニティバス等利用時の問題点＞



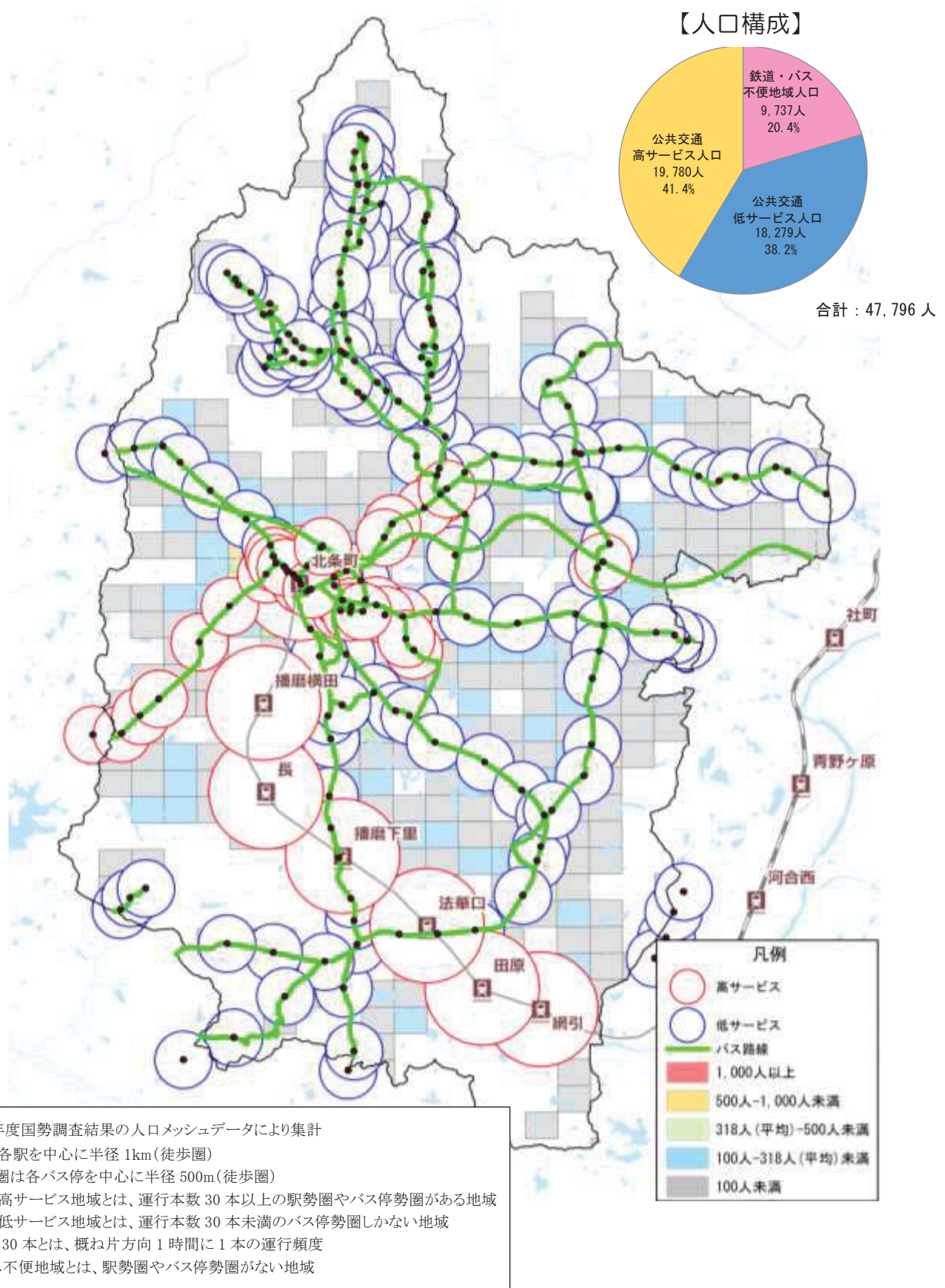
(4) 鉄道・バスによるカバー状況

- ・北条鉄道の各駅を中心に半径 500m、各バス停を中心に半径 300mをそれぞれの徒歩圏（公共交通勢圏）と設定すると、加西市民の約 2 割が高サービス地域（運行本数 30 本以上の駅勢圏やバス停勢圏がある地域）、約 3 割が低サービス地域（運行本数 30 本未満のバス停勢圏しかない地域）に居住しており、合計約 5 割の方は公共交通を利用できる状況にありますが、残り 5 割の人が公共交通の全くない鉄道・バス不便地域に居住しています。

＜ 公共交通勢圏図（駅勢圏 500m、バス停勢圏 300m）＞



【参考：駅勢圏 1km、バス停勢圏 500mでのカバー状況】

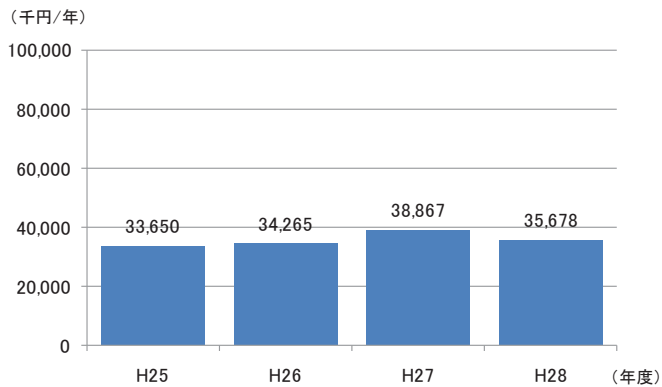


(5) 鉄道・バスに対する行政支援

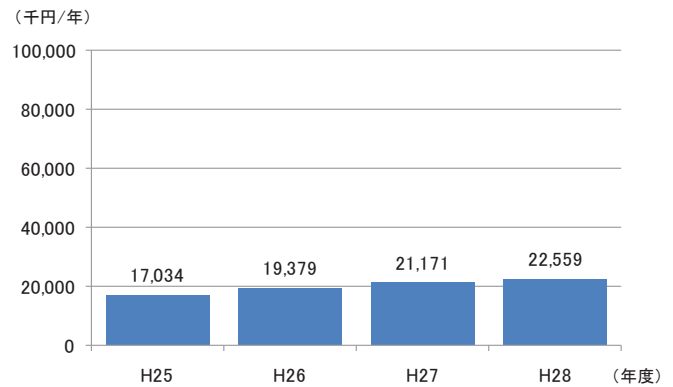
- ・鉄道・バスに対する行政支援としては、合計で見ると年々増加傾向にあり、平成 28 年（2016 年）では約 8,100 万円/年となっています。

＜鉄道・バスに対する行政支援＞

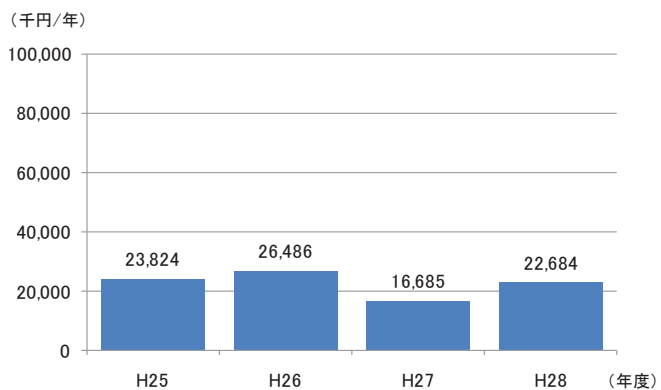
・コミュニティバス、はっぴーバス



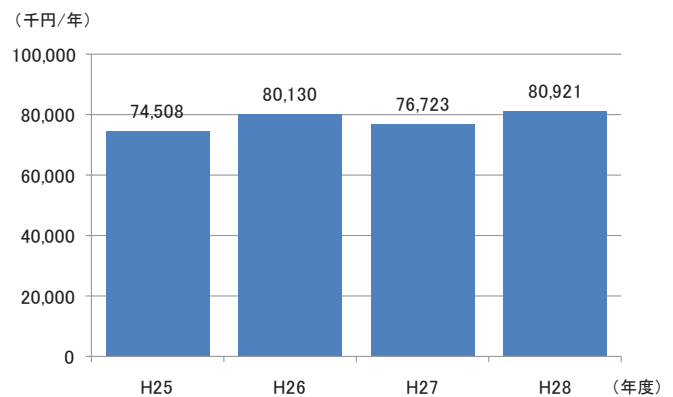
・路線バス



・北条鉄道



・鉄道、バス合計



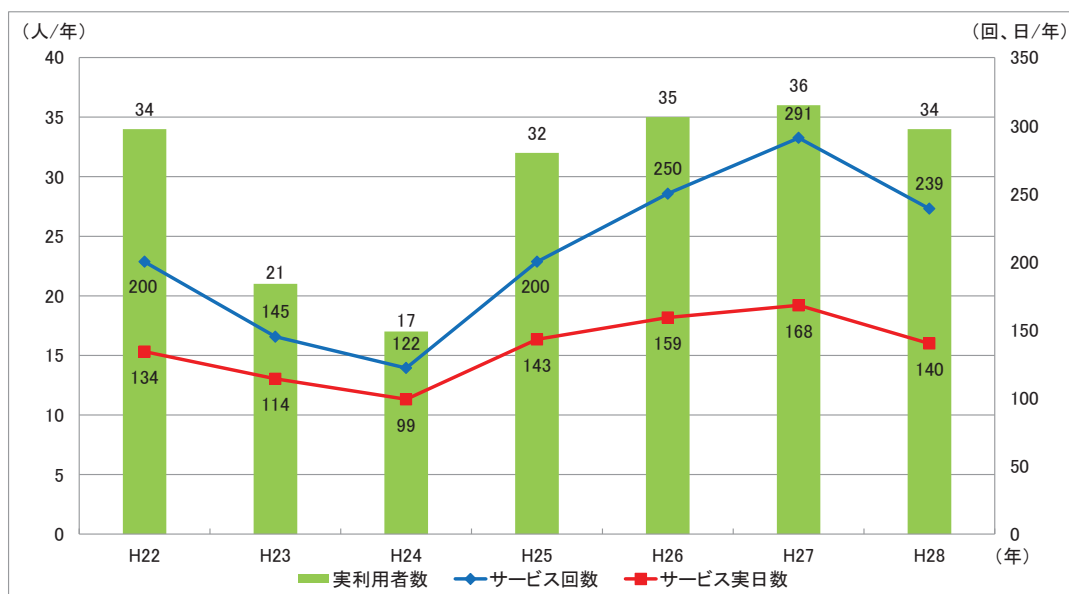
出典) 加西市所管データ

(6) 高齢者等の移動に対する福祉施策の状況

- 概ね 65 歳以上で車椅子を利用している高齢者や障がい者で、公共交通機関において移動困難な方を対象に、リフト付きワゴン車（かたつむり号）により、通院等の送迎を行っています。
- 公共交通機関を利用できない方の通院等を助けるなどの効果があり、高齢者関係においては一時利用者が固定化し、利用回数も減少していましたが、平成 25 年（2013 年）からは、対象者及び利用の要件を緩和し、新規利用者が増加しています。
- また、障がい者関係では、実利用者が伸びないこともあり、サービス回数は大きく減らしていますが、毎年 3～4 人程度の利用があります。

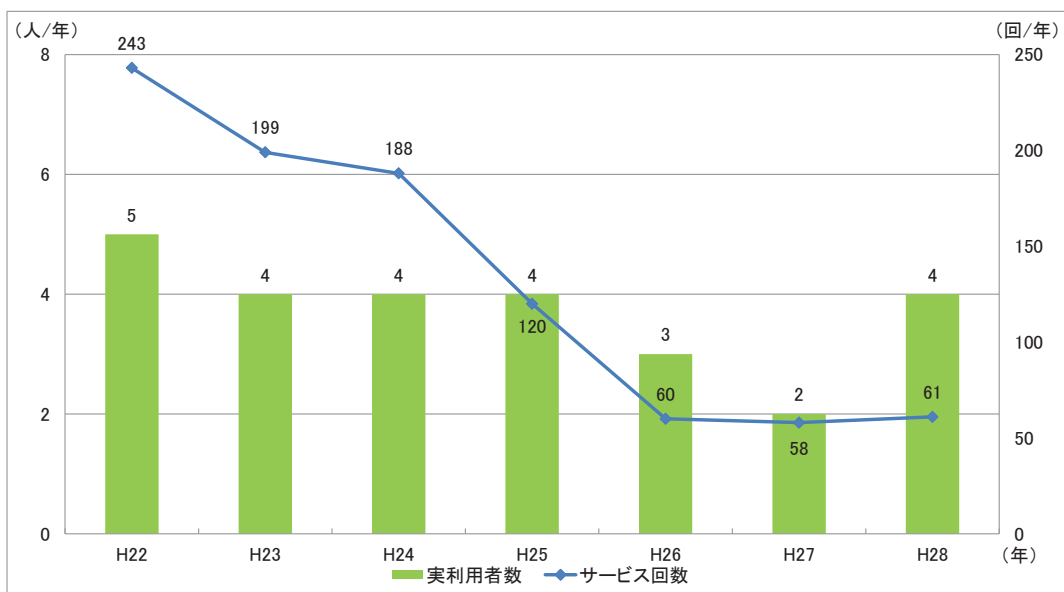
< 移送サービス事業の推移 >

・ 高齢者関係



出典) 加西市高齢者福祉計画・第 6 期介護保険事業計画

・ 障がい者関係



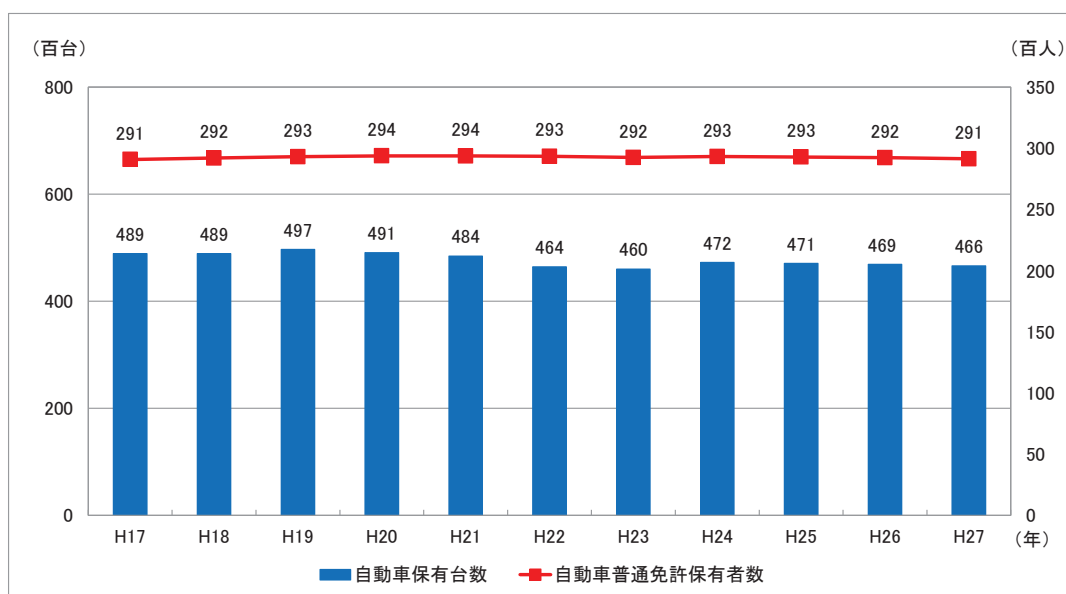
出典) 加西市高齢者福祉計画・第 6 期介護保険事業計画

(7) 道路交通の現状

① 自動車普通免許保有者数および自動車保有台数の推移

- ・加西市の自動車運転免許保有者数は、平成 17 年（2005 年）以降、約 2 万 9 千人前後を推移しています。
- ・自動車保有台数も平成 17 年（2005 年）から平成 21 年（2009 年）までは 4 万 8 千人～5 万人で推移していましたが、平成 22 年（2010 年）以降は若干の減少傾向を示しています。

＜自動車普通免許保有者数及び自動車保有台数の推移＞

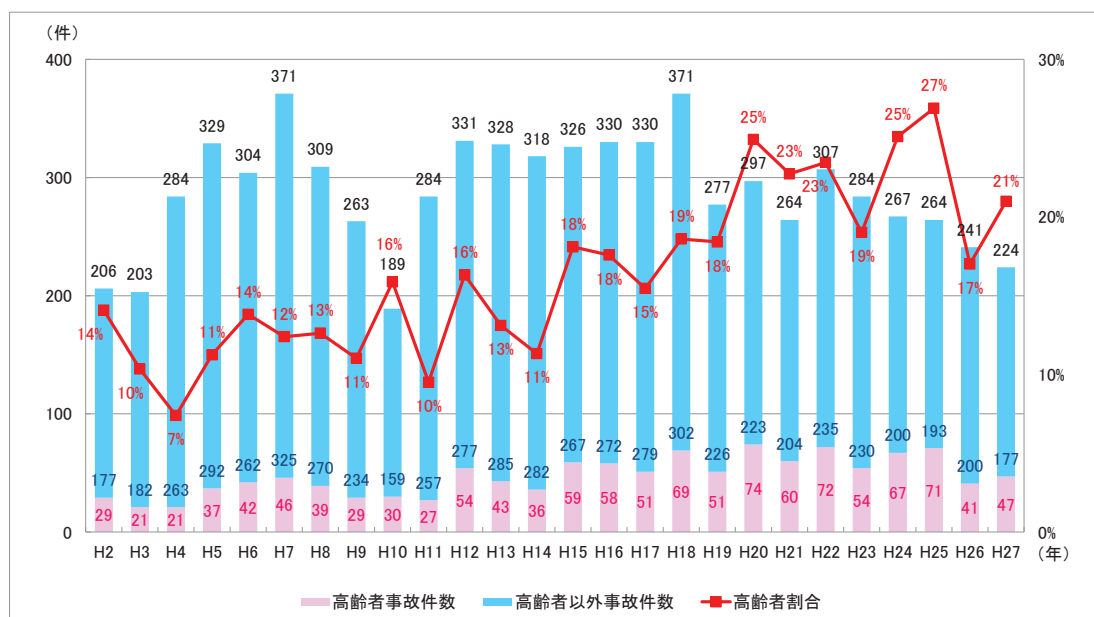


※)乗用車、貨物車、小型特殊自動車、軽自動車の合計
出典) 加西市統計書

② 交通事故の状況

- ・加西市の交通事故件数は、平成 18 年（2006 年）の 371 件/年を境に減少傾向となっており、平成 25 年（2013 年）では 264 件/年まで減少していますが、高齢者が第 1 当事者となる交通事故の割合は増加傾向にあり、平成 25 年（2013 年）には全体の 27%を占めています。

＜ 高齢者が第 1 当事者となる交通事故件数の推移（加西警察署管内）＞

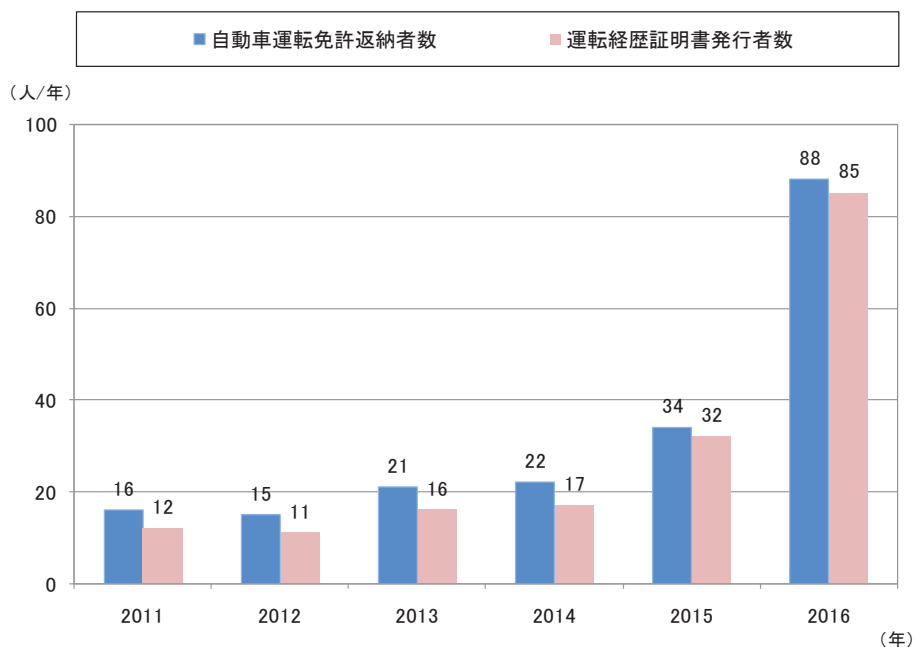


出典) 交通年鑑

③ 自動車運転免許返納者数及び運転経歴証明書発行の状況

- 加西警察署管内の自動車運転免許返納者数は平成 23 年（2011 年）から増加傾向にあり、平成 28 年（2016 年）では 88 人/年と大きく増加しています。
- 運転経歴証明書発行者数は自動車運転免許返納者数と比例して、平成 23 年（2011 年）から増加傾向にあり、平成 28 年（2016 年）では 85 人/年と大きく増加しています。

＜ 自動車運転免許返納者数及び運転経歴証明書発行者数の推移（加西警察署管内）＞



出典）加西警察署所管データ

(8) 加西市における人の動き

■ パーソントリップ調査とは

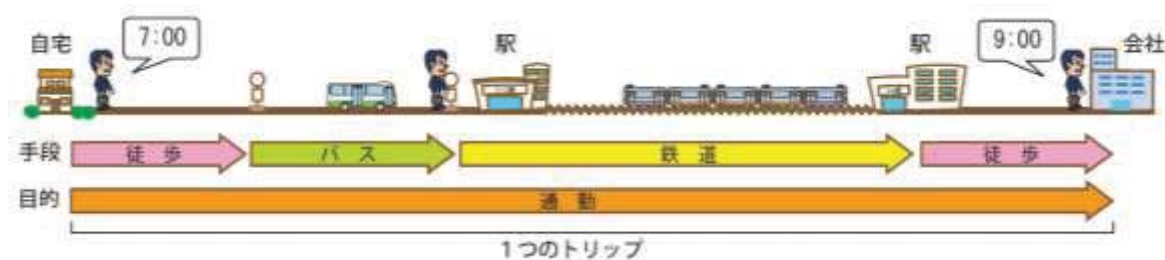
経済・社会の営みは、「人」がいて初めて成り立つものであり、また、その「人」は、都市や農村に住み、「移動」し活動しています。この「人 (Person) の動き (Trip)」から都市を分析していくのが、パーソントリップ調査（以下、PT調査）です。

これまで昭和 45 年の第 1 回調査以降 10 年ごとに、京阪神都市圏において調査を実施しています。

パーソントリップ調査とは、「いつ」「どこから」「どこまで」「どのような人が」「どのような目的で」「どのような交通手段を利用して」動いたのかを調査し、人の1日のすべての動きをとらえるものです。

ある目的による、出発地から目的地までの移動を1トリップと数え、そのトリップの詳細を調査します。

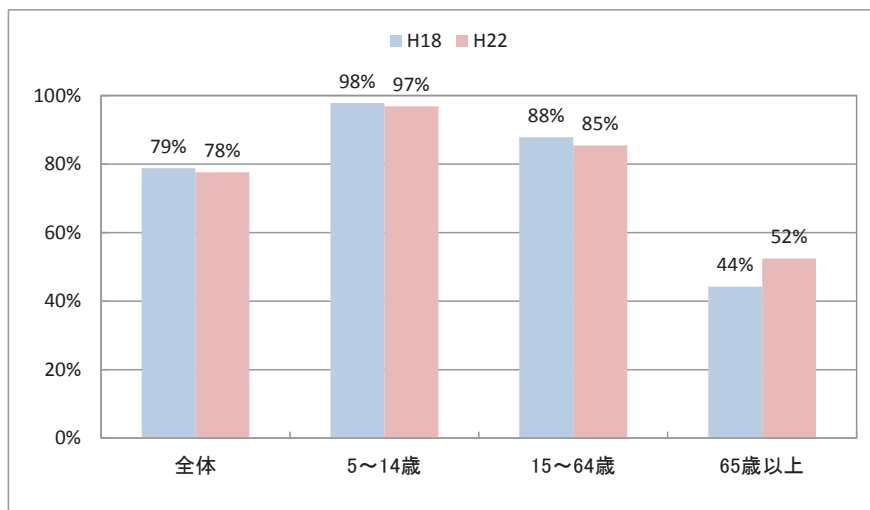
これにより、鉄道や自動車、徒歩といった交通手段の利用割合や、トリップ数などを求めることができます。



① 外出率

- ・加西市民の外出率は、平成 22 年では 78%となっています。
- ・年齢階層別に見ると、平成 22 年では5～14 歳が 97%、15～64 歳は 85%と高い外出率であるのに対して、65 歳以上では 52%と低くなっています。
- ・平成 18 年と平成 22 年を比較すると、5～14 歳及び 15～64 歳ではあまり変化がみられませんが、65 歳以上では平成 22 年の方が 8%多くなっています。

< 年齢3区分別外出率の推移 >

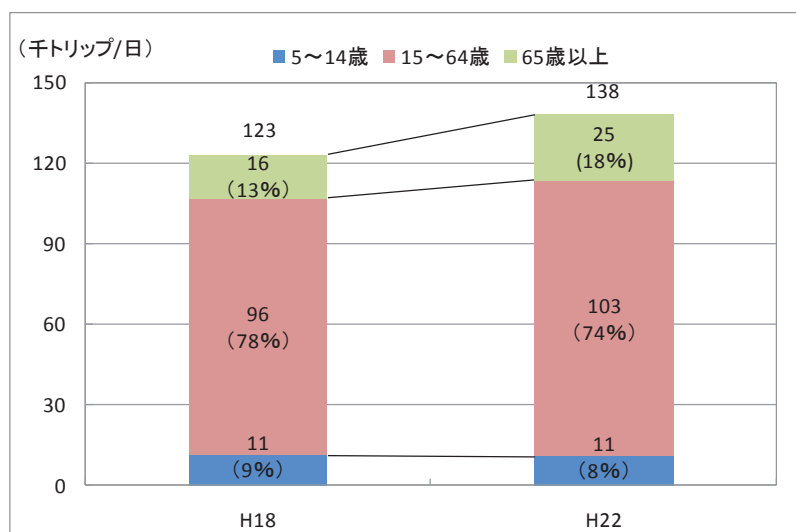


出典) 平成 18 年播磨都市圏・平成 22 年近畿圏パーソントリップ調査

② 移動量

- ・平成 18 年から平成 22 年の加西市関連トリップを年齢3区分別にみると、総量や5～14 歳の人の動きは変化していませんが、5～14 歳の人の動きは約9万6千トリップ／日から約 10 万 3千トリップ／日と約 1.1 倍に増加しており、65 歳以上の人の動きは約1万6千トリップ／日から約2万5千トリップ／日と約 1.5 倍に増加しています。

< 年齢3区分別移動量の推移 >

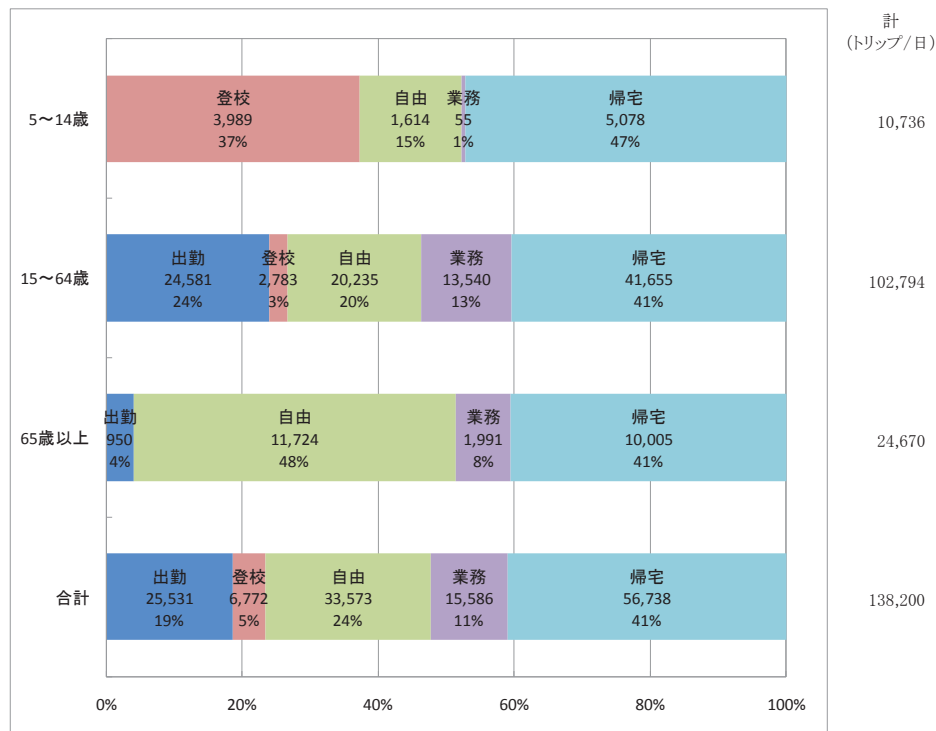


※) 平成 18 年播磨都市圏パーソントリップ調査圏域内の居住者による集計結果
出典) 平成 18 年・平成 22 年近畿圏パーソントリップ調査

③ 移動目的及び利用交通手段

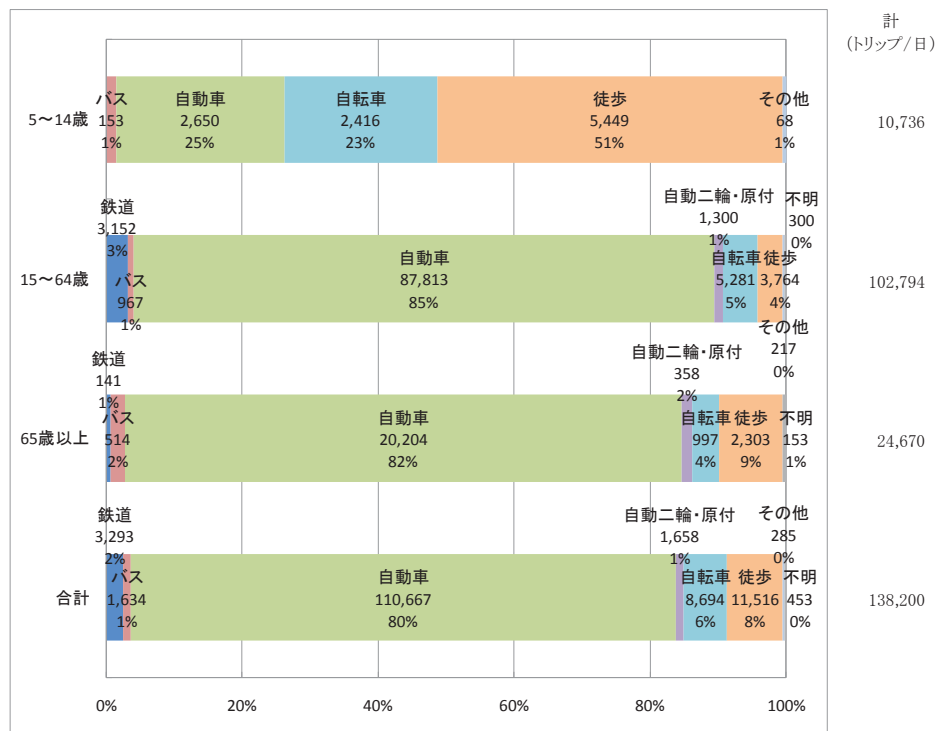
- ・年齢3区分別に移動目的をみると、5～14歳では「登校」目的、15～64歳では「出勤」や「自由」目的、65歳以上では「自由」目的が多くなっています。
- ・年齢3区分別に利用交通手段をみると、5～14歳では「徒歩」、15～64歳、65歳以上ではほとんどの方が「自動車」を利用されています。

＜ 年齢3区分別移動目的の推移 ＞



※) 平成 18 年京阪神都市圏パーソントリップ調査圏域内の居住者による集計結果
出典) 平成 18 年・平成 22 年近畿圏パーソントリップ調査

＜ 年齢3区分別利用交通手段の推移 ＞

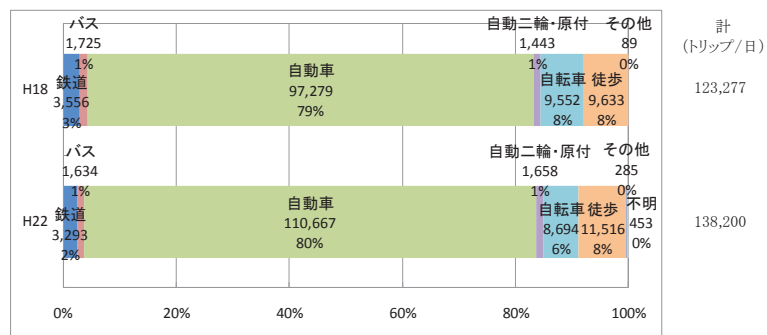


※) 平成 18 年京阪神都市圏パーソントリップ調査圏域内の居住者による集計結果
出典) 平成 18 年・平成 22 年近畿圏パーソントリップ調査

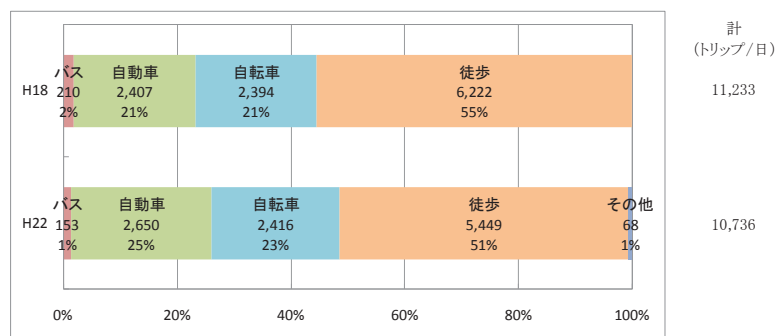
- 平成 18 年から平成 22 年の加西市全体の利用交通手段の推移をみると、自動車利用がやや増加しており、鉄道利用、自転車利用が減少しています。また、バス利用は少ないにも関わらず、平成 18 年から平成 22 年にかけてさらに減少しています。
- 年齢 3 区分別に利用交通手段の推移をみると、5～14 歳では「徒歩」の割合が減少し、「自動車（送迎）」、「自転車」の割合が増加しています。また、15～64 歳、65 歳以上では「徒歩」の割合が増加しています。

＜年齢別利用交通手段の推移＞

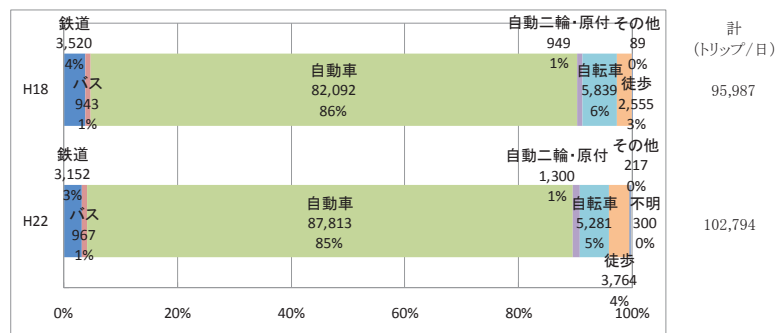
(全体)



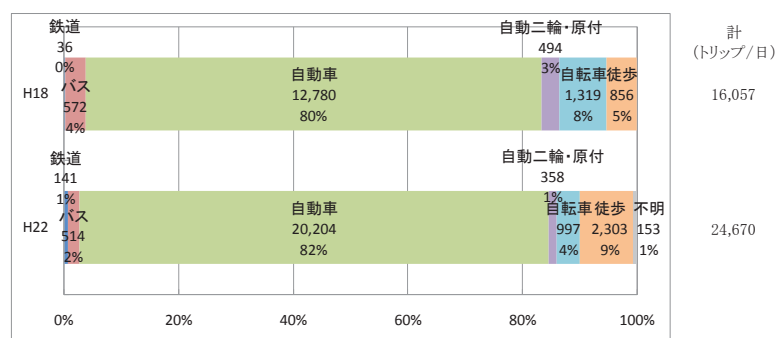
(5～14 歳)



(15～64 歳)



(65 歳以上)

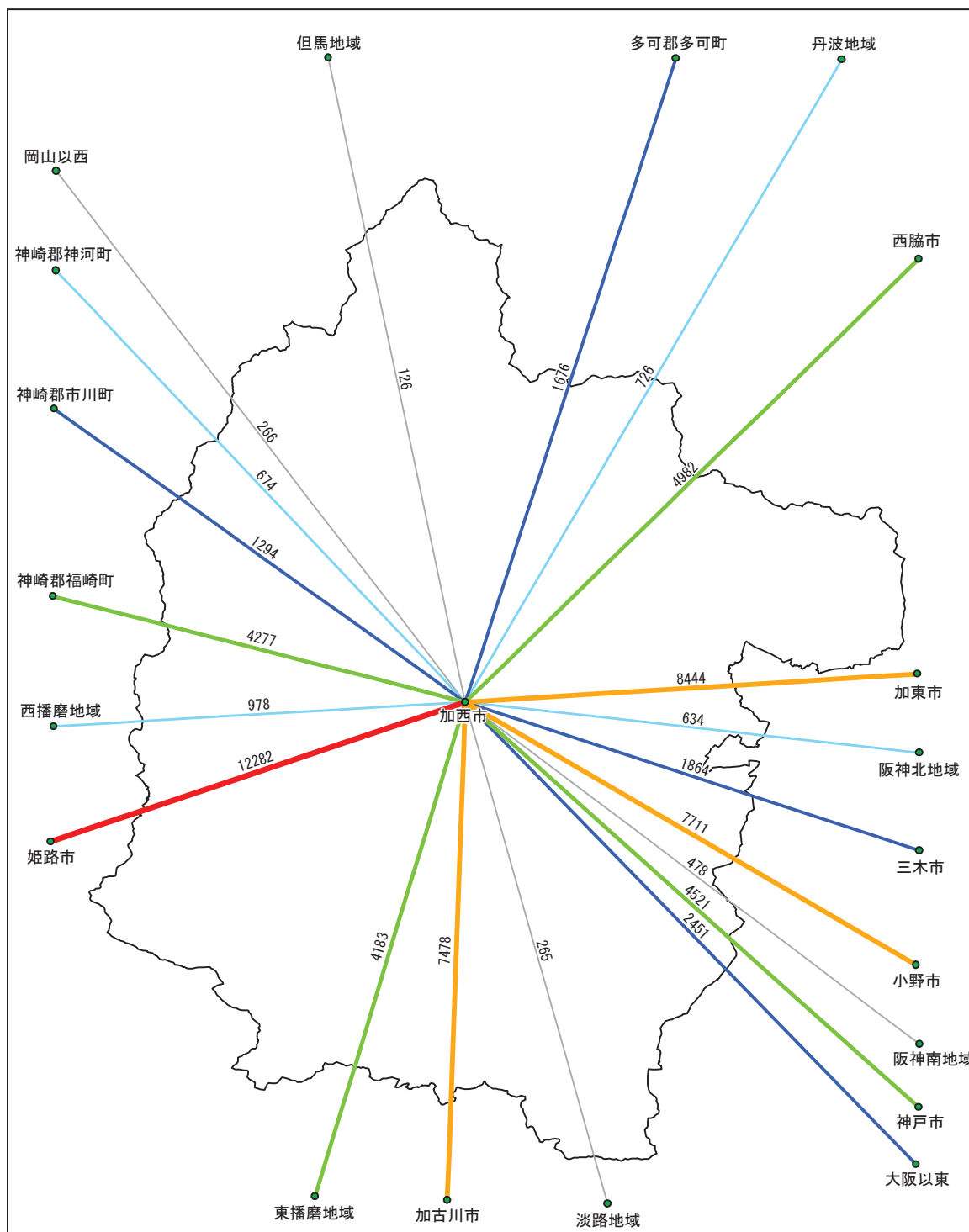


※) 平成 18 年京阪神都市圏パーソントリップ調査圏域内の居住者による集計結果
出典) 平成 18 年・平成 22 年近畿圏パーソントリップ調査

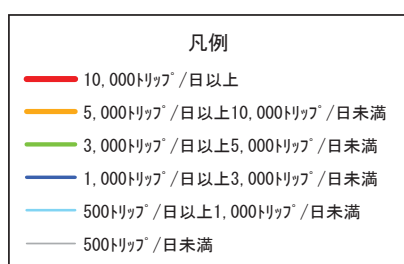
④ 市町間の移動状況

- ・加西市の市町間の移動状況で最も多いのは、姫路市で約1万2千トリップ、次いで加東市が約8千トリップとなっています。以下、順に小野市、加古川市との流動が多くなっています。

< 市町間OD流動 >



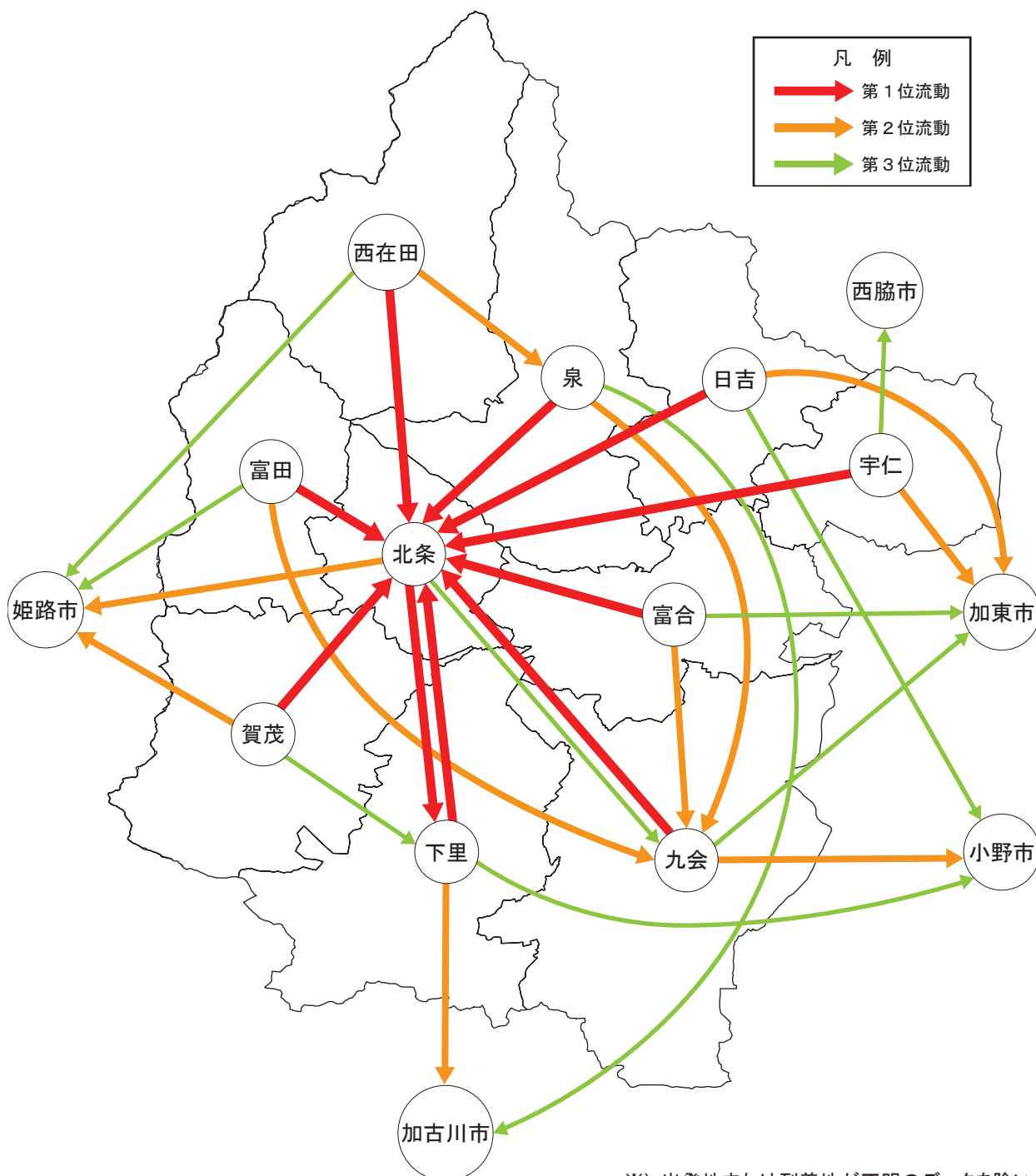
※) 出発地または到着地が不明のデータを除いて集計
出典) 平成 22 年近畿圏パーソントリップ調査



⑤ 加西市居住者の主な行き先

- 市内での移動需要を見ると、どの地区でも加西市の中心市街地である「北条地区」への移動が最も多くなっています。また、北条地区以外では、九会、下里、泉地区が主な行き先になっています。
- 市外への移動需要を見ると、北条、賀茂、富田、西在田地区などの加西市以西の地区では、隣接する姫路市への移動需要が高くなっています。また、日吉、宇仁、富合、九会地区などの加西市以東の地区では、隣接する北播磨地区の加東市や小野市などへの移動需要が高くなっています。

< 加西市居住者の主な行き先 >



※) 出発地または到着地が不明のデータを除いて集計
出典) 平成 22 年近畿圏パーソントリップ調査

(9) クルマを気軽に利用できない人の移動特性

① クルマを気軽に利用できない人の定義と人数

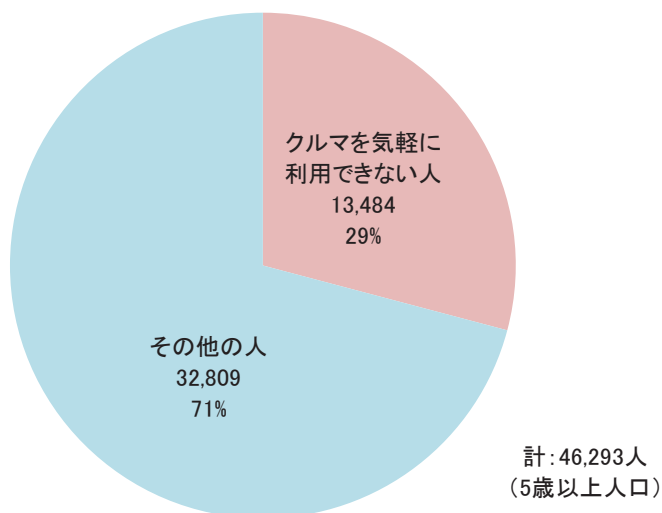
- ・バス及び鉄道利用者は、自動車を気軽に利用しにくい人によって利用されている傾向があったことから、「自動車運転免許証を持っていない」又は「世帯に車がない」人をクルマが気軽に利用できない人と定義して、その人の移動特性を分析しています。
- ・加西市民のクルマを気軽に利用できない人数は平成 22 年近畿圏パーソントリップ調査結果から推計すると、約 13,500 人（全体の約 3 割）が該当します。

■ クルマを気軽に利用できない人の定義

次のいずれかに該当する人を「クルマを気軽に利用できない人」として設定

- ・自動車運転免許証を持っていない
- ・世帯に車がない

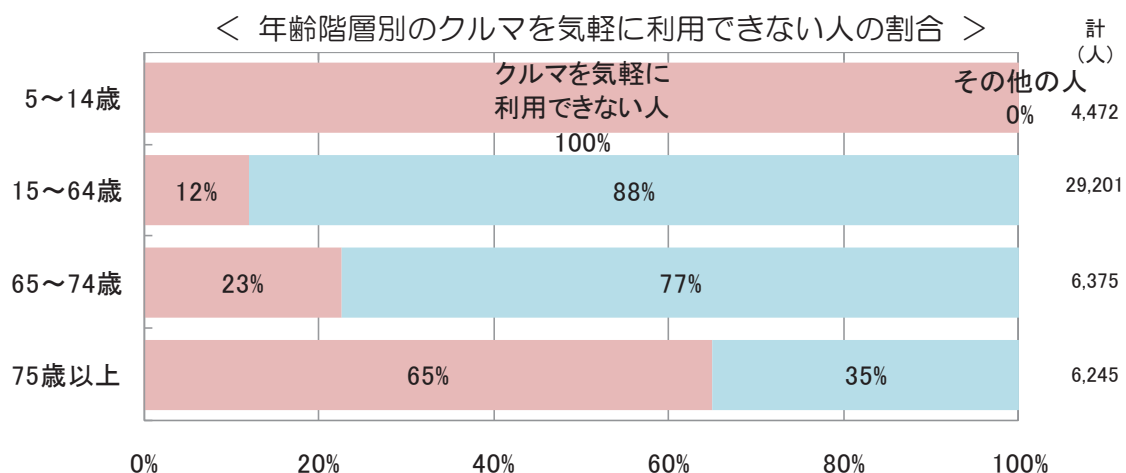
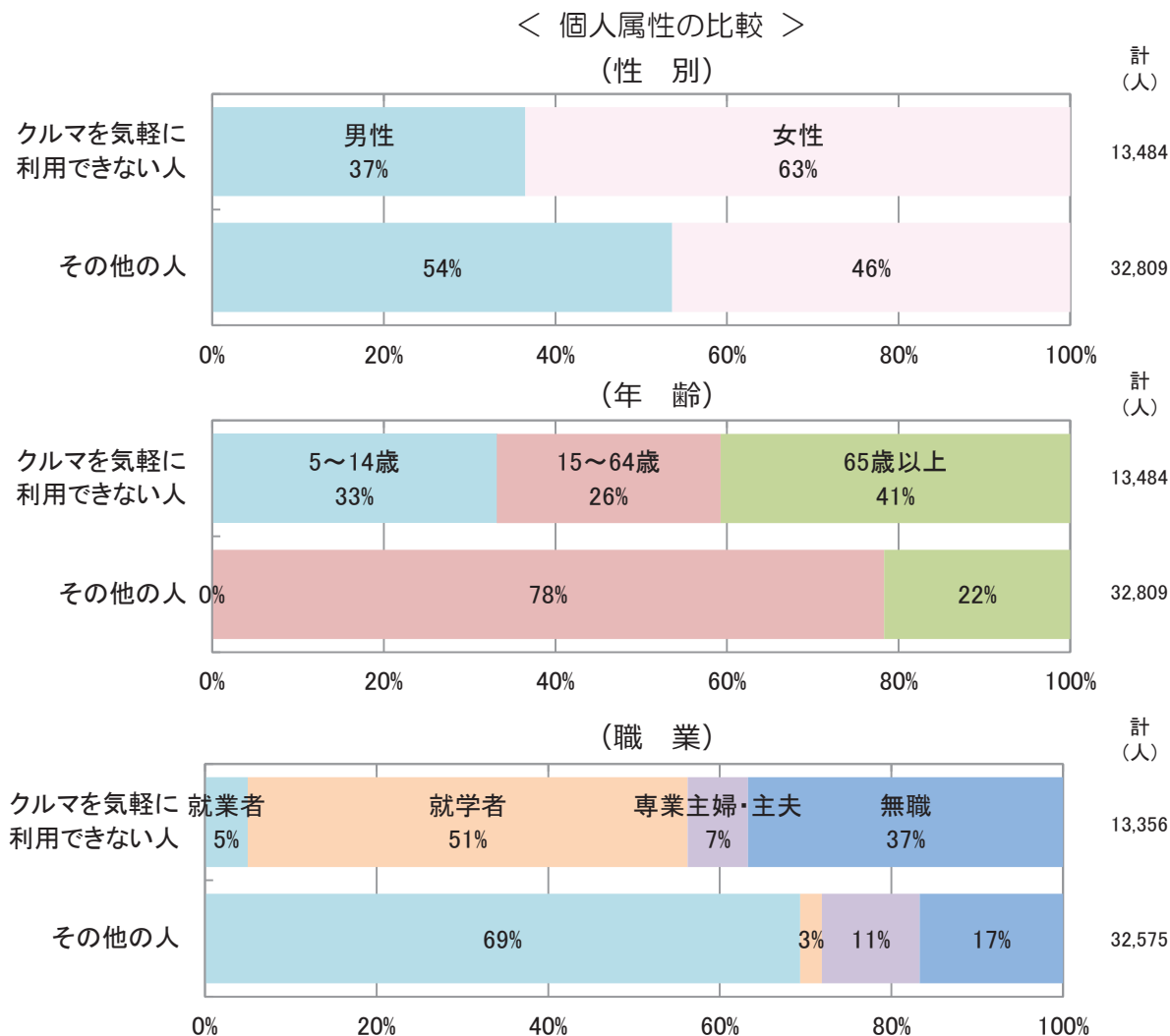
< クルマを気軽に利用できない人の人口割合 >



出典) 平成 22 年近畿圏パーソントリップ調査

② 個人属性の比較

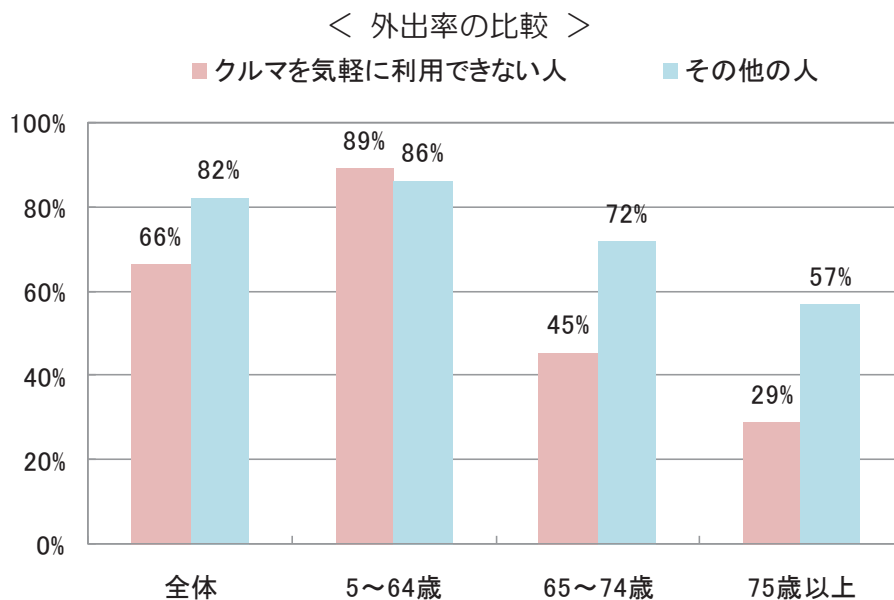
- ・クルマを気軽に利用できない人の個人属性をその他の人と比較すると、女性、5～14歳及び65歳以上、無職及び就学者の人の割合が多くなっています。
- ・年齢階層別にクルマ移動制約者の割合を比較すると、自動車運転免許を取得できない5～14歳を除くと、年齢が上がるにつれてクルマが気軽に利用できなくなるという結果になっています。



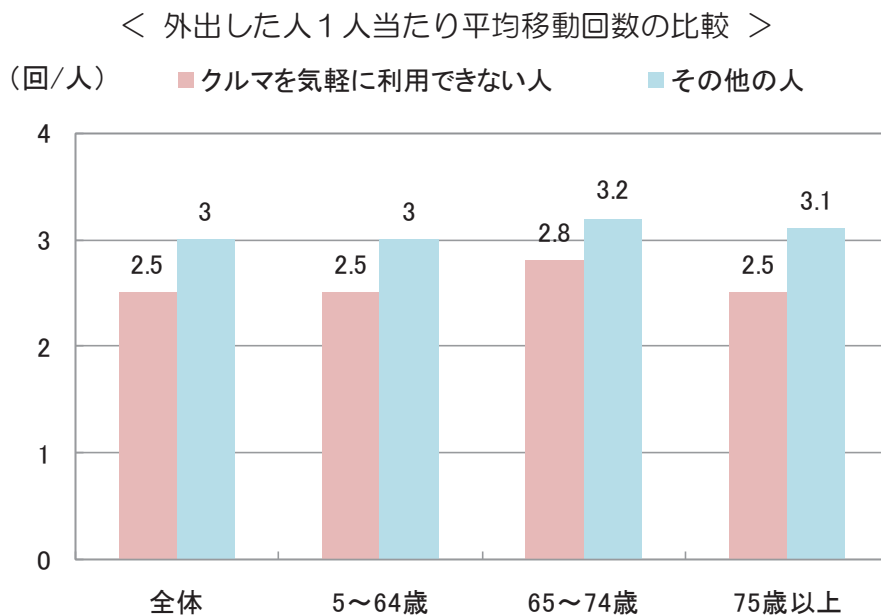
※) 不明を除く
出典) 平成22年近畿圏パーソントリップ調査

③ 外出率及び平均移動回数の比較

- クルマを気軽に利用できない人の外出率及び平均移動回数を、年代別にその他の人と比較すると、クルマを気軽に利用できない人は外出率が低く、また、外出した人でも平均移動回数が少なくなっています。このことから、自動車を気軽に利用できないために移動がしにくい状況が発生していると考えられます。



出典) 平成22年近畿圏パーソントリップ調査



出典) 平成22年近畿圏パーソントリップ調査

(10) 公共交通に対する市民の要望と改善意見

- ・加西市の概況や公共交通の現状を踏まえ、加西市公共交通活性化協議会やパブリックコメントなどで得られた意見や要望を整理した結果を、市民の要望と改善意見として以下に整理しました。

＜ 公共交通に対する市民の要望と改善意見 ＞

市民の要望と改善意見	
北条鉄道 バス	北条鉄道のダイヤとバスのダイヤが連動していない時間があるため、調整してほしい
	住民が主体となり計画、運営するような鉄道やバス路線を応援する組織を結成し、みんなで利用するなど鉄道・バス路線を維持していく「マイバス・マイ電車」の意識を持つ必要がある
ねっぴ〜号 はっぴーバス	ねっぴ〜号とはっぴーバスの中富口バス停での乗り換えが不便である
コミュニ ティバス 地域主体 型交通	宇仁地区に居住される方は、買物などの用事を行う際は北条地区と加東市に行く方が多い
	自動車も運転できず、公共交通にも乗れず、家族の送迎も受けられないような移動に困っている方の人数の把握が必要である
	加西市外への移動も必要だが、加西市内での移動手段を確保し、市民の地域内での生活圏の維持していくべき
福祉タクシー	加西市で運行している福祉タクシーを周知していくとともに、利便性を向上していく必要がある
タクシー	高齢者やクルマを利用できない方などに対して、デマンド型の乗合タクシーを導入してはどうか
	交通弱者の方が気軽に移動できるように、タクシーの利用割引等が必要ではないか
その他	ふるさと創造会議で公共交通関連の議論をする際の検討材料を支援・指導してほしい
	北条鉄道利用者の安全性向上の観点から、北条鉄道の各駅に防犯カメラを設置してほしい
	高齢者が免許返納された後の代替手段として、公共交通の利用を周知していくべき
	75 歳以上の方や子育て世代などが無料になる、「無料乗車券」導入にあたり、無料乗車券の周知を行いバスの利用促進を進めていくべき
	公共交通を利用した際の割引制度を周知していくべき
	公共交通の利用促進にあたり、イオンやアスティアかさい等の大型商業施設で公共交通の案内をしていくべき
	自動車運転免許返納者やクルマを気軽に利用できない方に対して、どうすればよいか相談できるような窓口を設置してほしい
	パブリックコメント実施後に追加

計画の方向性

— 目 次 —

	頁
第3章 計画の方向性	1
3.1 計画の方向性の考え方	1
(1) 計画の方向性とは	1
(2) 加西市の公共交通をとりまく課題	2
(3) 加西市がめざす将来像（上位計画）	3
(4) 加西市がめざす将来像に向けた公共交通の目指す方針	5
3.2 公共交通のめざす姿（基本理念及びめざすべき公共交通サービス）	6
(1) 基本理念	6
(2) めざすべき公共交通サービス	7
① めざすべき公共交通サービス検討の考え方	7
② めざすべき公共交通サービスの要素	9
③ 加西市における公共交通ネットワークの階層構造	9
④ めざすべき公共交通ネットワーク	10
3.3 基本方針	11
3.4 施策及び事業	12
(1) 施策体系	12
(2) 公共交通事業一覧	13
第4章 公共交通のめざす姿に向けた施策・事業（完成イメージ）	14

第3章 計画の方向性

3.1 計画の方向性の考え方

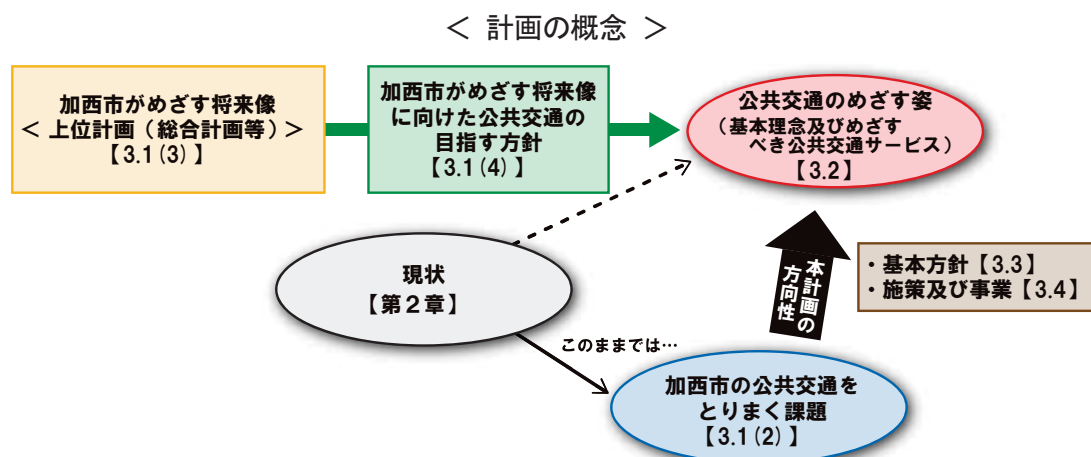
(1) 計画の方向性とは

計画とは、成り行き任せでは陥ってしまう地域の姿（課題）と目指すべき将来の姿との乖離を埋め、目指すべき姿を実現するための働きかけです。また、地域公共交通網形成計画などの交通計画を検討するにあたっては、まちづくり関連の計画とセットで考えていくべきであり、交通計画とまちづくり関連の計画が連携することで、相乗効果により好循環の実現を目指します。

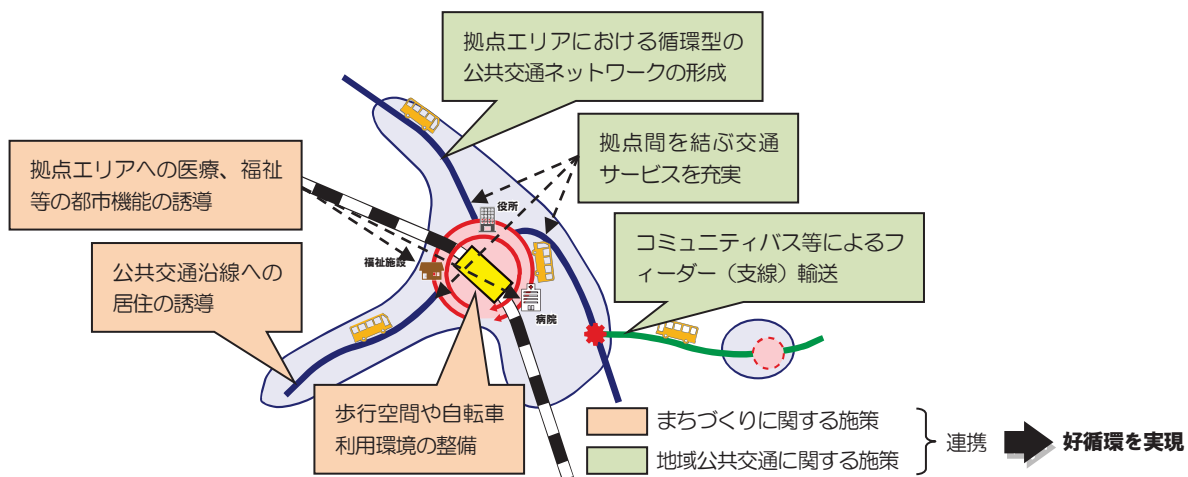
計画策定の第一歩は現状の正しい認識であり、加西市の交通を取り巻く現状を第2章で整理しました。次いで、このまま成り行きに任せておいた場合に直面するであろう課題を次頁3.1(2)で整理します。

そして、本計画の目指すべき将来の姿である公共交通のめざす姿は、上位計画で示されている加西市がめざす将来像（3.1(3)参照）に向けた公共交通の目指す方針を3.1(4)で整理した上で、次節3.2に本計画の基本理念及びめざすべき公共交通サービスの内容で示しています。

計画の方向性とは、この課題（3.1(2)参照）と公共交通のめざす姿（3.2参照）の乖離を埋めるための指針であり、基本方針を3.3に、施策及び事業を3.4に示します。



＜ まちづくりと連携した交通計画のイメージ ＞



出典）「地域公共交通網形成計画及び地域公共交通再編実施計画作成のための手引き」を基に加筆

(2) 加西市の公共交通をとりまく課題

加西市の交通をとりまく現状を受けて、このまま成り行きに任せておいた場合に直面するであろう公共交通をとりまく課題は以下のとおりとなります。

< 加西市の公共交通をとりまく課題 >

- | |
|--|
| ・ 今後の人口減少の進展による活力低下の懸念 |
| ・ 市内に多く残されている鉄道、バス不便地域 |
| ・ クルマを気軽に利用できない人の外出機会の低下 |
| ・ 増加する自動車運転免許返納者やクルマを気軽に利用できない人の移動手段となり得ていない公共交通 |
| ・ 高齢ドライバーの増加に伴う高齢者による交通事故の増加 |
| ・ 通勤・通学等の市外への移動需要に対応しきれていない公共交通 |
| ・ 増加する観光客に十分な対応ができていない公共交通 |
| ・ 乗り換え利便性が十分ではない交通結節点 |
| ・ 自動車依存からなる公共交通に無関心な市民の増加 |

(3) 加西市がめざす将来像（上位計画）

加西市が目指す将来のまちづくりの方向性は、「第5次加西市総合計画」に示されています。

総合計画では、「加西市のめざす姿・将来像」、将来像を実現するための「政策」を以下のとおり示しています。また、持続可能なまちづくりを進めるため、都市の骨格の構成要素である「核」「拠点」「軸」「ゾーン」を示した将来都市構造図が設定されています。

＜ 第5次加西市総合計画（2016（H28）年3月）の概要 ＞

■ 加西市のめざす姿・将来像

前期計画：加西の元気力 加西の良さを活かした元気力の追求

後期計画：多様な暮らし 夢がかなう「未来の田舎」かさい

加西の元気力 加西の良さを活かした元気力の追求

■ 計画期間

前期計画：2011（H23）年～2015（H27）年（5年間）

後期計画：2016（H28）年～2020（H32）年（5年間）

■ 政策

基本政策	政策
子どもが元気に育ちいきいきと活動する加西	政策1 明日を担い未来へつなげる人づくり
	政策2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
雇用と経済が元気を取り戻す加西	政策3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
	政策4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり
誰もがみんな元気で安心して暮らせる加西	政策5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
	政策6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
地球に優しい環境都市加西	政策7 自然環境の保全と特色ある景観づくり
	政策8 循環型社会をめざす生活環境づくり
パートナーシップによる地域経営	政策9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西
	政策10 健全な行財政運営の確立

< 将来都市構造図 >



【都市核】

加西市の中心であり、公共施設や生活利便施設が多く立地するなど、旧来から様々な都市機能が集積している市役所や北条町駅周辺の市街地を「都市核」とし、都市機能の強化を図る。

【地域核】

旧来から地域の中心的な役割を担い、日常生活において地域の都市機能が集積している善防、加西及び泉中学校区の中心地を「地域核」とし、その機能強化を図るとともに、周辺集落地をサポートし地域連携を図る。

【交通拠点】

加西市において人やものの広域的な交流を促進するために重要となる交通結節点として、中国自動車道加西インターチェンジや北条鉄道北条町駅及び法華口駅を「交通拠点」とし、機能強化を図る。

(4) 加西市がめざす将来像に向けた公共交通の目指す方針

加西市がめざす将来像が示されている上位計画である「第5次加西市総合計画〈2016（H28）年3月〉」の「めざす姿・将来像」及び「目標（基本政策）」で掲げられている内容を踏まえ、加西市がめざす将来像に向けた公共交通の目指す方針を以下に示します。

＜ 加西市がめざす将来像に向けた公共交通の目指す方針 ＞

総合計画		加西市がめざす将来像に向けた公共交通の目指す方針
めざす姿 将来像	目標（基本政策）	
加西の元氣力 多様な暮らし 加西の良さを活かした元氣力の追求 夢がかなう「未来の田舎」かさい	① 明日を担い未来につながるまちと人づくり	・公共交通を整備し外出を支援することで、人とのコミュニケーションや交流機会の創出を促す ・北条鉄道などの公共交通を通じた郷土愛の醸成により加西市の未来の担い手を育成する
	② 郷土に誇りを持つ家庭・学校・地域の輪があるまち	・地域に密着した鉄道やバスの運行により、地域から学校や商業施設、医療施設などを結び、地域のつながりの輪を広げる
	③ 地域の豊かさと活気あるまち	・仕事場や観光地までを公共交通でつなぐことで、公共交通を使った地域の活性化を目指す
	④ 都市の魅力と快適性の高いまち	・自動車と公共交通それぞれの利点を活かすことで、自動車を問題なく利用できる人も自動車を利用しづらい人も移動しやすい環境を整備し、自動車と公共交通が共存できるまちづくりを目指す ・郊外で住んでいる人が住み慣れた地域内で暮らしやすくとともに、買い物や医療などが集積している市街地へも行きやすい公共交通の整備を目指す（但し、市街地の新たな拡大は抑制）
	⑤ 誰もが元気に暮らせるまち	・公共交通を整備することで、外出しやすい環境を作り、高齢者等の健康増進を目指す
	⑥ 身近な幸せを実感できる安全・安心なまち	・公共交通の利用を促進することで、自動車事故を防止し、安全・安心な社会を目指す ・気軽に自動車を運転できない高齢者や障がい者、妊産婦、子どもなどが公共交通を利用して安心して暮らせるまちを目指す
	⑦ 自然環境の保全と特色ある景観があるまち	・北条鉄道をふるさと加西の魅力を高める地域資源として育成、発信することで加西の風土を活かした景観づくりをめざす
	⑧ 循環型社会が実現したまち	・モビリティ・マネジメントの推進により、不必要な自動車の利用を抑制し、環境に配慮した循環型社会を目指す
	⑨ 住民参画・男女参画による元気なまち	・住民の参画と行政との協働により、地域が主体となった交通づくりや公共交通の利用促進を行うことで官民協働の元気なまちづくりを目指す
	⑩ 健全な行財政運営が確立したまち	・地域公共交通の確保・維持により、医療や福祉分野などの他分野の行政コストの支出抑制を目指す ・必要な財源は確保し、限られた予算の中で、市民にも多少の不便を分かち合ってもらいながら、持続可能な公共交通を目指す

3.2 公共交通のめざす姿（基本理念及びめざすべき公共交通サービス）

(1) 基本理念

公共交通のめざす姿として、加西市の公共交通のあり方を示す本計画の基本理念を、以下のよう

ように設定します。

■ 基本理念の考え方

市民・交通事業者・行政が協力し合い、自分たちの公共交通であるという認識のもと、多少の負担も分かち合いながら、受益と負担のバランスの取れた質の高い公共交通サービスを構築していくことをめざします。



みんなで作る

地域内外のつながりを鉄道やバスなどの公共交通の面から強化することで、地域に親しまれ、子どもや孫の世代まで継続的に実施できる持続可能な公共交通サービスの実現をめざします。



地域に根付いた

市外からの交流人口の増加と市民の外出の機会の増加を促すことで、人と人とが結びつき、健やかに、支えあって暮らせるまちを、公共交通サービスを通じて実現することをめざします。



人と人をつなぐ

基 本 理 念

みんなで作る

地域に根付いた 人と人をつなぐ公共交通

(2) めざすべき公共交通サービス

① めざすべき公共交通サービス検討の考え方

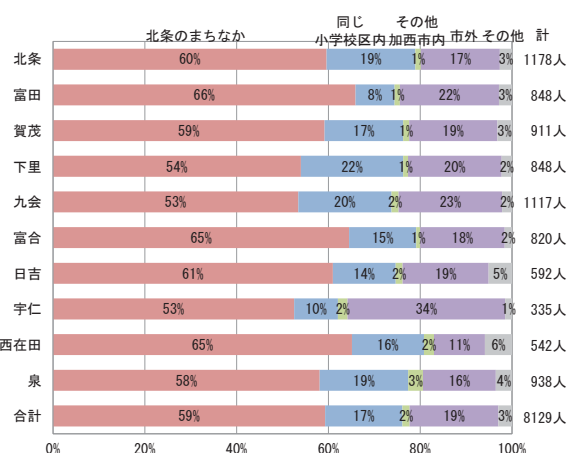
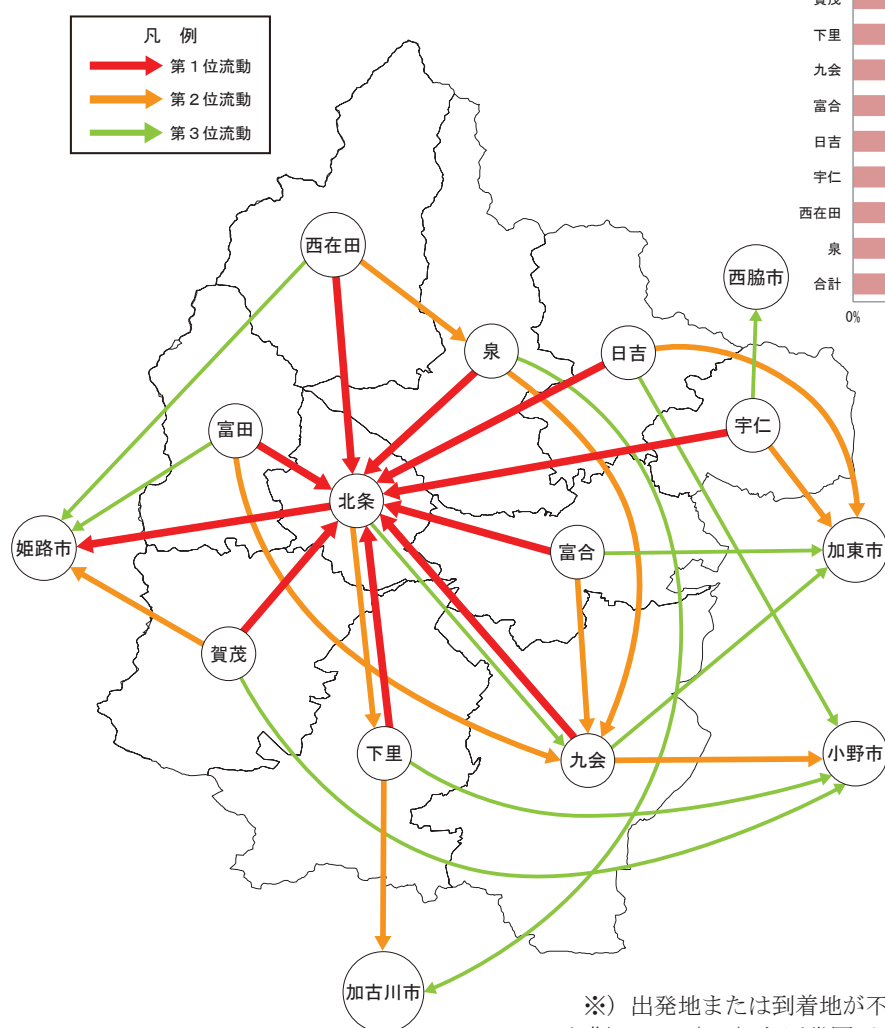
めざすべき公共交通サービスとしては、公共交通以外の手段（自動車や自転車、徒歩）で行きたい場所に行けない方など、公共交通を必要としている方の移動需要に対応したサービスを提供することが重要です。

市民の移動需要を見ますと、どの地域でも、加西市の中心市街地である北条地区への移動が多くなっています。また、北条地区以外では、九会、下里、泉地区が主な行き先になっています。公共交通の主な利用者である高齢者がよく行く場所を見てみますと、市内の全ての地域において「北条のまちなか」によく行くという回答が半数以上を占めています。

このように加西市民の皆さんは、日常生活に必要な様々な施設が集積した北条地区への移動需要が高いことが分かります。

< 各地域居住者の主な行き先 >

< 高齢者の主な行き先 >



出典：2014（H26）年高齢者アンケート調査

※）出発地または到着地が不明のデータを除いて集計
出典）2010（H22）年近畿圏パーソントリップ調査

ここで、日常生活に必要となる生鮮食料品を買うことができる買物施設、病気を診てもらったり薬を貰うことができる医療施設、お金の引き出しや預け入れができる金融施設を「生活必須施設」と定義し、その立地状況を地区別に整理した上で集積状況を確認すると、北条地区では生活必須施設が集積しています。その他の地区では賀茂、下里、九会、日吉、泉地区において3種類の施設が立地しており、そのうち下里、九会、泉地区では500m以内に2種類の施設が集積しています。これらのことから、北条地区を「中心拠点」、下里、九会、泉地区を「地域拠点」と位置づけます。この結果は、先述した各地域居住者の主な行き先の結果と概ね同様となっています。

今後、拠点整備などのまちづくりが進展していく場合は、そのまちづくりと連携した公共交通サービスが必要となりますが、本計画の目標年次が5年後の2022（H34）年度であることから、まずは当面のめざすべき公共交通サービスとして、施設立地状況が現状のままであるとして、現状の移動需要に則したネットワークの構築を検討します。

＜ 地区別に見た生活必須施設立地状況一覧 ＞

	生活必須施設			生活必須施設の 集積状況	拠点
	買物施設	医療施設	金融施設		
	スーパー、 生鮮食料品店 (コンビニ含む)	病院、医院、薬局	郵便局、銀行、 信用金庫 (ATMのみ施設含む)		
北条	◎(◎)	◎	◎(◎)	◎(◎)	中心拠点
富田	—(○)	—	○(◎)	—(—)	
賀茂	○(◎)	○	○(◎)	×(×)	
下里	○(◎)	◎	○(◎)	△(△)	地域拠点
九会	△(○)	◎	○(◎)	△(◎)	地域拠点
富合	—(○)	—	○(◎)	—(—)	
日吉	—(○)	○	○(◎)	—(×)	
宇仁	—(—)	—	○(○)	—(—)	
西在田	—(—)	○	○(◎)	—(—)	
泉	○(◎)	△	○(◎)	△(○)	地域拠点

※) 各項目の定義

- ・【買物施設】◎：スーパー等2件以上あり ○：スーパー等1件あり △：商店1件あり —：なし ※()内はコンビニも含む場合
- ・【医療施設】◎：病院・医院2件以上あり ○：病院・医院1件あり △：薬局のみあり —：なし
- ・【金融施設】◎：銀行・信用金庫あり ○：郵便局のみあり ※()内はATMのみの施設も含む場合
- ・【集積状況】◎：300m以内に3種類の施設が集積 ○：500m以内に3種類の施設が集積 △：500m以内に2種類の施設が集積
×：3種類の施設が各々500m以上離れている —：3種類の生活必須施設が揃っていない

② めざすべき公共交通サービスの要素

公共交通サービスは、大きく分けて「ネットワーク（路線）」「ダイヤ・本数」「運賃」「車両」「駅・バス停（待ち環境含む）」「情報」の6つの要素があります。めざすべき公共交通サービスとしては、これら6つの要素で以下のように利用者が利用しやすいサービスとなっていることが重要です。

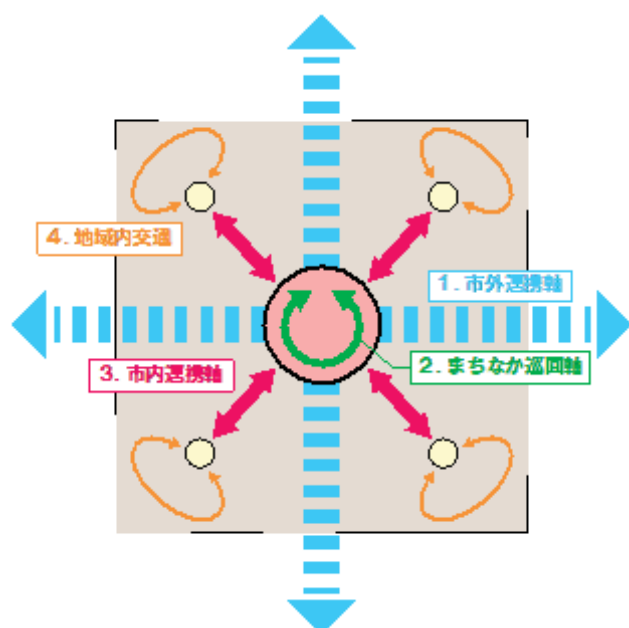
< めざすべき公共交通サービスの内容 >

ネットワーク（路線）	：行きたいところに行くことができる
ダイヤ・本数	：本数が多いことが望ましいが、本数が少なくても行きたい時間にダイヤが設定されている
運賃	：受益者負担の考え方を原則とした、最適な料金設定
車両	：バリアフリー対応など、誰にとっても利用しやすい車両
駅・バス停	：バリアフリー対応はもちろんのこと、鉄道やバスを待ちやすい環境や乗り継ぎ環境の充実
情報	：ダイヤや運賃、料金割引制度など、知りたい情報が入手しやすい環境やダイヤのパターン化などの分かりやすい情報提供

③ 加西市における公共交通ネットワークの階層構造

めざすべき公共交通ネットワークの設定にあたっては、前述した加西市民の皆さんの移動需要に対応することが重要ですが、その他にも加西市外からの来訪者についても考慮して設定する必要があります。これら加西市民の皆さんの市内や市外への移動需要や、加西市外の方が来訪する移動需要に対応するためには、公共交通ネットワークの役割分担が必要であり、以下の階層構造を基本として設定することが望ましいと考えます。

< 加西市における公共交通ネットワークの階層構造 >



1. 市外連携軸

市民が市外へ行きやすくするためだけでなく、市外からの来訪者も移動しやすくするために、市内と市外を結ぶ公共交通を整備

2. まちなか巡回軸

北条のまちなかで通院や買い物等の回遊をしやすくするために、中心市街地を巡回できる公共交通を整備

3. 市内連携軸

市民の買物や通院等の外出をしやすくするために、各地区から中心市街地である北条地区までを結ぶ公共交通を整備

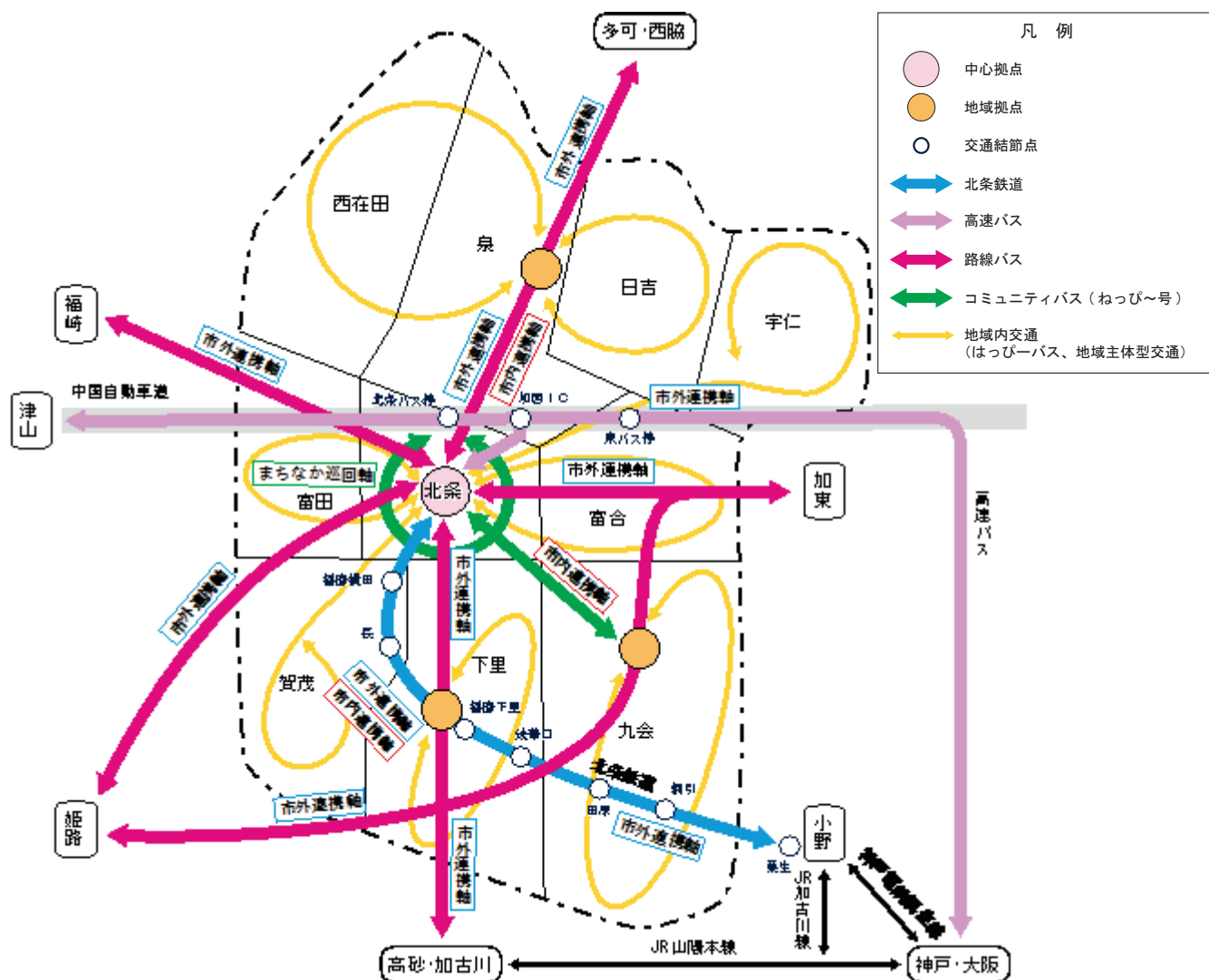
4. 地域内交通

生活必須施設（買物、医療、金融）へ外出をしやすくするために、最寄りの生活必須施設まで行けるような公共交通を整備

④ めざすべき公共交通ネットワーク

施設立地状況などの現在の「まち」の状況や、今後加西市がめざすまちづくりの将来像、市民の現在の移動需要、役割分担された階層構造の考え方を踏まえ、加西市のめざすべき公共交通ネットワークは以下のようになります。なお、宇仁地区等の市境界付近に居住されている方は加東市や小野市などの隣接市町への移動需要があるため、将来的には公共交通で接続することも視野に入れながら検討を進めます。

＜ めざすべき公共交通ネットワーク ＞



種別	対応する現在の公共交通機関
1. 市外連携軸	北条鉄道、高速バス、路線バス
2. まちなか巡回軸	ねっぴ〜号 (市街地線)
3. 市内連携軸	ねっぴ〜号 (国正線、九会線、フラワーセンター線)、路線バス、北条鉄道
4. 地域内交通※	はっぴーバス、地域主体型交通

※) 地域内交通の考え方としては、生活必須施設 (買物施設、医療施設、金融施設) までの交通として運行するものである。従って、地区内に生活必須施設がある場合は地区内での運行、地区内に生活必須施設がなく、隣接地区にある場合は隣接地区までの運行、地区内にも隣接地区にも生活必須施設が無い場合は北条地区までの運行を行うものとする。

3.3 基本方針

加西市の公共交通を持続可能なものとしていくためには、行政のみだけでなく市民の皆さんの協力がなければめざすべき公共交通の実現は困難です。基本理念にもあるように、「みんなで」よりよい公共交通を作っていきたいと考えています。

以上を踏まえて、「みんなでつくる 地域に根付いた 人と人をつなぐ公共交通」の基本理念の実現に向けて、本計画を推進するにあたって、3つの基本方針を設定しました。

< 基本方針 >

基本理念

みんなでつくる 地域に根付いた 人と人をつなぐ公共交通

基本方針1:みんなが利用しやすい公共交通網の構築

公共交通は、全ての人が利用する「公共」の乗り物であることから、分かりやすく、使いやすい公共交通とすべきであり、行政のみだけでなく、利用者である市民の方からの意見も広く取り入れた利用環境の改善が必要です。

加西市にある公共交通不便地域などを縮小させるために、行政のサポートのもと、市民が主体となった地域主体型交通の導入推進等を行うとともに、鉄道やバスのサービス向上や連携強化を図り、市民のみならず市外の方も含めた全ての方が、利用しやすい公共交通体系を構築していきます。

基本方針2:利便性の高い公共交通結節点の整備

鉄道駅やバス停において、さらなる利便性向上を図るためには、鉄道・バス待ち環境の改善などのハード面からの整備が必要であるとともに、わかりやすい時刻表や路線図の作成などのソフト面からの整備が必要です。

鉄道駅やバス停における待ち合い環境の改善や、交通手段相互の乗り替えがしやすい結節点整備を行うとともに、市民や初めて加西市へ来られた市外の方でも分かりやすい乗り継ぎ情報を提供することにより、利便性の高い公共交通結節点を整備していきます。

基本方針3:地域のさらなる結びつき強化を図る公共交通の利用促進

公共交通は自動車と比べ、人と顔を合わす機会が多い交通手段であり、コミュニケーションの場ともなっています。したがって、公共交通を利用促進することにより、地域の結びつき強化が期待できます。公共交通の利用促進を図るためには、すべての方が公共交通を利用しやすい環境を構築することが必要です。

そのため、公共交通を特に必要としている高齢者や子育て世代等が利用しやすい料金施策の推進や、これらの内容も含めた公共交通に関する情報を積極的に発信していきます。また、各種イベントや施策を通じて、現在公共交通を利用していない人に公共交通に関心を抱いていただく取り組みを推進していきます。これらの公共交通の利用促進により、地域のさらなる結びつき強化を図っていきます。

3.4 施策及び事業

(1) 施策体系

基本理念である「みんなでつくる 地域に根付いた 人と人をつなぐ公共交通」の実現に向けて定めた、「みんなが利用しやすい公共交通網の構築」「利便性の高い公共交通結節点の整備」「地域のさらなる結びつき強化を図る公共交通の利用促進」の3つの基本方針に基づいて、以下の11の施策を設定しました。

< 施策体系 >

基本理念	基本方針		施策	
みんな で つ く る 地 域 に 根 付 い た 人 と 人 を つ な ぐ 公 共 交 通	Ⅰ	みんなが利用しやすい 公共交通網の構築	1	各地区最寄りの生活必須施設まで行きやすくする公共交通の整備
			2	北条地区へ行きやすくする公共交通の整備
			3	北条地区内を周遊しやすくする公共交通の整備
			4	市外との連携を強化する公共交通の整備
	Ⅱ	利便性の高い 公共交通結節点の整備	5	待ち合い環境を改善する公共交通結節点の整備
			6	鉄道・バスと自転車・自動車の連携強化
			7	分かりやすい乗り継ぎ情報の提供
	Ⅲ	地域のさらなる結びつき強化を 図る公共交通の利用促進	8	利用しやすい料金体系の構築
			9	積極的な公共交通情報の発信
			10	新たな利用開拓に向けた取り組みの実施
			11	公共交通に関心を抱いてもらう取り組みの推進

(2) 公共交通事業一覧

11の施策について、より具体的な内容を示した事業を整理しました。今後は、この施策・事業を展開、推進していきます。

< 公共交通事業一覧 >

基本理念	基本方針	施策	事業	対象						
				鉄道	高速バス	路線バス	ねっぴり号	はっぴーバス	地域内交通	タクシー
みんなでつくる 地域に根付いた 人と人をつなぐ公共交通	I みんなが利用しやすい 公共交通網の構築	1 各地区最寄りの生活必須施設まで 行きやすくする公共交通の整備	① 地域主体型交通の導入推進等						○	
			② はっぴーバスフリー降車区間の拡充					○		
		2 北条地区へ行きやすくする 公共交通の整備	③ 社会の変化に応じたコミュニティバス等の運行改善	○		○	○			
		3 北条地区内を周遊しやすく する公共交通の整備	④ 市街地線の機能強化				○			
		4 市外との連携を強化 する公共交通の整備	⑤ 鉄道輸送力改善に向けた整備	○						
			⑥ 社会の変化に応じた路線バスの運行改善			○				
			⑦ 他市町とのバス軸の増強		○	○				
	II 利便性の高い公共交通結節点の整備	5 待ち合い環境を改善する 公共交通結節点の整備	⑧ 利用者が多いバス停でのベンチ・雨よけの設置			○	○	○	○	
			⑨ バス停の環境改善を地域が独自で実施する場合の財政支援策の導入(アドプト制度の導入)			○	○	○	○	
			⑩ コミュニティバス等及び路線バス時刻表の統一化		○	○	○	○	○	
		6 鉄道・バスと自転車・ 自動車の連携強化	⑪ パーク&(バス)ライド駐車場やサイクル&(バス)ライド駐輪場の整備及びPR活動の実施	○	○	○	○	○	○	
			⑫ レンタサイクルの拡充			○				
			⑬ サイクルトレインの拡充			○				
			⑭ バスベイ設置推進			○	○	○	○	
		7 分かりやすい 乗り継ぎ情報の提供	⑮ デジタルサイネージ等によるバス・鉄道情報(乗継情報等)の提供	○	○	○	○	○	○	
			⑯ コミュニティバス等におけるバスロケーションシステムの導入				○	○		
			⑰ 公共交通機関相互ののりかえに対応した運行ダイヤの調整	○	○	○	○	○	○	○
	III 地域のさらなる結びつき強化を図る公共交通の利用促進	8 利用しやすい 料金体系の構築	⑱ 高齢者や子育て世帯等に対する運賃割引	○	○	○	○	○	○	○
			⑲ 免許返納者に対する割引制度の拡充(割引対象施設の増加等)	○	○	○	○	○	○	○
			⑳ 公共交通機関相互の割引拡充	○	○	○	○	○	○	○
			㉑ ICカード等を活用した割引制度の拡充		○	○	○			
		9 積極的な 公共交通情報の発信	㉒ 公共交通情報を総合的に発信	○	○	○	○	○	○	○
			㉓ 広報誌・Webを活用した情報提供	○	○	○	○	○	○	○
			㉔ 市民や観光客が集う主要施設にバス・鉄道情報の掲示	○	○	○	○	○	○	
			㉕ 公共交通機関相互の運行情報の提供	○	○	○	○	○	○	○
		10 新たな利用開拓に 向けた取り組みの実施	㉖ 北条鉄道各駅前または駅周辺における観光イベントや地域イベント等の実施	○						
			㉗ 各種イベント列車(サンタ列車、かぶとむし列車等)の運行	○						
			㉘ 車内での絵画展等の企画バスの実施		○	○	○	○	○	
			㉙ 企画乗車券(観光地周遊乗車券等)の継続・拡充			○				
			㉚ スクールバス等との混乗化							
		11 公共交通に関心を抱いて もらう取り組みの推進	㉛ モビリティ・マネジメントの実施	○	○	○	○	○	○	
			㉜ 公共交通サポーター制度の拡充	○						
			㉝ オリジナルグッズの製作・販売による収益の確保	○						
			㉞ 沿線企業と連携した取り組みの推進		○	○	○	○	○	

第4章 公共交通のめざす姿に向けた施策・事業（完成イメージ）

基本方針Ⅰ：みんなが利用しやすい公共交通網の構築

施策4

市外との連携を強化する公共交通の整備

■現状・課題

- 公共交通を利用して市外に行く市民は、主に通勤や通学での移動であり、特に通学目的で公共交通を利用して市外へと移動している人が多くなっています。また、市外からの来訪者は、近年増加傾向となっており、これらを踏まえると公共交通は加西市に関わる方にとって、必要性の高い移動手段と言えます。
- 市外へ行きやすくする、または市外から来訪しやすくするという役割は、市外連携軸が担うこととなりますが、対応する現在の公共交通機関としては、北条鉄道、高速バス、路線バスとなり、特に北条鉄道の役割が大きいものとなります。
- 北条鉄道や高速バス（中国ハイウェイバス）、路線バスの乗降者数については、近年増加傾向にあり、特に北条鉄道においては、各種イベントなどの取り組みにより、市外からの来訪者（定期外利用者）が増加しています。
- 本市と市外の隣接市町との連携を強化させるためにも、公共交通の果たす役割は重要です。

■目指す姿

- 加西市民が市外へ公共交通で行きやすくすることにより、定住促進を図るとともに、市外からも公共交通で来訪しやすくすることにより、交流人口の増加を目指します。

■目指す姿の実現に向けた事業

重点事業	事業	事業概要	実施時期	実施主体
a	鉄道輸送力改善に向けた整備	法華口駅に鉄道交差設備を整備することで、1時間に1本の運行本数を30分に1本の運行本数に増加します。	2018（H30）年度～ 2019（H31）年度	鉄道事業者 加西市
	社会の変化に応じた路線バスの運行改善	市民意識や社会情勢の変化等に対応するために、路線バスの運行時間の見直しなど、随時路線バスの運行改善に努めます。	随時	バス事業者 加西市
	他市町とのバス軸の増強	加東市や西脇市、多可町、福崎町、姫路市、高砂市、加古川市などの隣接市町と調整を行い、バスの運行本数の増加や運行時間やルートの見直し等、バス軸の増強を図ります。	随時	加西市 隣接市町 バス事業者

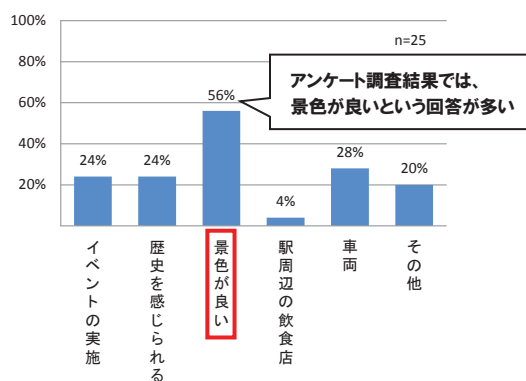
【重点事業】

施策4：市外との連携を強化する公共交通の整備

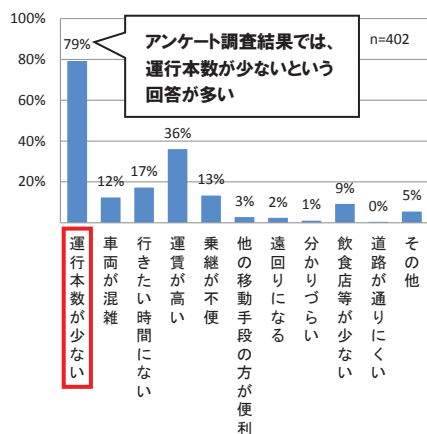
I-4-a	鉄道輸送力改善に向けた整備
実施主体	交通事業者、加西市
実施時期	2018（H30）年度～2019（H31）年度
事業内容	鉄道利用者アンケート調査結果から得られた問題点や北条鉄道の魅力、今後進めてほしい方策などの市民意識等に対応するために、法華口駅に鉄道交差設備を整備することで、1時間に1本の運行本数を30分に1本の運行本数に増加します。



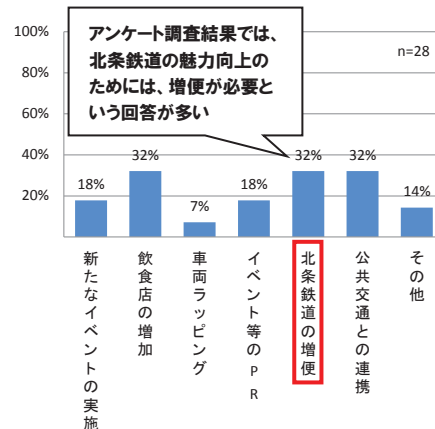
＜ 北条鉄道の魅力 ＞



＜ 北条鉄道利用時の問題点 ＞



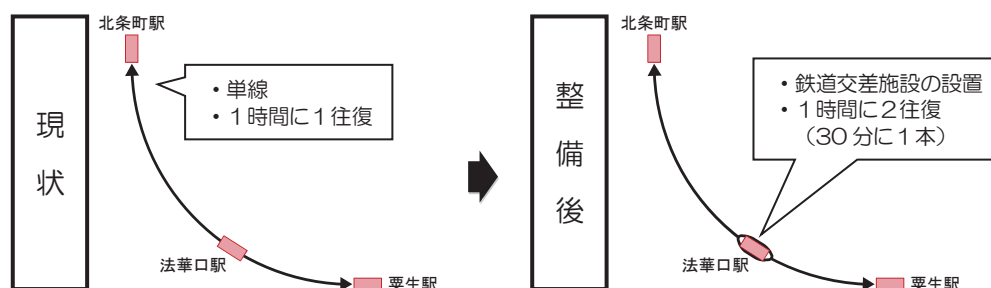
＜ 北条鉄道魅力向上のための方策 ＞



※1) 北条鉄道を移動手段として利用されている方の回答を集計
※2) 平日・休日2日間の全回答者の調査結果を示す
出典) 鉄道利用者アンケート調査結果より

※1) 北条鉄道に乗ること（見ること）を目的とされている方の回答を集計
※2) 平日・休日2日間の全回答者の調査結果を示す
出典) 鉄道利用者アンケート調査結果より

＜ 法華口駅鉄道交差施設整備事業の概要 ＞



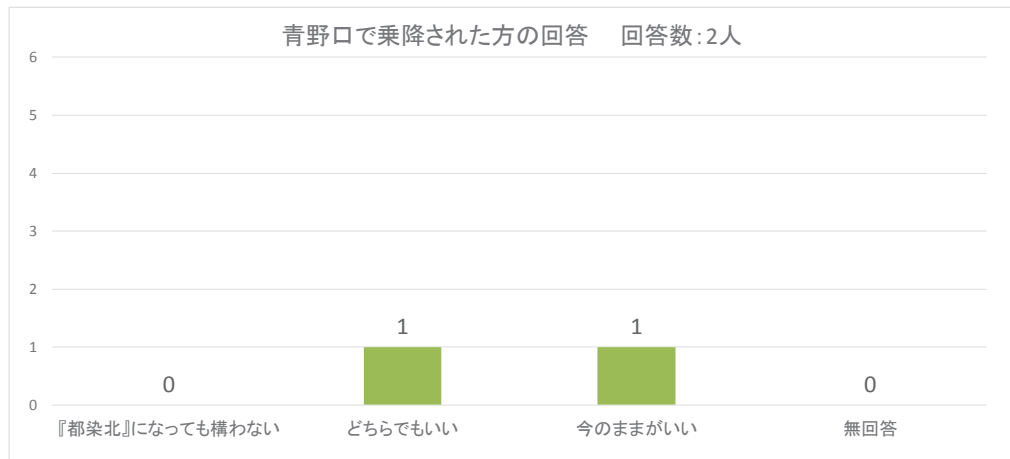
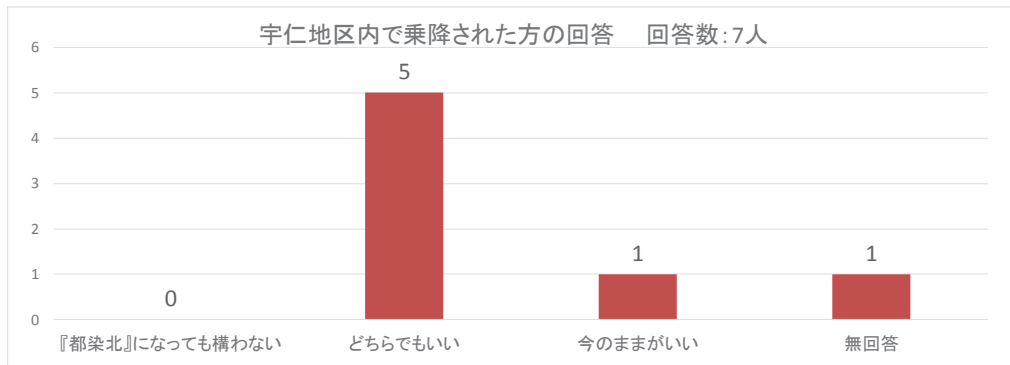
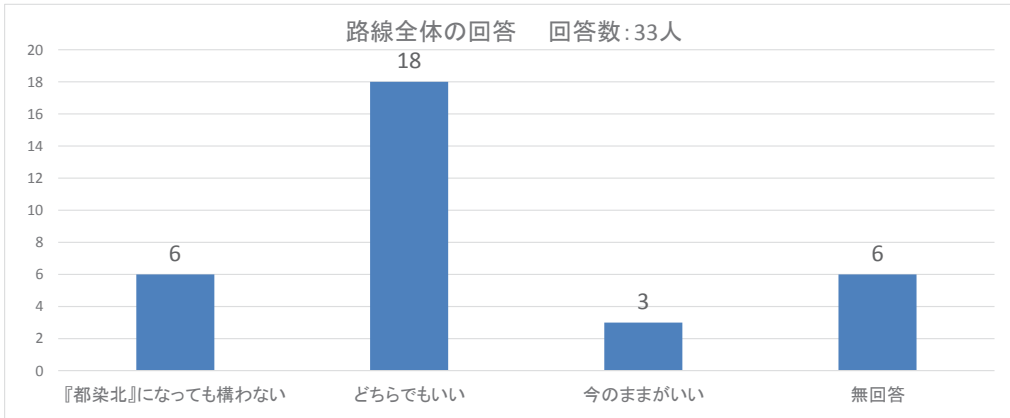
3ー（2）コミュニティバス国正線のバス停名の変更について

■調査日 平成29年10月3日（火）、4日（水）の2日間

■対象者 調査日に国正線に乗車された方全員

■調査内容 バス停名称の変更に関する利用者の意向を聞き取りにより調査

【問：バス停名『青野口』を変更することについてどう思いますか。】



（参考）

『青野口』バス停利用者数

東国正発	乗	降	イオン発	乗	降
H28	40	1	H28	0	29
H29	36	0	H29	0	24